しっぽ番長

成年向け

ゴブリンの妖精嫁

-孕み袋-

ハイエルフの弓手とゴブリンの交尾イラスト集

基本絵7枚イラスト差分850枚

ハイエルフって種族は凄く長命なのよ
こう見えて私も二千歳…
多種族はそんな長寿を羨むけれど

ただ生きてるだけの停滞した様な日々を嫌った私は
里を飛び出て変化を求め冒険者になったの

ドキ
ドキ

ナニ？

冒険は死と隣り合わせの刺激的なものだった
自分はこの世界を生きているんだと実感できた
…そして私はさらなる刺激を求め

ドキ
ドキ

キュン♥

私の体をいやらしく
じっくりと舐め回す様な
視線を向ける男達に

股を開いたんだ…♥

ドキ

ドキ

ヒク

パイズリ

ああ…♥
オマンコ丸出し♥
ハイエルフが名も知らない
只人の男に性器を丸出しなんて…
こんな恥知らずな行為なのに
信じられない程に
私は性的に興奮しているわ♥
ドキ
ドキ
ペロン
プリュン

上森人(ハイエルフ)のオマ○コよ♥

恥かしい穴奥の子袋口まで見て欲しいの♥

ハァ

ハァ

キュン♥

キュン♥

ズチュ

グパァ

自ら肉ヒダも膣穴も全部広げて見せるなんて…♥彼も食い入るように見詰め男根を勃起させてるわ♥

カリ首が反り返る程勃起してああ…とても凶暴に見えるわ♥アレに欲望のまま獣交尾の様に人〆まくられるのね♥♥

ほらっほらっ♥
その雄々しくそそり立った男根を
このスケベ穴に突き立てて
本能のまま種付けしまくるのよ♥
クイン
クイン
クイン
クイン
これから朝まで休みなく何時間も
私をヒィヒィ泣き叫ばせるのよ♥
そして只人の雄とハイエルフの雌の
交尾をたっぷり味あわせて欲しい♥
フゥ
フゥ
ギッ
ギッ

男根キターッ♥
太いっ太くてゴリゴリ硬いぃ♥
一気に子袋狙って奥まで来るのぉ～っ♥
んぉぉっ
ズボッ
ヌヌゥ
ミチ
ミチ

あっ
ビククッ
あっ
ジュポッ
ジュポッ
あああっ
ジュポッ
あっああっ♥
只人の男根すごいぃっ♥
私の子袋狙って
猛烈に突きまくってる
ああっもっと私を
責めまくってぇ～っ♥

あっ
ビクッ
ビクッ
あぁぁっ♡
ダメっダメっ♥
脚を閉じたら男根と
膣肉が強く擦れて
ハイエルフマンコ
すぐ絶頂しちゃうっっ♥
ズリュッ
ズリュッ
ズリズリ

ビクビク
んぎ♡!!
ドビュウッ
ビューッ
ビューッ
わっ私っ♥種付けされて
絶頂してるぅ♥
すごい勢いで子袋が
子種汁で膨らまされて
いくのを感じるっ
ドスケベハイエルフマンコ
イクぅ〜〜っ♥♥

同族の男のより
ネバネバこってり
濃厚で大量の子種汁が
私の子袋をパンパンに
しているのぉ♥
コレを味わったら
もう只人としか
交尾出来ないかも…♥

プル
プル
お゛っ
お゛っ
ビクン
ビクン
ゴポッ
ビクン
プル

んまおっ
ビクッ
ビクッ
その夜は私の望み通り朝までみっちり
腰が抜ける程激しい交尾で
この男根に泣かされまくったわ♥
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

耳秒後

その後も私は刺激を求め只人の男達と何度も交尾をしたわ
私の貧相な体でも男達は男根をギンギンに勃起させ
この体を隅から隅まで余すことなく味わうように

欲望の赴くまま愛してくれた
私にがっちり根元まで男根をハメながら
耳の先から足の指の股までしゃぶり尽くされたの♥

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥
プシュ

ああっ♥
こんな恥知らずな
格好をハイエルフに
させるなんて…♥
ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥
プリュン
グイッ
彼らはハイエルフの男達よりはるかに性に執着し
私の想定外の恥ずかしい行為を求めてくる
こんな私の全てを捧げるようなポーズを
夫でもない男の前でするなんて…♥
ああ…♥すごくすごく興奮する♥
この股穴の奥にある子袋がキュンキュンするの♥
遊びでなく本気で子種を受け入れたいって
私の体が叫んでるみたいだわ♥

そして私の…いえハイエルフの常識が覆された…
まさか排泄穴に男根をぶち込むなんて！
性器は性器と交合するものだとばかり思っていた
確かに男根を口で愛撫し精飲するけれど
不浄の穴で交尾まがいの行為に意味があるの？

彼らは子孫繁栄より自らの性的快楽を優先し
男根を突っ込める穴ならどこでもハメ
場合によっては男同士でも交尾するのだと
後に腐った思想を持つ娘に熱く語られた(汗)

ひゃあ♡

うそっ♥
そっちの穴は
交尾する穴じゃ
ないのにぃっ♥

メリ
メリ

トリポオ

子作り穴で交尾するのと同じように激しいピストンっ♥
こっこれが尻穴でする交尾なのね
突かれるたびに声が出ちゃうっ♥
下から子袋が小突かれて変な感じ…

おっ♥おおっ♥
なんか…なんか変っ♥
うそっ♥とんとん気持ち良くなっていくっ♥
まさか私っこのまま尻穴で絶頂してしまうの？

おっ
おっ
おっ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

ひぎ♡!!
ビクビクッ
ヒク
ヒク
ドパァ
ドビュッ
オマンコぱっくりされながら
初尻六種付けで絶頂してるぅぅ〜っ♥
熱い子種汁が凄い勢いで注ぎ込まれてるのぉ♥

二千年も生きてるのに初めて知った
女の股には二つも交尾できる
穴があったんだ…♥

尻穴交尾…いいかも♥

ビクン
ビクン
オ♡ッ
オ♡ッ
キュン♥
キュン♥
ビクン
ビクン
ヒクッ
ゴポン

おぉ！

おぉ！

パン

パン

パン

パン

その後はもちろん赤子の出来る方の穴にも
たっぷりと種付けされたの…何時間も♥

ハイエルフのマン縛り♥

プリュ

ギュッ

ああっそんなっ♥
子作り穴で
遊んじゃダメぇっ♥

そして私は男達と他人には言えない
様々な淫らな行為を楽しんだ
彼らの性癖にこの身を任せるのは
とても刺激的なものだったの♥

いつも極太の男根をぶち込まれ
ヒィヒィ泣かされてる穴を手を使わず
ただ晒してるだけなのに
こんなに恥ずかしいなんて…♥
只人の男は女を恥辱する事に関し
とても秀でてるんだわ♥

ビククゥ
ひぃ♡!
グ
ギュウ
ハイエルフの
強制くぱぁ♥
…からの
クリ吊り責め♥
プル
プル
プル
そっそこはっ♥陰核はダメぇ〜っ♥
そんなに強く引っ張らないで
私のエルフ豆が収穫されるぅ〜っ♥

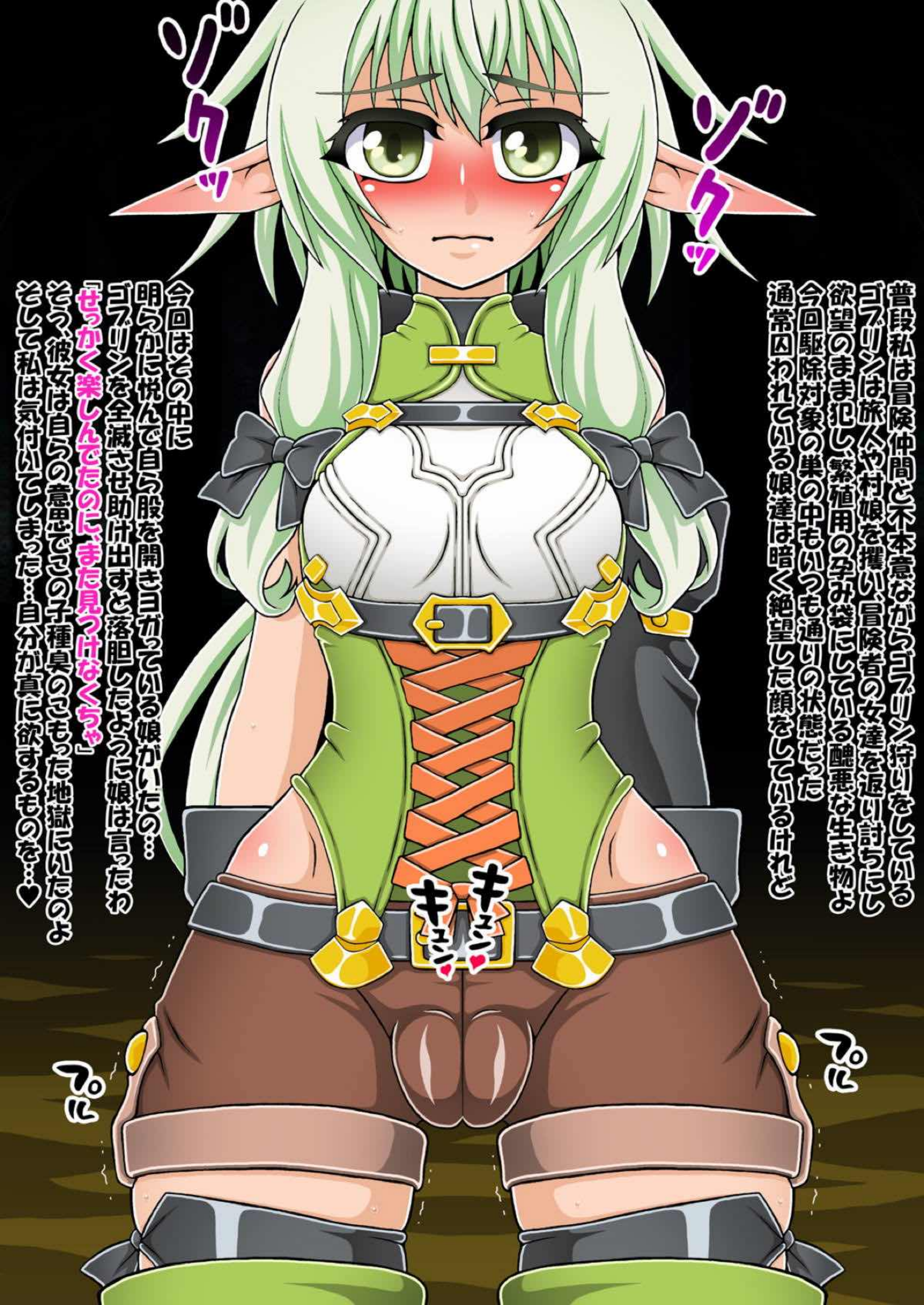
男に全てを任せ欲望のままに交尾するのは
とても刺激的で気持ちいい…でも
最近なにか足りない気がする…

私を抱く彼らはとても優しい
すごく激しくて泣かされるけど
私の事をとても愛し気遣ってくれる
それに不満などあるはずないのに…

キュン♥

トロ

ハメ


普段私は冒険仲間と不本意ながらゴブリン狩りをしている
ゴブリンは旅人や村娘を攫い、冒険者の女達を返り討ちにし
欲望のまま犯し、繁殖用の孕み袋にしている醜悪な生き物よ
今回駆除対象の巣の中もいつも通りの状態だった
通常囚われている娘達は暗く絶望した顔をしているけれど
今回はその中に
明らかに悦んで自ら股を開き目ガっている娘がいたの…
ゴブリンを全滅させ助け出すと落胆したように娘は言ったわ
「せっかく楽しんでたのに、また見つけなくちゃ」
そう、彼女は自らの意思でこの子種臭のこもった地獄にいたのよ
そして私は気付いてしまった…自分が真に欲するものを…♥
ゾクッ
ゾクッ
キュン♥
キュン♥
プル
プル

ゾクッ

ゾクゥ

ゴブリンに股を開き欲望のまま犯されてみたい…
そんな狂ったドロドロの欲望が私の頭の中を渦巻いている
ゴブリンに囚われたらあのイボイボの男根達に輪姦され続け
孕まされ出産する事を繰り返す人生が待っている
冒険者に…きっと彼に救い出されなければ死ぬまで孕み袋よ
私の寿命の場合何千年も…

ああ…クラクラする♥
普通なら悍ましく吐き気のする妄想が
子袋に熱を持たせ私の思考を歪ませてゆく…
そして絶対に在り得ないはずの選択肢へと
私を導いてゆくの……♥

キュウウン♥

プル

プル

とはいえ流石の私もいきなりゴブリンの巣に突入するなんて怖くて腰が引けてしまう…なので初めは薄暗い森の中…はぐれゴブリンを狙ってみたの

やり方は簡単よ♡無防備に肌を晒し雌である事を示すだけほらゴブリン達は興奮し私を囲んで醜悪なイボイボ男根をギンギンに勃起させ私に向け腰をヘコヘコさせてるわ♡

ドキ

ドキ

GORB!

GORB!

キュン♡

キュン♡

ギン

ギン

押し倒されると折角の下着もすぐ剥ぎ取られしまった
即ハメられるのかと期待したけれど誰が一番にハメるか
三匹が争いだしてしまったわ…もう！
GORB！
プル
ギュン
プル
GORBRR！
プリュン
ドキ
ドキ
仕方ないので一匹ずつギュッ♥ギュッ♥と男根を握って
（初めてゴブ男根握ったけど熱くてガチガチで
イボイボに弾力があってスゴイの♥）
順番を決めてあげると争いを止め一番目のゴブリンが
私の後ろに立ちゴブゴブ意味不明な雄叫びをあげたの

交尾経験の無いゴブリンだったのか
興奮し過ぎて尻穴に突っ込もうとしたので
ハメ穴を教えてあげると更に奇声をあげるゴブリン達
男根をプルンプルン踊る様に振り回している♥

GOORB!

ほら♥
ハイエルフの
オマ○コ穴は
ここよ♥

ヌチュ

クパァ

GORBGORBRR!

GOORB!

ズンッ
ブチュン
猛烈な勢いで
腰を打ち付けてきたぁっ♥
きょっ強烈ぅ〜っ♥
イボと反ったカリ首が
膣肉を擦りながら一気に
子袋の入り口を直撃したの
あぁっ♥
体は子供程度のくせに
男根はすごく立派よぉ〜っ♥
大っきいぃ〜〜っ♥

激しいけど単調なピストン
でもイボイボがスゴイのぉっ♥
想像以上の快感が私を襲うわ♥

ああっ♥
こんな汚らしい生き物に
犯されてるのに
私の体っ♥悦んでるぅ～っ♥

パン
パン
パン
パン
あっ♥
あっ♥
あっ
あっ

ドブッ!!
ビュルルル
GOGARRR!
私の穴がそんなに気持ち良かったのか
まだ腰を振り出して一分程度なのに
ゴブリンは吠えながら
熱くてプリップリ濃厚な
塊のような子種を射精したの
焼けた鉄の様な塊が
私の子袋を膨らませてゆく
んほおおっ
初めてのゴブリン種付けぇ〜っ♥

GORB!

プル

はぁぁ～っ♥すごいぃ♥
これっぽっちハメられただけなのに
体が大喜びしてるの♥
多分これダメなやつだわ…
これ以上味わったらもうゴブリン以外と
交尾出来なくなる…♥

GORB!

プル

なら今すぐ逃げればいい…相手は油断してるわ
いえ無理よ…私の体が次の男根と子種汁を欲しがって
この四つん這いで尻を差し出した恥かしいポーズを
頑なにやめようとしないんだもの♥

プル

キュン♥

キュン♥

はぁぁ♥

トポ

プル

GORB!

ズッコ

ズッコ

ズッコ

GORBRR!

ズッコ

ズッコ

ん♡ひぃぃ

無論私は逃げる事などせず
自分の欲望のまま屈服したかの様に
尻をゴブリンに突き出したわ♥

ゴブリンは私の尻に飛び乗り
深々とイボイボ男根を突き立てると
雄叫びを上げながら腰を振ったの♥

GOGARRR!

ブビュ!ッ

ビュ!ッ
ビュ!ッ

GOORB!

GOORB!

イボイボすごいぃ〜っ♥
ゴブリン男根最高よぉっ♥

あああぁっ♥

ムギュッ

ムギュッ

その日ゴブリン二匹は子種が尽きて
動けなくなるまで私を輪姦し続けたの
私は股がガクガクだったけれど
かろうじて立ち上がる事が出来たので
野鳥を射抜いて彼らに渡し
川で水浴びして帰路に就いたわ

数日後…前回ゴブリン達とハメまくった場所に行ってみると彼らは私を待っていた

私の姿を見るなり男根をムクムクと凄い勢いで勃起させ踊り出したわ♥なので私も即全裸で腰ふりダンスよ♥

ドキ

ドキ

GORB!

GORB!

キュン♥

キュン♥

GOORB!
そして彼らにスケベ穴丸を
捧げるように尻を突き出し
腰を振りまくったの♥
フッ
フッ
ああっハイエルフの私が
下等なゴブリンに何て事を…
いいえ…ここにいるのは
ただの発情した雄と雌だけよ♥
GOORB!

ズコッ

ズコッ

GOORB!

GOORB!

興奮が最高潮に達した時
亓目のゴブリンが逞しい男根を
私に向け突撃してきたの♥
そして一心不乱に腰を打ち付けるっ♥

イボが膣肉を擦りながら子袋を
激しく突きまくるゴブリン男根の
動きに合わせて私も腰を振るの♥

ズコッ

ズコッ

おおっ

おおっ♥おおお～っ♥
ハイエルフの娘がまるで獣の様に
ゴブリンと本気交尾をしてるなんて
絶対誰にも知られちゃいけないわ♥

GOGARRR!

ドブーュ

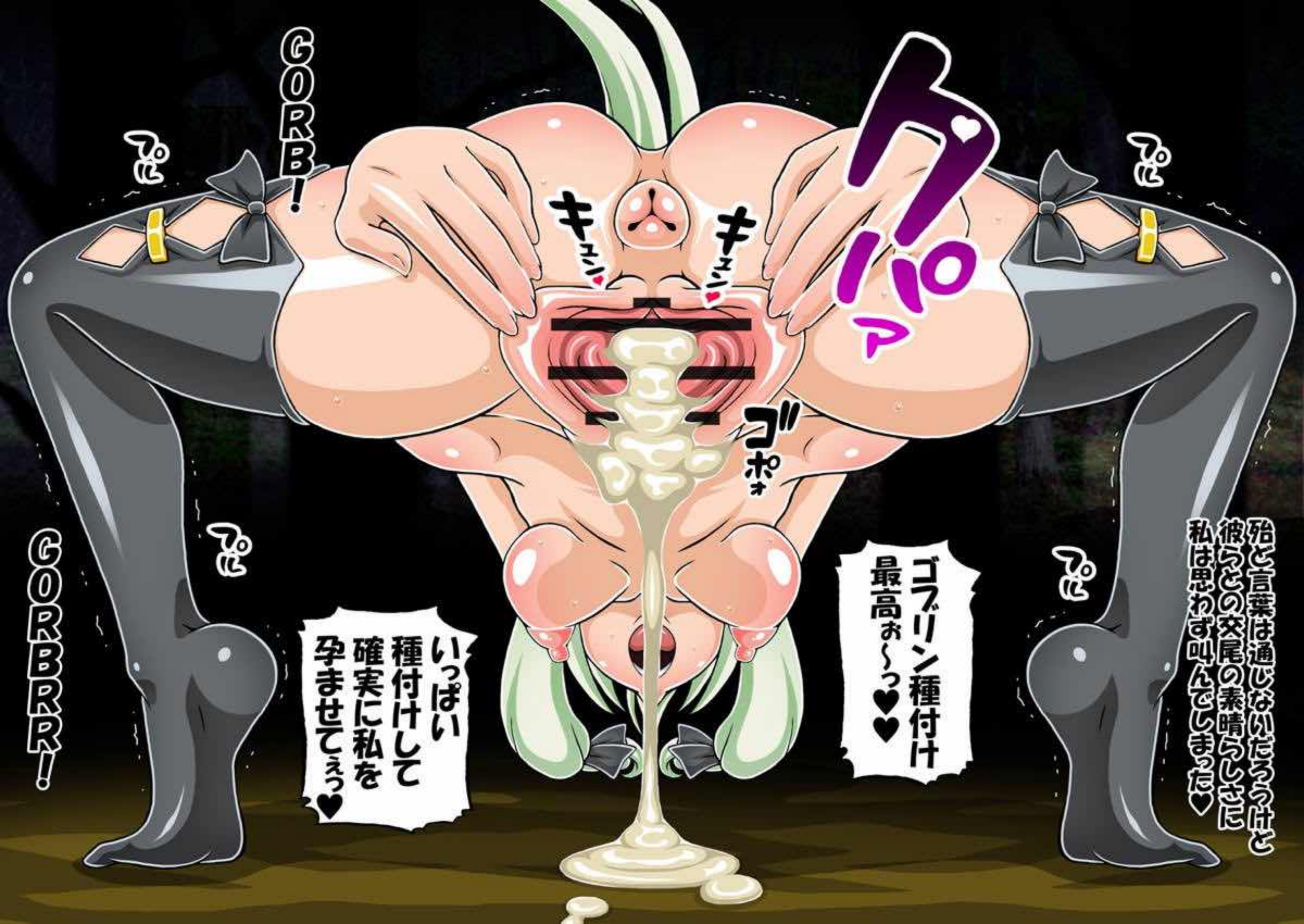
ビュー!!
ビュー!!

ゴブリンの種付け射精ぇ〜っ♥
性欲を満たすだけでなく
私という雌を孕ませようと

一番奥に狙いを定め
子袋口に亀頭を押し付け
ドロドロの熱い濃厚な塊を
孕み袋に注ぎ込むように
射精しているわ♥

おひぃ♥

おひぃ〜っ♥
私っ下等生物の雄に
本気で種付けされてるぅ〜っ♥



ぐぱぁ
GORB!
プル
プル
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ゴポォ
殆ど言葉は通じないだろうけど
彼らとの交尾の素晴らしさに
私は思わず叫んでしまった♥
ゴブリン種付け
最高ぉ～っ♥♥
いっぱい
種付けして
確実に私を
孕ませてぇっ♥
GORBRR!

GORB!?

GORB!?

次はアナタの番よ
この穴にたっぷり
種付けして♥

ハァ
ハァ

キュン♥
キュン♥

プリン

グィッ

女の全てを捧げるまんぐり返しに
色めき立つゴブリン達♥
こんな格好で子作り穴を晒す
女を見るなんて初めてでしょう？

ふふふ♥
みんな男根から先走り汁を垂らし
興奮しまくっているわ♥
さぁっ♥思いっ切りハメてくださいっ♥

ズドッ
ビククッ
グリ
グリ
おおお〜っ♥
いっいきなり奥までぇ〜っ♥
更に子袋ログリグリぃ〜っ♥
おぉ〜っ♥
イボイボがっ♥
イボイボがすごいのぉ〜♥
女を雌に堕とし狂わせる男根よぉ〜っ♥

あ〜っ
ビクッ
あ〜っ
ビクッ
GORB!
GORB!
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ブチュ
ブチュ
ハイエルフがゴブリンの
お嫁さんにされちゃう〜っ♥
自ら進んで孕み袋になっちゃうぅ♥
あああ〜っ♥だめぇっだめぇ〜っ♥
この男根の素晴らしさを
これ以上知ったらもう
離れられなくなるぅ♥

ひぃ〜っ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ひぃ〜っ♥すごいっすごいのぉっ♥
これ好きっ♥イボイボ好きっ♥
ゴブリン男根大好きぃ〜っ♥

んっ
んんっ
ムチュ♥
ムチュ〜♥
レロレロ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
いっ今私…夫婦交尾してるぅ♥
ゴブリンに脚と舌を搦め
夫婦の子作り交尾してるぅ〜っ♥
ハイエルフの娘がゴブリンを
夫として本気で愛し合ってるのぉ♥
アナタぁ♥アナタぁ〜っ♥

おぉぉぉズンッ
ビュッビュッ
いっくぅーっ♥
亀頭が私のスケベ穴から抜ける
ギリギリまで腰を引いてからの…
脳天に響く程の強烈な子袋突きぃっ！
そして熱く硬い先っぽから噴出す
濃厚種付け射精ぇ～っ♥

ん゛ぶちゅっ❤
ブヂュ〜❤
んぶぅっ〜っ♥
なっ何これぇ〜っ♥
種付け射精しながら
激ピストンしてるぅっ〜っ♥
絶頂中にそんな事されたら
私っイキっぱなしで
戻れなくなっちゃうぅっ♥
んぼおおおお〜っ♥
もごもご
ボヂュ
ボヂュ
ボヂュ
ビュ〜ッ
ビュ〜ッ
ビュ〜ッ
ビクン
ビクン
ビクン

ビクッ

あっ♡

あぁっ♡

ニュポッ

ニュポッ

ニュポッ

はっ…しばらく私
意識が飛んでたみたい

どれ程の時間
強烈な絶頂から
抜け出せなかったか
分からないけど
その間も私は夫達に
情け容赦なく
ハメまくられていました
ずっと絶頂してた様で
もう腰がガクガクよ♥

ひっ♥
ビクビク
ドビュウッ
ひぃっ♥
プル
プル
プル
こうして私は
冒険者稼業の合間に
夫ゴブリン達に
身を捧げ
何度も何度も
激しく愛し合ったの♥
旦那様方のイボイボ
最高よぉっ♥

実は最近妖精弓手さんの様子が少し気になっていて
それとなく注意していたのですが
先程こっそりと山の方へ出掛ける姿を目にし
思わず後を追い掛けてしまったのですが

そしたら…深い森の奥から…淫らな声が…
そう…まるで性行為をしている様な
彼女の快楽に悶え狂う声が聞こえてきたんです

ドキ
ドキ

あっ♡

あっ♡

ズコッ
ズコッ
GOORB!
ズコッ
ズコッ
GOORB!
ブチュ
ブチュ
おっ♡
おおっ♡
きっと彼女は誰かと逢瀬を…
いけないと思いながらも
好奇心に勝てず…その様子を
物陰からこっそりと
覗き見してしまいました…
ええっ？
私はその様子に
愕然としました
なんと妖精弓手さんが
ゴブリン達に犯されている
ではありませんか！

早く皆さんを呼んで助け出さないと…
でも…何か様子がおかしいです
襲われてるはずの彼女は抵抗どころか
むしろ自らゴブリンに股を突き出し
気持ちよさそうに腰を振っているのです…
ドキ
ドキ
あんな汚らわしく太くイボイボの陰茎に
激しく貫かれているのに悦んでいる様にしか見えません
彼女の蕩けるような悲鳴と共にクリームのように濃厚な液体が
陰茎が深く突き刺さったアソコから大量に噴出しました…
しゃ…射精？あれが種付け…なの？
キュン
キュン
あんっ
あんっ
んほおおっ

GOGARRR!

ビューッ

ビューッ

ゴポン

ゴポ

ゴポ

ビューッ

ビューッ

プル

プル

プル

お〜っ

お〜っ

う…うそ…
まだ射精が続いてる？
そんなに子種を注ぎ込まれたら
妖精弓手さんが孕んじゃう
でも…脚をプルプル痙攣させる
その姿は絶望ではなく
悦びに満ちてる様に見えます

信じられません
あの彼女がゴブリンに
種付けされて悦んでいる…
長い射精が終わると
ゴブリンは入れ替わり
彼女に種付けを
繰り返すのでした…

その後…私はハイエルフとゴブリンのケダモノの様な交尾を盗み見る様になりました…一歩間違えば私もゴブリンの巣穴の奥底で輪姦され孕み袋にされていたかもしれない初めての冒険の記憶…

ああ…あんな事を♥

そんな…すごい♥

もしもあの時…そう想像しただけで恐怖に震えてしまうはずのゴブリンとの悍ましい行為が目の前で行われています…なのに今の私はそれを食い入るように見詰め下腹部をジンジンと火照らせていました♥

ハァ

ハァ

キュウウン♥

もじ

もじ

あぐっ♥

あぐっ♥

おぐぃ♥

いと慈愛深き地母神よ
ハイエルフとゴブリンの交尾に欲情し
机の角で自慰に耽る神官を
お許しください…んん～っ♥

妖精弓手さんの交尾を見た日の夜は
神に祈りながら自慰に耽ります…♥
アソコを…まだ男性を知らないオマ…コを
机の角に押し付け一心不乱に擦り付け…
ビクビクと果てるまで続けるのです♥

交尾を見た日の自慰…
最近では惜しげもなく肌を晒し股を開いて
強くオマンコを机の角に擦り付けています…
自慰しながら思い浮かぶのは
ゴブリンの太くイボイボな陰茎の事です…♥
んんっ♥
んんっ♥
フーッ
フーッ
あの陰茎と交尾が頭から離れません…♥
最近ではその事ばかり考えてしまうのです
ああ…地母神よ…淫らな私をお許しくださいっ!
んっ♥んんっ♥どうかこの体の火照りを
お鎮め下さい…んん───っ♥
ビクゥッ
ビクゥッ
グッ
グッ
ギッシ
ギッシ
ヌゥゥ

あの日からひと月が経過していました
見て…今では祈るはずの手を頭に組んで
淫らに腰を振って自慰に耽るこの姿を…
オマンコも強く擦り付け過ぎて真っ赤です…

あああぁっ♥

ビクビク

ハ！ッ

ハ！ッ

今日もゴブリンに種付けされる自分を
想像をしながら腰を振っているの…♥
私…もう限界です……♥
私も妖精弓手さんと同じ事したいです…

ゴブリンと交尾したいですぅ～っ♥

ガタ

ガタ

ゴシ

ゴシ

ギシ

ギシ

女神官マ〇コ

イクゥ〜ッ♥

ビククン

ビクン

ビクン

プシュゥ

見てください…♥
これがゴブリンとの
輪姦交尾を想像しながら
カド自慰で絶頂する
女神官の姿です…♥

そんな行為を想像する自体おかしいのです
私は自らを戒める為…いつも妖精弓手さん達が交尾してる森の奥へ来ました
今日は誰も居ないその場所で…下腹部に熱を感じながらも
私はもう二度とここに来ない事を神に誓います…

さっ流石に私だって本気でゴブリンと交尾したいなんて思いません！
あれは…自慰中で興奮して想像しただけの事です！
神に仕える神官の私が祈らぬ者と交わるなんて……

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥

私は目を閉じ一心に
神に祈りを捧げていましたが
ふと不穏な気配を感じ周囲を見ると
なんとあのゴブリン達が
私を取り囲んでいたのです…

ああ

ドキ
ドキ
ギュッ
キュウウン♥
ギ
ギ

GOORB!
GOORB!

私の退路を断つ様に囲み
イボイボの凶悪な陰茎をそそり立て
私の体を上下に舐め回す様に見詰めています
慈愛深き地母神よ…これは私への…
祈らぬ者へ欲情した罰なのでしょうか…

もはやこの場から逃げる事は不可能…
私は意を決し法衣と下着を脱ぎ
裸体をゴブリン達の前に晒しました

色めき立つゴブリン達
プルンプルンと私に向けて
イボイボ陰茎を振り始めました…

ドクン

ドクン

GOORBR!

GOORBR!

ﾌﾟﾙﾝ

ﾌﾟﾙﾝ

ﾌﾟﾙﾝ

いと慈愛深き地母神よ
色欲に迷う愚かなる子羊が
ゴブリンと交尾する事を
お許しください…

私は己の弱さと愚かさを懺悔し
神に祈りを捧げ…
そしてイボイボの陰茎に自らを捧げる様に
ゆっくりと股を開きました…

キュン♥
キュン♥

ギチ…
ギチ…

私が脚を開くと後ろから
ゴブリンが飛び付く様に
ほぼ真下からイボイボの陰茎を
突き刺してきました
それはブチブチと私の膣内を
突き破り侵入してきたのです

ビククゥ

あ〜〜っ

こっこれがゴブリンの陰茎っ！
これが私の初交尾ぃーっ♥

女神官

ゴブリン

ブチ

ブチ

ブチ

ブチ

イボイボ陰茎の激しい突き上げの
衝撃に破瓜の余韻も掻き消され
子袋が突かれるたび走る鈍い痛みが
熱く蕩ける様な快感へと変わり
背筋を通り脳へと響きます♥

おおっ♥

おおっ♥

私はそれに戸惑いながらも
必死で祈りを続けます
神よ！神よ！と必死で叫ぼうと
しているのに口から出るのは
悦びを孕んだ獣の様な叫びでした♥

ズドッ

ズドッ

ズドッ

ズドッ

ゴブリンの動きが急に激しくなったかと思った瞬間
熱い何かが陰茎の先で爆発しました♥
急激にお腹が膨らまされていく様な圧迫感
こっこれゴブリンの子種ですか？
すっすごいですっ♥これが種付けなんですね♥
ビクゥゥ♥
ぴぃぃ!っ
ボコォ
ドビュゥ!ッ
ビュー!ッ
ビュー!ッ

あっ
あっ
いと慈愛深き地母神よ…
ゴブリンに種付けされ
悦びに震える子羊をお許しください…♥
ああ…♥
子袋が子種に膨らまされる事が
全身が震えるほど気持ちよく
幸福感に満たされるなんて…♥
プル
プル
プル
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ドロォォ

GOBORR！ズブッ！
そんな余韻に浸る間もなく
次のゴブリンが私を貫きました♥
先に注がれた子種を掻き出すかの様に
子袋を突きまくります♥
まるで俺の子種で孕ませてやる！と
言わんばかりの激しい腰使いです♥

ひぃっ

んひぃぃ♥

彼らは自分の子孫を残したい雄であり
私はそれを求められてる雌なのだと
突きまくられる子袋で理解しました♥

ズコ

ズコ

ズブ

ズブ

おおおお〜っ♥
ゴブリン種付けぇ〜っ♥
孕むっ孕むっ♥私の子袋に
ゴブリンの赤ちゃん孕むぅ〜っ♥
ビクゥン♥
♥お゛お〜っ♥
ブビュ!!
♥ビクンビクン

もう何時間経ったのでしょうか…
私は淫らに腰をくねらせ
ゴブリン達と欲望のまま交尾を
繰り返しました…快楽に溺れ
只ひたすら続く交尾…ああ最高です♥
交尾っ交尾ぃ～っ♥
んぁぁぁっ
数えきれない程の絶頂を味わいながら
やがて私は底なしの汚泥に
沈んでゆくように意識を失いました…
グイン
グイン
ゴポポ
ズポ
ズポ

……？
暗い…もう夜…？
あれ…体が…動きません…
なにか臭う…生臭いような…
子種の臭い…？

あぁ…私…
そう…ゴブリンと狂いそうな程
交尾を繰り返して…そして…
そし…て…？

GOBU

GOBU

ゴブリン…さん…？
仄暗さに目が慣れる頃
私は自分の置かれた状況を
理解しました…
ギ…
ギ…
ブル
ブル

サァー
カ4
カ4
誰か…助け…
ゴブリ…
スレイヤーさん…
いつの間にか私は
クラクラする程酷い淫臭のする
ゴブリンの巣穴の奥へと
連れ込まれていたのです…そして
すぐ近くに未来の私が居ました…
数名の村娘が無残に腹を膨らませ
無表情のまま時折呻き声をあげ
ゴブリン達の性玩具にされていました
ここは女が犯され孕み出産する
それを永遠に繰り返す絶望の場所…
私はこの恐怖を知っていたのに
知っていたはずなのに……
ギュ
ギュ
ガク
ガク

ひいっ

カチ

カチ

ゴブリン達は私の脚を無理矢理
こじ開け固定すると
イボイボびっちりの陰茎をこちらに向け
狙いを定めると卑しく歪んだ笑み湛えました
それは初めての冒険で刻まれた恐怖をフラッシュバックさせ
私を絶望の泥沼へ叩き落としたのです

GOBUR!

少し前まで私を淫らに狂わせ
雄に媚び股を開き腰をくねらせる事を…
雌の悦びを教えてくれたゴブリン達は
実は女の尊厳を根こそぎ奪い取る
邪悪なる生き物でありそれが真理…
たった今…遅まきながら思い出しました
もう…手遅れです…

GOBUR!

ビキィン

ひぃ〜っ!
心は絶望しているのに体は…♥
イボイボがすごく気持ちいいです♥
神よ…只人の道を違え堕ちてゆく子羊をお許しください♥
私はもう元の場所へは帰る事は叶わないでしょう♥
皆さんっさようならぁーっ♥
ブスブゥ

今日も私は子袋がジンジンと熱い疼きを湛える感覚を楽しみながら
ゴブリン夫達と愛し合う場所へ向け歩いていました
そこは街から歩いて半時程と近い所
近場とはいえこの辺の森は深く誰も近寄らないし
彼らはどこかの群れからはぐれた者達らしいから
少数でひっそりと暮らすには十分なのかもしれない

ゴブリンの気配を感じ始めると私は服を脱ぎ始める
女が裸だと彼らの警戒心はゼロになるの
単純でスケベな生き物よね

ああ…♥
彼らも私が来た事に気付いたみたいよ♥

ドキ
ドキ

GOBU
GOBU

夫達がイボイボ男根をプルプルさせて
全裸の私を取り囲んでゆく♥
私も腕を頭の後ろで組み無防備アピールよ♥
ハァ
ハァ
クイッ
スンスン…♥
はぁっ♥夫達の男根臭すごいわ♥
キュン♥
キュン♥
GOBUR!
GOBUR!

あっ♥
ああっ♥うそ♥
いつもより男根が多い…♥
なんてすごいの…♥
私はその雄々しい光景を前に
雌の本能の導くまま
股を開いてしまうのでした♥
ハ！ッ
ハ！ッ
ギュン
ギュン
ギュン
ギュン
ギュン

んおお〜っ♥一発目から激しい〜っ♥
この夫の男根の動き好きぃ〜っ♥
おっ覚えてるっ前回もそうだった
子袋を的確にゴリゴリ突いてくるから
勝手に子袋口が開いちゃうの♥
ぉぉぉぉっ♥
女を孕ませる為の腰使いよぉ〜っ♥
ズコッ
ズコッ
ゴリュ
ゴリュ
ズコッ
ズコッ

ビクビクッ
射精てるっ♥射精てるぅーっ♥
子種汁っ♥子種汁っ♥
今日もハイエルフの子袋が
ゴブリン子種汁で膨らんでゆくぅーっ♥
一発目なのに大量すぎぃっ♥
んほおおっ♡
ゴポォ
ドビュウッ
ビュッ
ビュッ

最愛の夫の子種でお腹膨らまされて
最高にしあわせよぉ～っ♥

プル

おっ♥

プル

おっ♥

んほぉ～っ♥多幸感がハンパないわっ♥
このまま巣に囚われ生涯孕み袋にされても
絶対に後悔なんてしないぃ～っ♥

キュン♥
キュン♥

プル

ドロォ

プル

プル

おごぉっ♥
今日新たに増えた夫が
私の膨らんだ子袋を
叩き潰しました♥
おごぅ♥
ドスッ
ブヂュヴゥ
メコォ
この粗暴な行為は
輪姦種付け中の雌が
他の雄の子種で孕む事を
邪魔する本能的な衝動みたい
それにしたって乱暴すぎぃっ♥

あ〜っ♥

あ〜っ♥

そして次の夫は後ろから腰を掴むと
狙いを定め私の子袋に向けて男根を
突き上げてきました

ビクッ

ビクッ

男根が膣穴からギリギリ
抜けないロングストローク
イボイボピストンすごい〜っ♥

ズッコズッコ

ズッコズッコ

ビククゥ
いいいい♥
ひぎ♥
ギュッ
ギュウウン
ギュウウン
不意打ちの様に乳首を
ひねりながら引っ張られてしまい
私は悲鳴をあげ同時に男根を
膣で締め付けてしまったの
GOBUR?
これがまずかった♥
夫はソレに味を占め
私の乳首を乱暴に扱い始めたわ♥
プル
プル

あ〜っ♥
ああ〜っ♥乳首はやめてぇ〜っ♥
おっぱい小さいけど敏感なのぉ〜っ♥
ギュッ
ギュッ
あ〜っ♥
ギュウウン♥
ズッコズッコ
ズッコズッコ

ビクゥ

この夫の種付け射精も
熱い塊が噴出してる
みたいでスゴイのぉっ♥
ああ旦那様素敵ぃーっ♥

おあぁっ♥

ビュ

ビュ

ビュ

ビュ

こんな無様な雄に媚びるポーズで
股穴からゴブリンの子種汁を垂らす
ハイエルフなんて私しかいないわよね
ああ…旦那様方…もっと私に
種付けしてください♥

んほおっ

ビクン

ビクン

プル

プル

プル

プル

キュン♥

キュン♥

ゴポォ

種付けも二順程すると夫達は
私に馬乗りになり遊び始めたの
乳首を左右に引っ張って
方向指示する屈辱的な遊びよ♥

あ♡

ギギッ

はっはいっ♥
右ですね♥

あ♡

五人の夫達に十五発もハメられ
ガクガクの腰に鞭打つように
男根を打ち付けながら
彼がはハイエルフの雌馬を
乗り回すのよ…♥

ゲプ

ゲプ

ゴト

ゴト

GOORB?

ズコッ

ズコッ

ズコッ

ズコッ

GOGARRR!

歩みを止めてしまうと夫は激高し
イボイボ激ピストンで私に歩みを強制します
そっそんなに激しく突かれたらイってしまい
腰が抜け歩けなくなってしまうのにぃ♥

んひ〜っ♥

ビクッ

ビクッ

すぐ歩きますっ
歩きますから
許してぇっ♥

しかし…
必死に激ピストンに耐え歩き出しても
夫は腰を振る事をやめませんでした♥
それどころかさらに強く激しく
狂ったケダモノの如くピストンを続け
私を強制絶頂させました…♥

ビッ♥ビッビッビッ

プシュゥ

強制絶頂させられた私は
淫汁吹き出しながら
ビックンビックン腰を
上下に跳ねさせてました♥
まる捕らえられ必死にもがく
バッタの如く…

ビッ♥ビッビッビッ

この時既に私は失神状態です
チカチカと点滅する光の中へ
私の意識は消えてゆきました…

GOBU
あ…あれ？
体が動かない？
どうなってるのこれ
GOBU
ゴブゴブ
言ってないで
何とかして欲しいんだけど
ちょっと？
グッ
プリュン
グッ

気付くと私は板の上に縛り付けられていた
今の自分の姿を想像しゾクリと悪寒が走り
これ…この板知ってる…にっ肉壁の板だわ…
肉壁とはゴブリンが虜囚の娘を板に
張り付け冒険者との戦いの盾に使う
身の毛もよだつ悍ましいものよ…
その板に私の体は固定されていました

ゾク

ヒク

う…うそ…
これ…何の
冗談…？

プル

きっとこれでハメて楽しむ気なのよ！
そう自分に言い聞かせ周囲を見上げても
ゴブリン達の男根は全く勃起していません
それどころか今までに見た事の無い程の
いやらしく醜悪な笑みで私を見下ろしています
まるで…極上の獲物を捕らえたかのように…

プル

プル

時既に遅し…
囚われた私は板のまま持ち上げられ
巣穴へと運ばれて行きます
助けを求める悲鳴は深い森の闇へ掻き消え

その先には
巣穴と思しき洞窟の真っ暗な穴が口を開け
私を飲み込もうと待ち構えていました
仄暗い洞窟に入ると私の心は完全に折れ
抗う行為を完全に止めたのです…

いっいやっ
誰か助けてっ

ゴブリンの
孕み袋になる
なんて嫌ぁーっ

ブルブル

ブルブル

あっ

あっ

GOBUHOI

GOBUHOI

ガタ

ガタ

洞窟の入り口がどんどん遠ざかってゆく…
次に外へ出られるのはいつになるのか
それとも二度と出る事叶わず
永遠に孕み袋として囚われ続けるのか

あ～

この先…私がゴブリンを産み続け
巣が溢れる事にでもなったら
あのゴブリンゴブリンうるさい
あいつが来てくれるかもしれません…

ここに囚われて数日は群れのゴブリン全員に
狂わんばかりの輪姦交尾をされましたが
気に入られたのか判りませんが洞窟の奥の
特別な部屋で群れの上位のゴブリン
数匹とのみの交尾をする様になり
おかげで辛うじて心を壊さず済んでいます

この腰ふりはこのゴブリンの
お気に入りらしく
私と交尾する前に行う儀式で
陰茎の動きに合わせ私も淫らに
ゴブリンを誘惑するように
腰をくねらせます…♥

あっ
あっ
そうして互いの興奮が最高潮に達した時
激しい交尾が始まるのです♥
ゴブリンの激しい突きに合わせ
私も膣を締め付け腰を振ります♥
今交尾中のゴブリンは比較的温和で
私に暴力を振るう事は殆どありません
なので私も彼の陰茎を気持ちよく
してあげようと必死で腰を振るうの♥
キュ♥
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

ビ♥ビクゥゥ
んひいいいいっ♥
もう時間の感覚もマヒして
今日何度目になるか判らない
種付け射精ぇ～っ♥
なんでこんなに精力旺盛なのぉ？
ん♥ひぃぃ！？
精力もスゴイけど
回復力の早さもスゴイの
今日も頻繁に射精してるのに
もうこんなに濃厚な子種汁を
私に注ぎ込んでるぅ～っ♥
♥ボコォ
ドブリュ
ビビュ！ッ
ビュ！ッ

いと慈愛深き地母神よ
ゴブリンと交尾し
神に捧げしこの身に
子を孕む事を
お許しください…♥

Purification!
浄化

ハァ
ハァ
プル
プル
プル
プル
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ドロォォ

種付けが終わると
私は時々我に返り
自分が神官である事を思い出し
汚れた身でありながら
神に祈りを捧げてしまいます…

ですがそれを祈らぬ者ゴブリンはとても嫌います
祈ると孕む確率が下がるのかもしれません
それ故に祈る姿を見られたとき…私はゴブリンに制裁を受けます

昨日この部屋に放り込まれ
凄い悲鳴を上げていた娘が
ズルズルと力なく引きずられ
出てゆきました…
これから私が入るので
出されたのでしょう…

ここは性欲を持て余す
若いゴブリンが欲望のまま
女を犯す部屋です
二日前私も数時間入れられ
その間ひたすら
メッタ突きにされました♥

恐らくですが
反抗的な女性を吊るし
下位ゴブリンの玩具にする
事で自分の立場を教え
従順にさせる為の部屋
だと思われます

前回同様私は神に祈った
事を理由にこの部屋に
吊るされたようです
今回は何時間…いえ
何日責められるのでしょうか
これから酷い目に
遭わされるというのに
私の体は明らかにソレを
期待していました…♥

お゛っ♥
お゛っ♥
パンパンパン
パアーパアー
きょっ強烈ぅ～っ♥
まだ生後数ヶ月の若い雄が
私の子袋目掛け力任せに
腰に打ち付けてくるぅ～っ♥
おお～っ強いっ強いのぉ～っ♥
衝撃が脳まで届くぅっ♥
こんなの何時間も続け
られたら私…♥

ビクッ
ビクッ
おおぉぉっ♥
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ゴポ
ゴポポ
このゴブリンの子種汁…♥
なんてすごい量射精してるの?
私の子袋一杯にしても足りず
膣外にどんどん溢れ出てるぅ♥
こんなにすごい種付けされたら
私も本気で孕みたくなるわ♥
もう神に祈りません…
私…彼の子を孕みます♥♥

あ〜っ
プル
プル
プル
プル
プル
Fertilization!
受精
プチュ
キュン♥
キュン♥
ヒクク
ドロォォ
若いゴブリン達が私をハメ倒し
満足し周囲から離れるまでに
半日以上が経過していました
す…すごかった…です♥
精神が狂いかけましたよ♥
そして…
私が強烈な輪姦種付けの
連続絶頂からやっと戻ってきた頃
次に制裁される女性が部屋に
連れて来られ…目が合いました
え…？

まさか…
何故あなたが
ここに…

ゴポポ

ゴポ

お…神の
お導きです

私達はゴブリンの子種で
子袋を膨らまされた姿で
仄暗い巣穴の底で
再開しました…
お互い…淫欲に溺れた
自業自得です…♥

ビクビクゥッ
何故彼女がここにいるのか
聞かされました…そう
私が原因だったのね…
部屋から連れ出される
あの子の表情には
不思議と絶望感は
無かったわ…
んぼぉっ♥
あの笑顔のおかげで
罪悪感が減った気がする
そして彼女の濃厚な
淫臭の漂うこの場に
私も吊るされ数時間に渡り
猛烈に種付けされました♥
ドビュウッ
ビュ!!ッビュ!!ッ

数時間後…

あ〜っ

プル

ビクッ

プル

あっあの子…
こんなすごい暴力的な
交尾をされまくったのに
あんな表情していられるなんて
さすが神官職って事なのかしら…

Fertilization!

受精

プチ

キュン♥
キュン♥

ドロォォ

プル

そして数日のち
私達二人はゴブリンの子を
この身に宿した事を
自覚しました……♥

プル

私達は肉の盾用の板に体を固定されてしまいました
以前、肉の盾にされた女性をゴブリンとの戦いの中
救った事がある身としてこの格好は恐怖そのもの…

ドキ
ドキ

すごい叫び声が聞こえてきます
その声の主である女性は冒険者だったようで
板を見ただけでパニックに陥り気絶したみたいです
確かにこの板が何に使われるか知っていれば
これから冒険者との戦に使われるのだろうと思うでしょう

キュン♥
キュン♥

ドキ
ドキ

それにしても私達…すごく落ち着いてますよね
ゴブリン達も訝しむ程です

キュン♥
キュン♥

実はゴブリンは女達が板を怖がるのを知りその様子を楽しむ為に遊びで使ってるらしいのよ…悪趣味よね

そっそれにしてもなんて濃厚な接吻責めなの♥
交尾中に接吻すると膣がキュウキュウ締まるのに気付いてしまったみたいなのよ…んっんんっ♥
でっでもこの執拗さはそれだけじゃないみたい…♥
まるで恋人や夫婦の様な愛を感じる接吻なの…♥

その後…交尾そっちの比で接吻を強く求めてくるゴブリンが群れの中に現れたの…んん～っ♥

ビクゥゥッ
ビクッ
ビクッ
ゴブリン種付け射精キターッ♥(もう妊娠してるけど♥)
接吻で唇をふさがれたままの射精は通常より
ずっと強烈なのぉーっ♥んんんーっ♥
ああ…私…私達…本当にゴブリンのお嫁さんに
されてしまったんだ…♥
性処理と繁殖用の孕み袋妻だけれど…♥
ビクゥッ
ビクゥゥッ
ドビュッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ドピュッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ

明らかに妊娠したとゴブリン達が認識できる程に
私達のお腹が膨らむまで激しい交尾はこの先も続きました♥
体を固定され全く動けない状態での交尾は夫達のイボイボ男根により
与えられる狂わんばかりの強烈な快感から逃げる事が許されません
それは女にとって拷問に近いものと言えるでしょう♥

見て…もうすぐ出産です…♥

フゥ フゥ

ポュン

この先私達は出産後すぐに輪姦種付けが始まり
また孕まされ出産…これを残りの人生続ける事になります♥
ただし冒険者がこの巣を滅ぼし私達を救い出してくれる
可能性もあります…どちらにせよ選択肢と呼べるものは無く
ただ甘んじそれを受け入れる…私達に出来るのはそれだけなのよ…

フゥ フゥ

ポュン

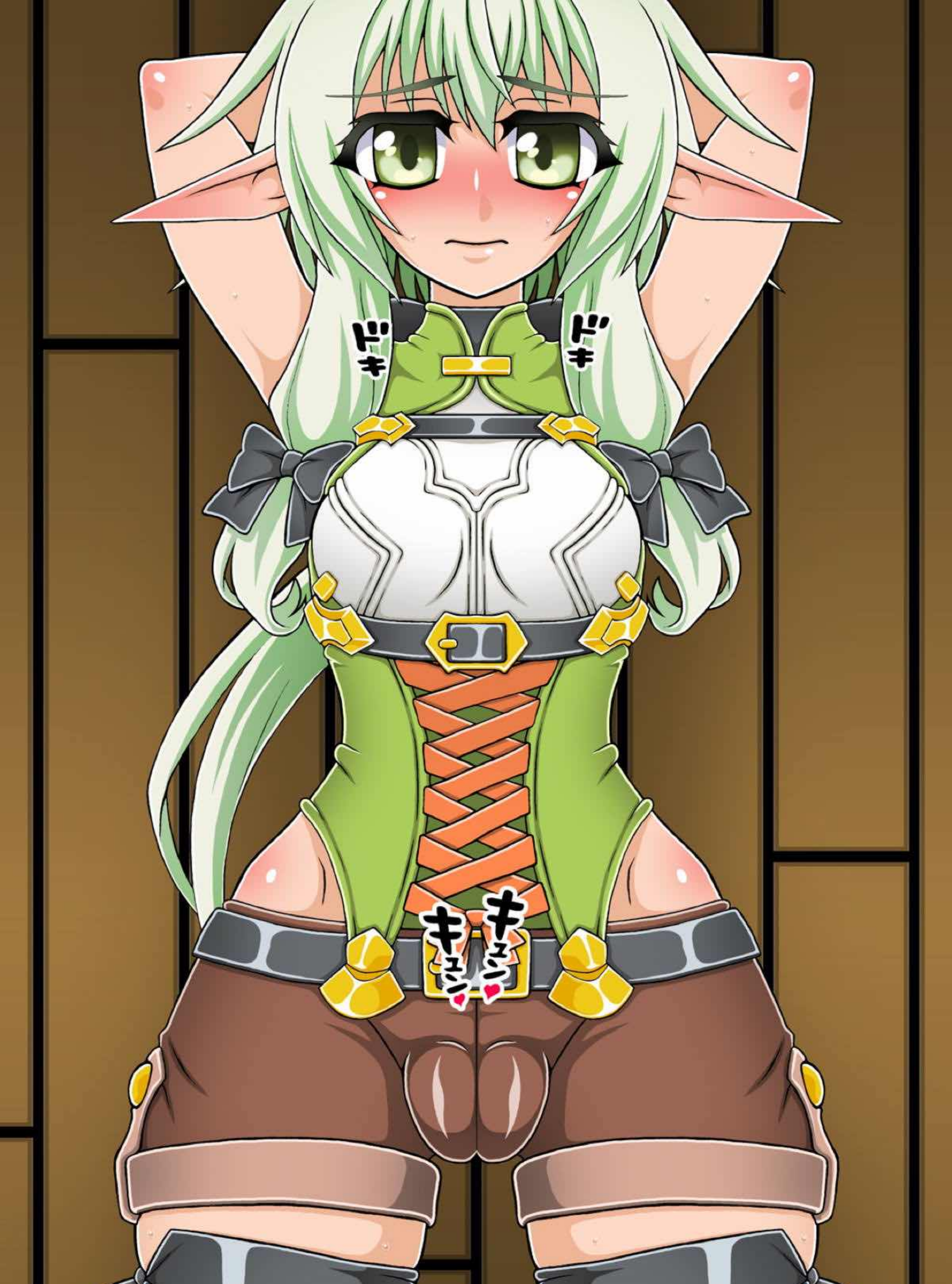
それでは皆さんごきげんよう…さようなら♥

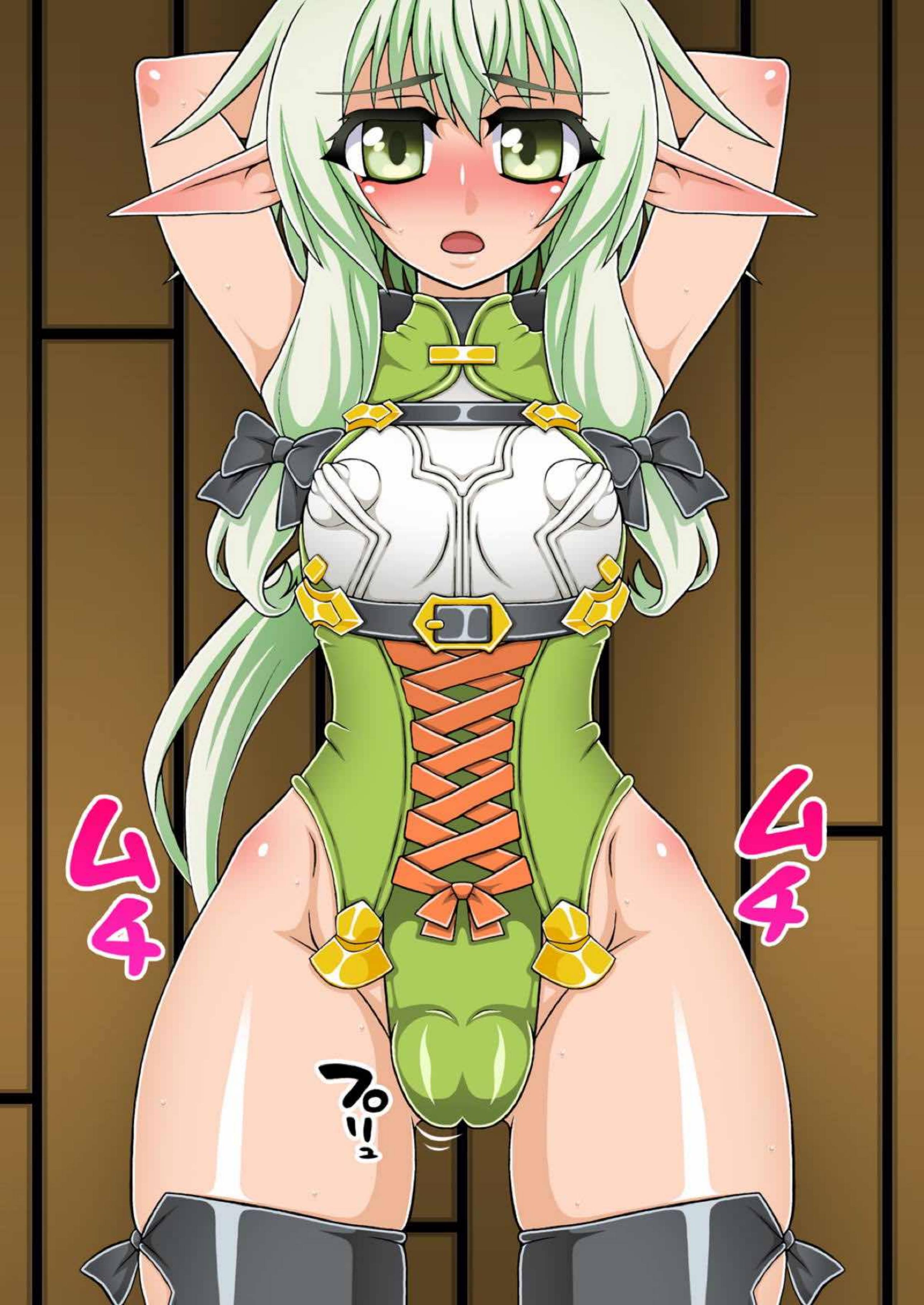
終

ドキ

ドキ

キュン♥


ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥


ムム
ムム
プリュ

ドキ
ドキ
キュウ～ン♥
プ～ン

キュン♥
キュン♥

ドキ
ドキ
キュン♥
ウズ
ウズ

んっ♥
ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥
プリュ

こっ交尾っ♥
アナタと交尾
したいのぉっ♥

フリ

キュウン♥

フリ

私の発情した
交尾穴♥
見せてあげる♥

ドキ

ドキ

キュン♥

キュン♥

さぁ♥もっと顔を近付けて
スケベ穴の奥までじっくり
見て欲しいの♥

ハァ

ハァ

ヒク

ヒク

トロ

パイパイ

もうっ♥
ドキ
ドキ
いつまで見てるの？
こっちはいつでも
交尾OKよ？
思いっ切りハメて♥
クパッ
クパッ
スチャ

あ〜っ
あ〜っ
ああーっ♥アナタの男根すごいっ♥
熱くてぶっとい肉の棒に
杭打ちされてるみたいぃ〜っ♥
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

こっこの男根ダメぇーっ♥
私を服従させちゃうダメなやつだぁーっ♥
んほおおおっ♥好きっ♥好きぃ〜っ♥
ビーン
ビーン
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

んひ〜っ♡♡
ビックゥゥ
危険日の近いハイエルフの子袋に
種付け射精ぇーっ♥すてきぃーっ♥
孕むっ孕むぅ〜っ♥
ボコォ
ドブリュ
ビュ!ッ
ビュ!ッ

あぁっ
あぁっ
プル
プル
今…私の子袋の中で強力な只人の精子がハイエルフの卵子を集団レイプしてるわ♥
ああっ♥このままじゃ受精しちゃうの♥
この性欲旺盛な男のつがいにされちゃうぅっ♥
ウネ
ウネ
キュン♥
キュン♥
ドロォォ
プル
プル

キュン♥
プリュン

いつまで見てるの？
このヘンタイ♥
さっさとソレで
この穴メッタ突きに
しなさいよ♥
ヒゥ
ヒク
トロ
ハァ

こっ子袋が潰れるぅ〜っ♥
情け容赦なくカの限り杭打ちされる
メッタ突き交尾大好きぃーっ♥
んひぃっ
ズゴッ
ズゴッ
ズゴッ
ズゴッ

ぷるっ

ここあ…熱いい♥濃厚子種汁すごいのぉ♥
ここっここの感じ…孕むわ♥
ここの種付けで確実に孕むわ♥

ウゾ
ウゾ

キュン♥
キュン♥

ヒク
ヒク

ゴポッ

ぷる
ぷる

あ…♥確実に
孕んだみたい♥
今から私は
アナタの雌です♥
ハァ〜
ハァ〜
はあぁ♥
キュウウン♥
グパァ
ヒク
ヒク
ドロォォ

大きいでしょ？
もうすぐ父親に
なるのよ？
絶倫旦那様♥

ひぎぃぃ
うっ♥産まれるっ♥
産まれるぅ～っ♥
ビキ
ビキ
メコ
メコ
ブリュリュ

ドキ
ドキ
キュン♥
プリュ

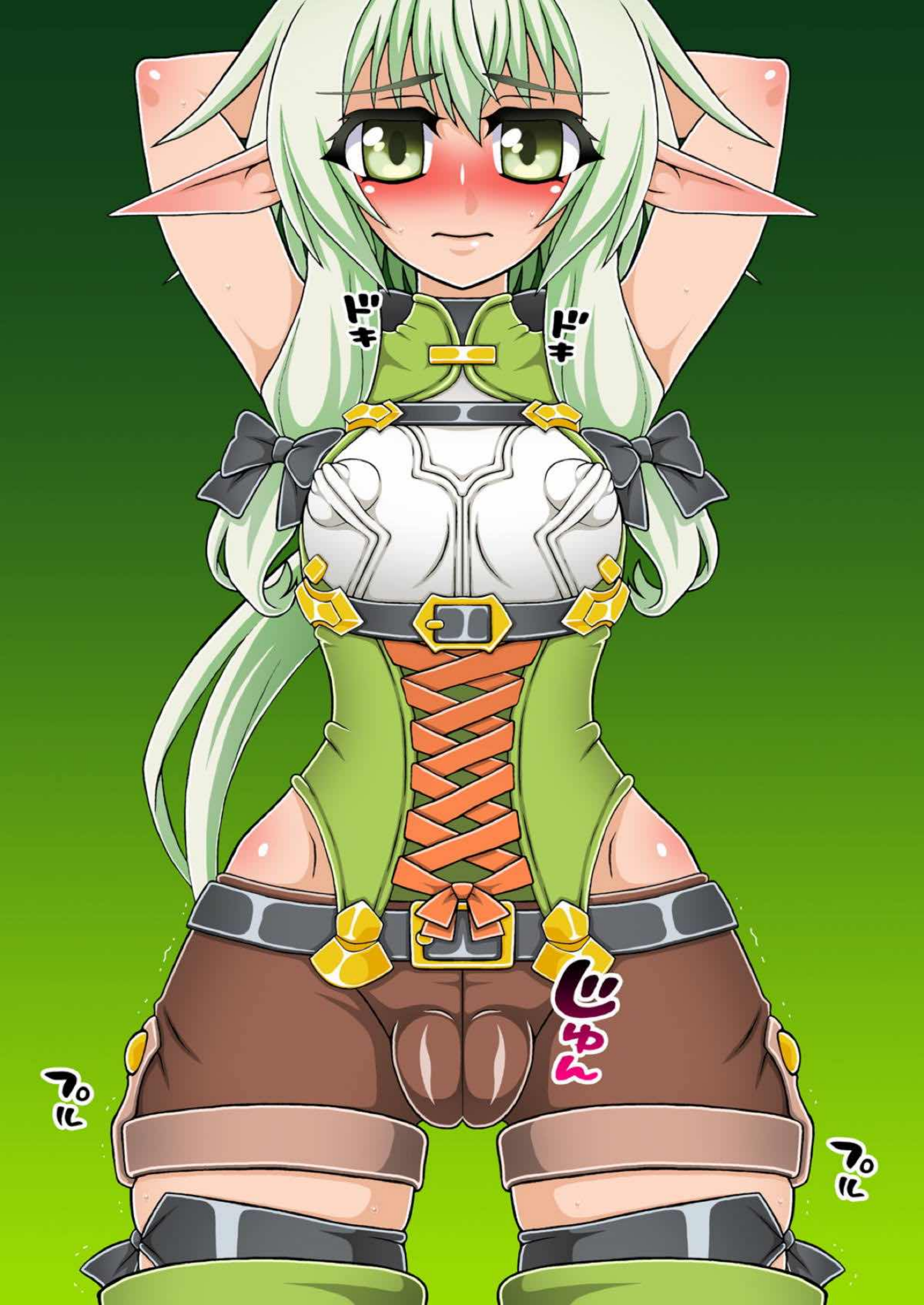
おっ♥
おっ♥
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ゴポッ
プル
プル

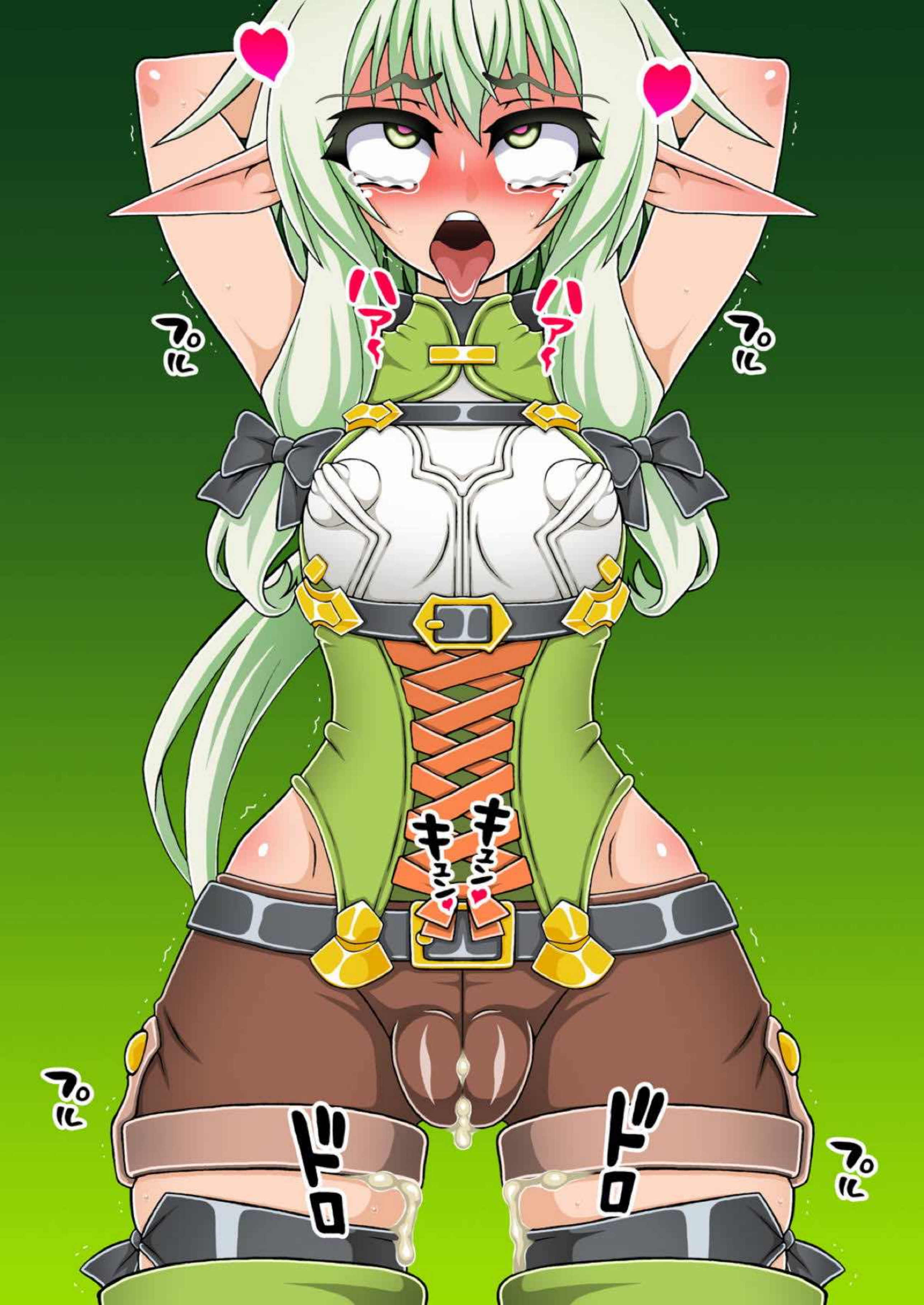
ハーッ
ハーッ
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ゴポッ
プル
プル

ブルル
ブルル
ウゾゾ
キュン♥
キュン♥
ゴポッ
ブルル
ブルル

プニュ
プニュ

ハァ
ハァ
ポュ
ポュ


ドキ
ドキ
じゅん
プル
プル


ハァ〜
ハァ〜
プル
プル
キュン♥
キュン♥
プル
ドロ
ドロ
プル

板に縛られ運び込まれた
洞窟の中は猛烈な淫臭で
発情し排卵しそうに
なる程の状態です…♥

うっ動けないっ誰かっ
このままじゃ本当に
一生ゴブリンの
孕み袋にされちゃうっ！

ゲゲゲ

キュン♥
キュン♥

ドキ

ドキ

あぁっ

今まで私と交尾してた
夫ゴブリン達より
すごく…大きいです…♥

はぁ～
はぁ～
んはぁ♥
ムワァァ
キュウン♥
ああ…ダメだわこれ♥
女を強制的に雌に変え
子袋を支配してしまう
強烈な男根臭…♥

おっ
おっ
プル
プル
ゴブリンの極太イボイボ男根での
猛烈な輪姦強制交尾♥
何時間も休みなく種付けされた
私の子袋が完全に屈服しました…♥
男根に屈服した雌に出来る事は
ひとつだけです
そう…あとは孕むだけ♥
キュン♥
キュン♥
プル
プル
ドロォォ

ハァ〜
ハァ〜
ポュ
ポュ

ハイエルフのお股の穴♥じっくり見せてあげる♥

ドキ

ドキ

クイッ

キュン♥

ほうら♥
ホットパンツの
中はもちろん
穿いてるわよ♥
ドキ
ドキ
ペロッ
プニュ

はいっ♥
お待ちかねの
これからアナタが
交尾する穴♥

ハイエルフの
オ・マ・ン・コ♥

ドキ

ドキ

ペロ

ペロ

同族の男とも交尾してない穴をアナタの為に晒してるの♥

交尾前の貴重な穴よたっぷり視姦なさい♥

キュン♥キュン♥

？！

？！

ガン見しすぎ♥
目が血走って
少し怖いわよ？

はいっサービス♥
ハイエルフの
処女穴くぱぁ♥

ハァ

ハァ

ヒク

ヒク

ドピュ

はい…全裸よ♥
胸が小さいのは
種族的な特徴
だ・か・らっ！
ああ…アナタの
男根の雄々しさも
種族的特徴
なのかしら♥
ドキ
ドキ
キュン
キュン
グインッ
ギュン
ギュン

スケベなポーズで男根をおねだりして欲しい？…こっこう？
ハイエルフの未使用交尾穴をアナタの男根で姦通させてください♥
キュン♥
キュン♥
プリュン
グイッ

ひぎいいい♥
初交尾いーっ♥
ズボッ
ブチ
ブチ
ブチ
ひぎ♥!!
痛いっ痛いっ♥
ブチブチ破られながら
男根が挿入ってくるぅっ♥

これが交尾っ♥
まるで男根に杭打ちされてるみたいっ
交尾すごい～っ♥

あっ

ズボッ
ズボッ

ズボッ
ズボッ

おぉ〜っ♥
なっなにっ？
こっこれが射精っ？
子種汁熱いぃっ♥
勢いすごいぃ♥
おおおお〜っ♥
ドピュッ
私っ種付けされてるぅーっ♥

あ〜っ

あ〜っ

ハイエルフは妊娠しにくい種族だけど
こんな凄い種付けされたら
処女喪失したその日のうちに
孕まされそうよ…♥

キュン♥
キュン♥

ビクン

ビクン

ゴポポッ

も…もっと種付けして…♥
腰が抜けて動けなくなるまで
ハメまくって欲しいの♥

ヒゥ
ヒゥ
トロォ
グッ
パァ

あっ♥
あっ♥
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ヒク
ヒク
ゴポン
プル
プル

あっ♥
あっ♥
ぷにっ
ぷにっ
キュン♥
キュン♥
ヒク
ヒク
ゴポン
ぷにっ
ぷにっ

こんな格好…♥
これじゃまるで
雄に屈服し全てを
捧げてるみたい♥
ウ〜ッ
グッ
プリュン

私を極太男根で屈服させた貴方にこのスケベ穴を捧げます♥

ハイエルフとの本気交尾をたっぷり楽しんで孕ませて下さい♥

キュン♥

キュン♥

たしか只人は男根をチンポと呼んでたいはず…チンポ…♥
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ひぃっ
オチンポぉ〜っ♥

あ～っ♥

ああああ～っ♥
只人の雄の種付け射精好き～っ♥
熱く濃厚な塊が押し込まれていく
すごい射精なのぉ～っ♥

もう孕んで本望よ
私の子袋お～っ♥

ドピュッ
ビュッビュッ

あ〜っ♥
あ〜っ♥
プル
プル
プル
プル
キュン♥
キュン♥
種付け最高っ♥

んっ
んんっ
クパッ
クパッ
クパッ
クパッ
スチャ
スチャ

ビクッ

ビクッ

んひぃぃ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

もう孕んで本望よ
私の子袋お～っ♥

あああ～っ♥
只人の雄の種付け射精好き～っ♥
熱く濃厚な塊が押し込まれていく
すごい射精なのぉ～っ♥

あっ♥♥あっ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

あ〜っ
ゾクゾク
ああああ〜っ♥
排泄穴に種付けされてるぅーっ♥
なにこれぇ〜っ♥あっあっ♥
いつもウンチ出ていく穴なのに
逆流してる感覚が気持ちいいーっ♥
ドブッ
ブリュ

おっお～っ♥
排泄穴交尾…いい♥
この非生産性的な種付け
予想外に気持ちいい♥

おっ
おっ
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ゴポポッ
プル
プル

今から私…
ゴブリン達にズタボロに
輪姦され孕まされます
こいつらは女を孕ませ
同胞を増やすだけの
道具としてしか
認識していません

そう…孕み袋…
娘を痛めつけ泣き叫ぶ様を
喜びながら犯し続けるの
巣に囚われた私は
これからずっと暗がりの中
ゴブリンの玩具にされるのよ…

フゥ
フゥ
キュン♥

ひぎいいいっ
ああっそんな…
ゴブリンの汚らわしい
イボイボ男根が
私の膣内にぃーっ!
グリ
グリ
ズドッ
グプゥ

力任せに腰を打ち付けてくる
ゴブリンの男根のイボイボが
情け容赦なく私の膣壁を
ゴリゴリゴシゴシと…
それはもう激しく
引っ掻き回すの…

な…何故…うそ…♥
こんな汚らしいモノに
犯されているというのに
どうしてこんなに
気持ちいいのぉ～っ♥

ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

おぉ~っ
おぉ~っ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
おおお~っ♥
ぐりぐりダメぇーっ♥
イボがっイボイボがぁ~♥

ひぎいいいっ
ドピュッ
ビュー!ッ
ビュー!ッ
ひぎいいいっ♥
たっ種付けぇ〜っ♥
私っゴブリンに種付け
されてるぅーっ♥

あ♥あ♥
ゴブリンに種付けされて
孕まされるって言うのに
私の体…悦んでいる♥
女の悦びに打ち震えてるわ♥
プル
プル
ああ…
もっと種付けされたい♥
もっと犯して…♥
イボイボ男根で輪姦してぇ～♥
キュン♥
キュン♥
ゴポッ
プル
プル

あっ
ペロン
プリュ

キュン♥
キュン♥
ビクン
ビクン

キュン♥
キュン♥
ビクン
ビクン

ドキ
ドキ
プーニュ

ぐいっ

ぷに
ぷに
あっ♥
あっ
キュン♥
キュン♥
ヒク
ヒク
ゴポッ
ぷに

あ〜っ
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ヒク
ヒク
ゴポッ
プル

はぁぁ♥
ぷュ
キュウウン♥

ポュ
ポュ
ハァ
ハァ

ぷりぃ
グッ

ぷぃ
ギュ

ぺと
ぺと
チュ
チュ
ぺと

ああっ
ムギュッ
プリュン

ぷル
ギリ
ギリ
ぷル
ハァ〜
ハァ〜
ぷル
ぷル

ああっ♥私の子作り穴そんなにされたらぁ♥
ヒク
ヒク
クパァ

ビクゥッ
んぎぃぃ!!
グギュゥ
プル
プル
プル
プル
んぎぃいい〜♥
ダメッ♥ダメッ♥
私のエルフ豆ちぎれるっ♥
しぬっ♥スケベ穴しぬぅーっ♥
あっ…あっ…もう…限か…♥

ズプゥゥゥ
あっ
あっ
プル
プル

ビクビク
あ〜っ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

お゛っ
ビクビクッ
お゛っ
お゛おぉっ
ビビュー!ッ
ビビュー!ッ
ドビビュゥッ

おっ
プル
おっ
キュン♥
キュン♥
ゴポッ
プル
プル

ズプゥゥゥ
ひぃ♡!

ビクビク
あ〜っ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

お゛っ
ビクビクビク
お゛おっ
お゛おぉっ
ビビュー!ッ
ビビュー!ッ
ドビビュゥッ

おっ
プル
おっ
キュン♥
キュン♥
プル
ドロォォ
プル
プル

グギュッ
ビクビク
ひぃ♡!

キュッ!
ドキ
ドキ

グ
ギュッ
グ
グ
グ
ひぎ♡!!

あっ
ドキ
ドキ
ギュウッ
プリュッ
私…今から
ゴブリン達と
交尾します…♥

ズボォッ
ひぃっ!
ビククッ

あっ
あっ
あっ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ

ビクゥゥゥ
ん♡ひぃぃっ
ビュー!ッ
ビュー!ッ
ドビュゥッ

ズボォッ

ひぃ♡!

ビクンッ

ふっふといっ♥
私の手首より太くて
ガチガチに勃起した
イボイボ男根が
子作り穴を押し広げ
挿入ってくるっ～っ♥

ズボッ

ズボッ

ズボッ

あっ♡

あっ

あっ♡

ゴブリンの
雄々しく反り返った
凶悪なカリ首と
イボイボが膣内を
ガリガリするぅ～っ♥

ビクゥぅぅ
ん♥ひぃぃっ
ビュビュー!ッ
ビビュー!ッ
ドビュビュゥッ
きたぁっ♥
ゴブリンの射精♥
濃厚子種汁ぅ〜っ♥
雌ならどんな種族でも
孕ませる凶悪な
子種ぇ〜〜っ♥

ビクッ
ビクッ
お゛っ
お゛
ゴポッ
お…おお…♥
これ…確実に孕むわ…♥
私…今…ゴブリンの
孕み袋になった…♥

んっ♥
んんっ
ムチュ♥
ムチュ〜♥
レロレロ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
んんん〜っ♥
ゴブリンにキスハメ
されてるぅ〜っ♥
口の中まで同時に
犯されているわ♥
腰の動きも激しい〜っ♥

ビュ!ッ
ビュ!ッ
ボチュ
ボチュ
ボチュ
ブチュ〜♥
んぶぅっ♥
もごもご
こっこのゴブリン
射精しながら
腰振ってるぅ〜っ♥
そんな濃厚な
ディープキスも
しないでぇーっ♥
好きになっちゃうぅっ♥

子作りのおねだりさせて頂きます♥
ムッチリ
プリュ
ハァ
ハァ

アナタの男根
私の子作り穴に
ハメて欲しいの♥

おっ…おちん…
オチンポ欲しいの
アナタに種付け
されたいのぉっ♥

ヒク

ヒク

ドキ

ドキ

ヘコ

ヘコ

キュン♥

キュン♥

チンポッチンポッ♥
極太オチンポ
欲しいのぉ～っ♥

あぁっ♥
アナタのオチンポ
このスケベ穴に
挿入れてぇ♥

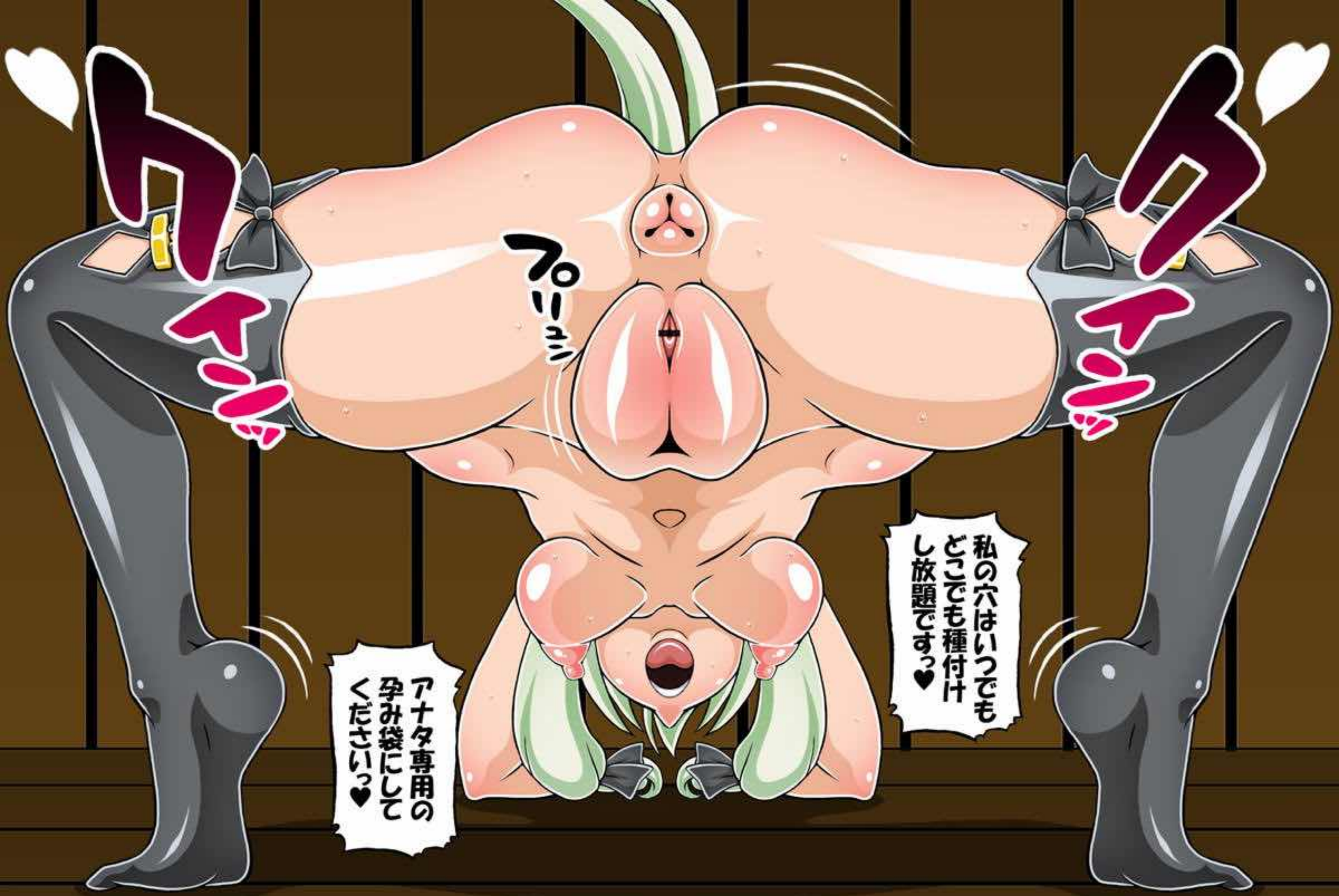
ほらっこの穴
もう欲しくて
限界なのぉ♥

ヌチャ

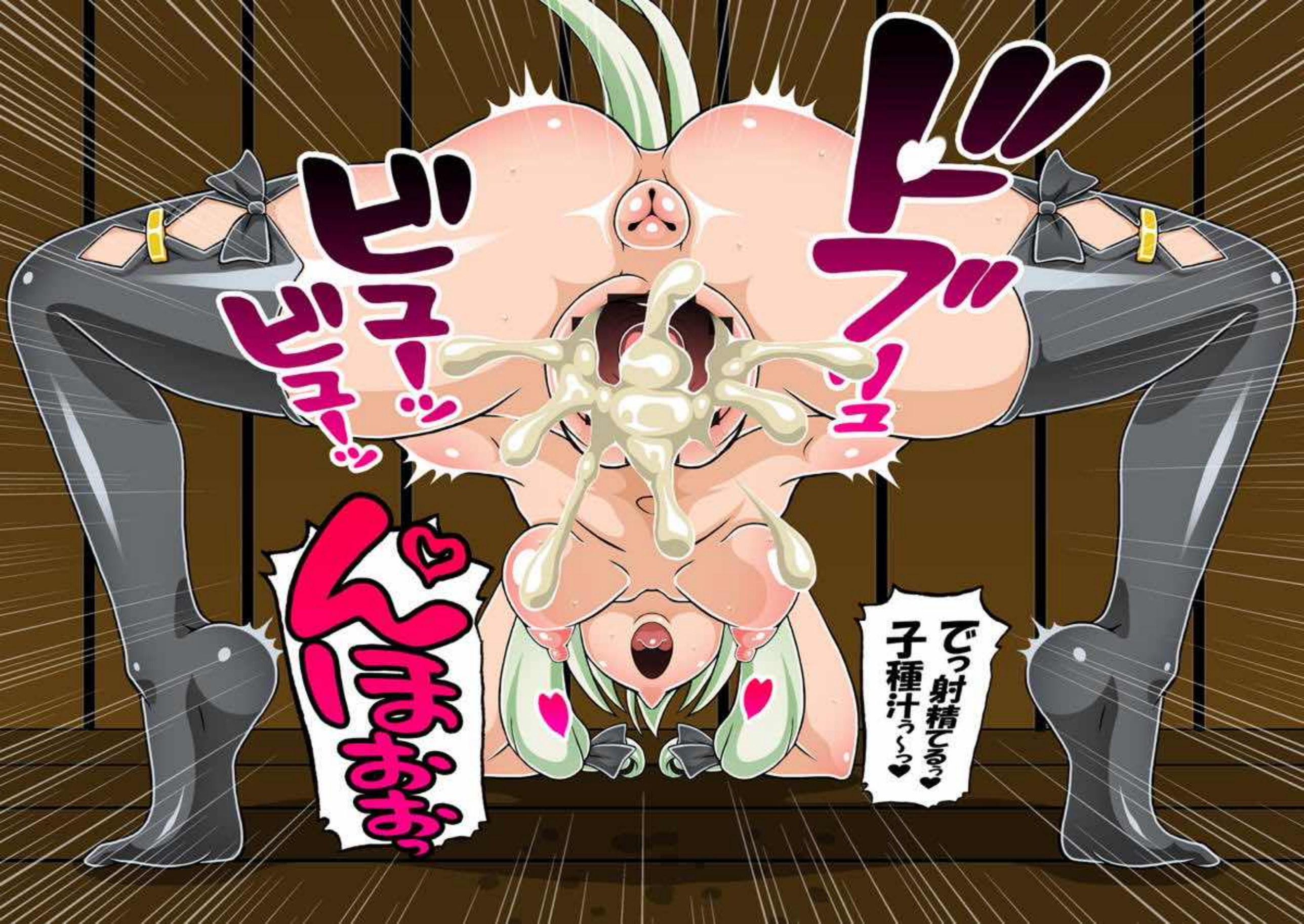
ヌチャ

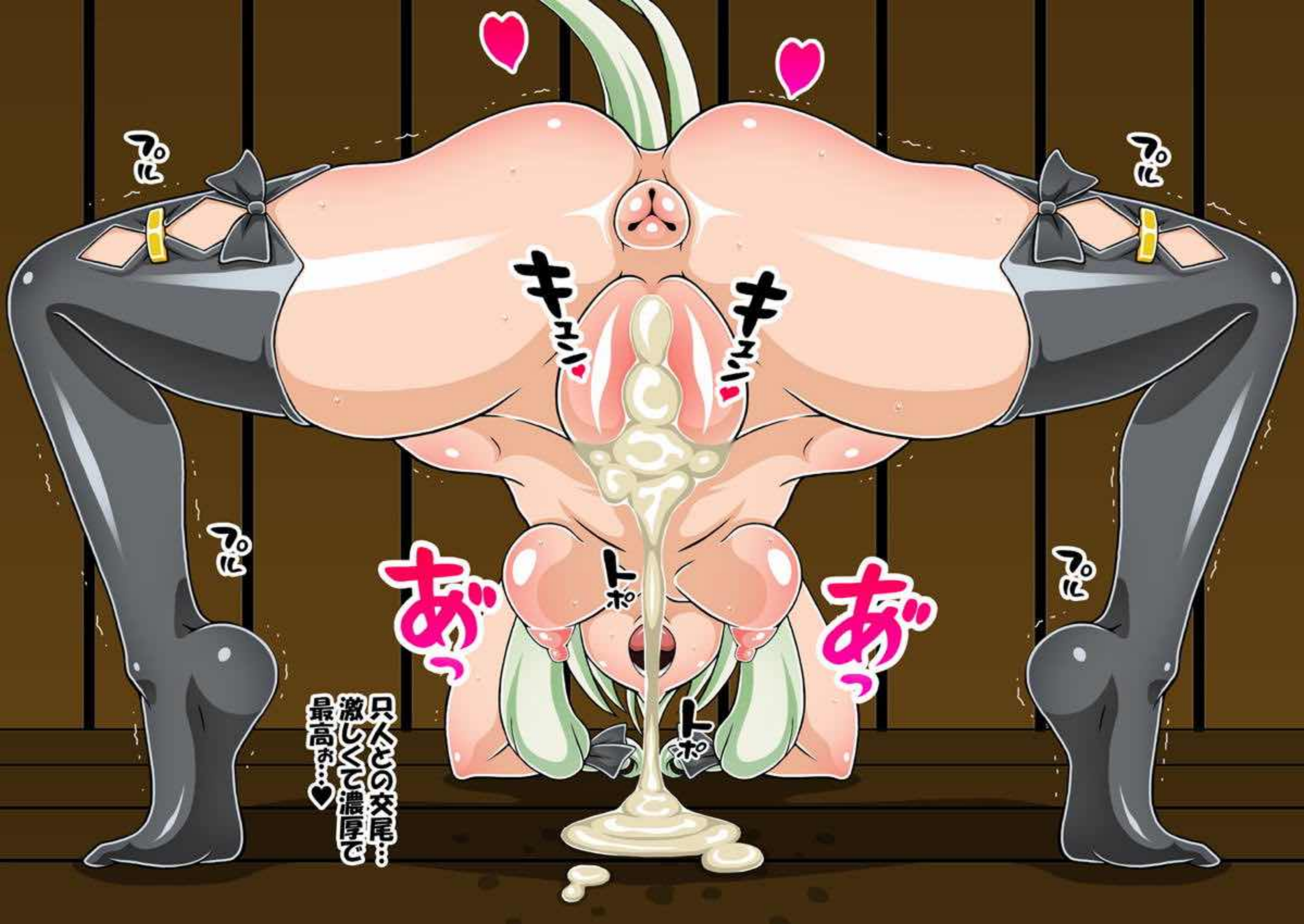
クパ

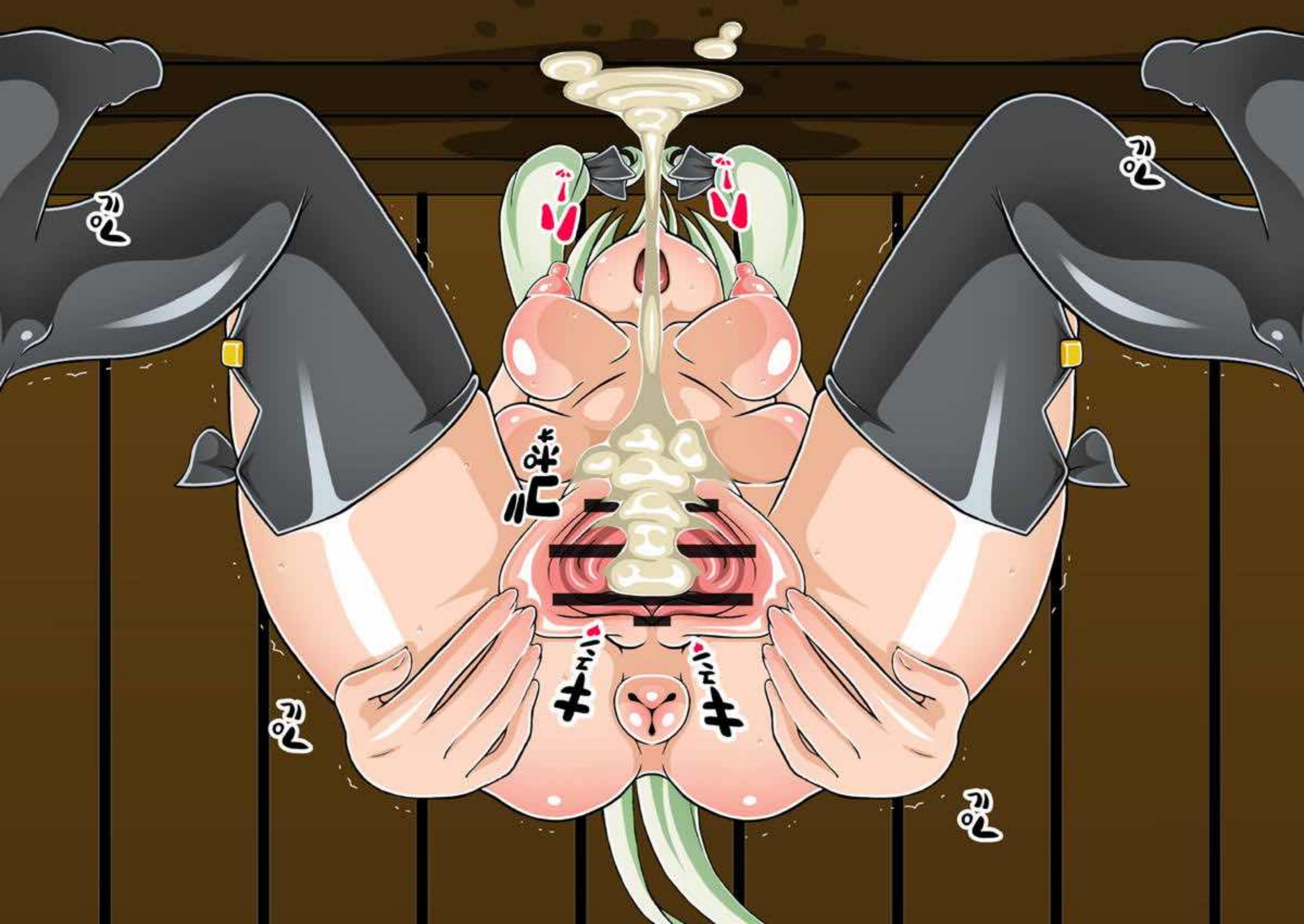
クパ


ダイン!!
ダイン!!
プリュン
私の穴はいつでもどこでも種付けし放題ですっ♥
アナタ専用の孕み袋にしてくださいっ♥

ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
おおお♡
おおおお♥
オチ○ポ
すごいのぉっ♥


ドブッ
ビュ！ッ
ビュ！ッ
んほおおっ
でっ射精てるぅ♥
子種汁ぅ〜っ♥


プル
プル
キュン♥
キュン♥
プル
プル
トポ
あっ
あっ
トポ
只人との交尾…
激しくて濃厚で
最高ぉ…♥



ズッゴブッ
ズッゴブッ
ズッゴブッ
ズッゴ
んひぃぃ

ズッゴ
ズッゴ
ズッゴ
ズッゴ
ムギュ
ムギュ
あっ
あっ

ドブーュ
ビュー!ッ
ビュー!ッ
あああぁっ♡
ビククッ

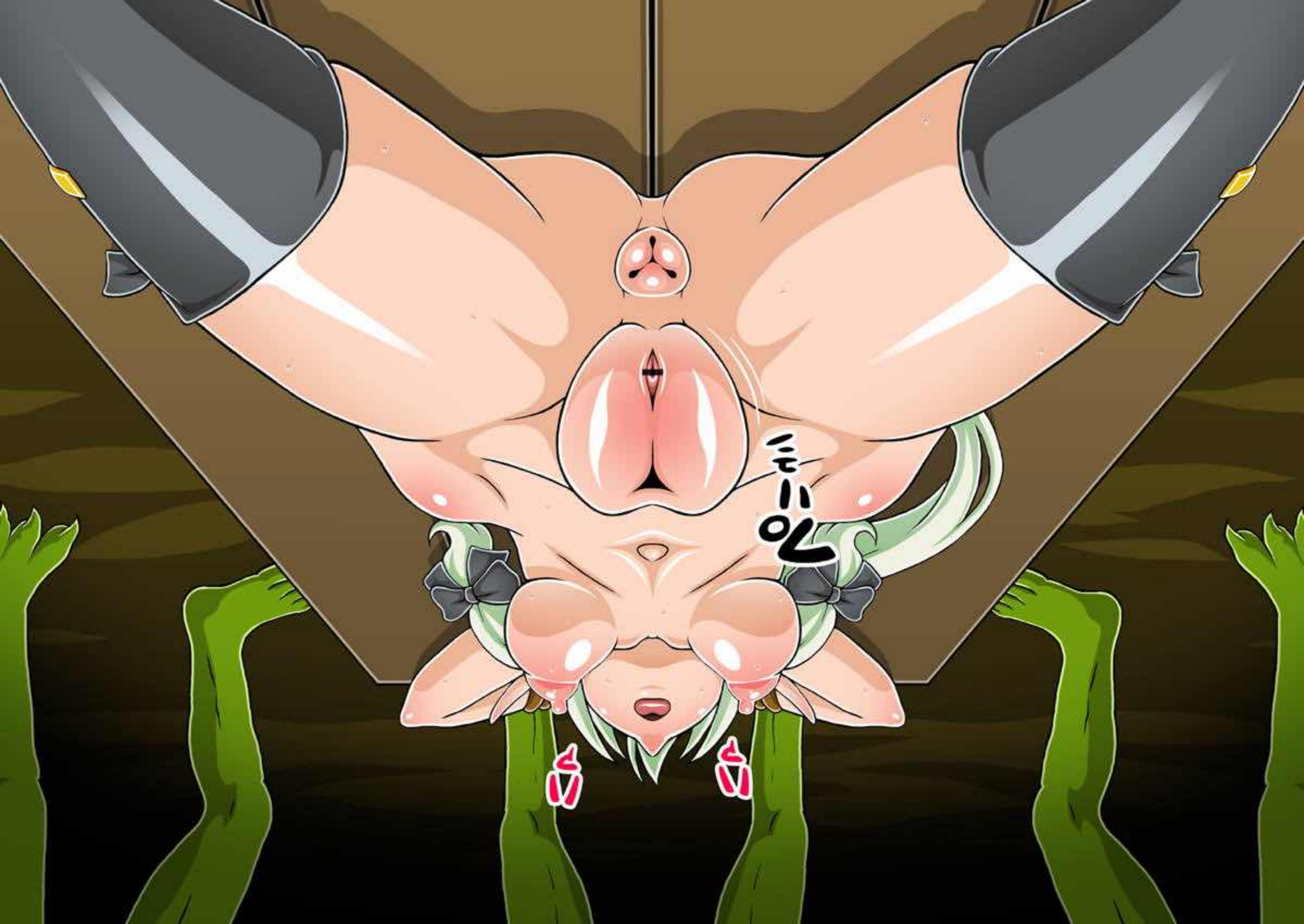
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ
ゴポォ
ぐまおお
プル
プル

ぷに
キュン
キュン
ぷに
ぷに
ぷに

ズコッ
ズコッ
あぐっ
あぐっ

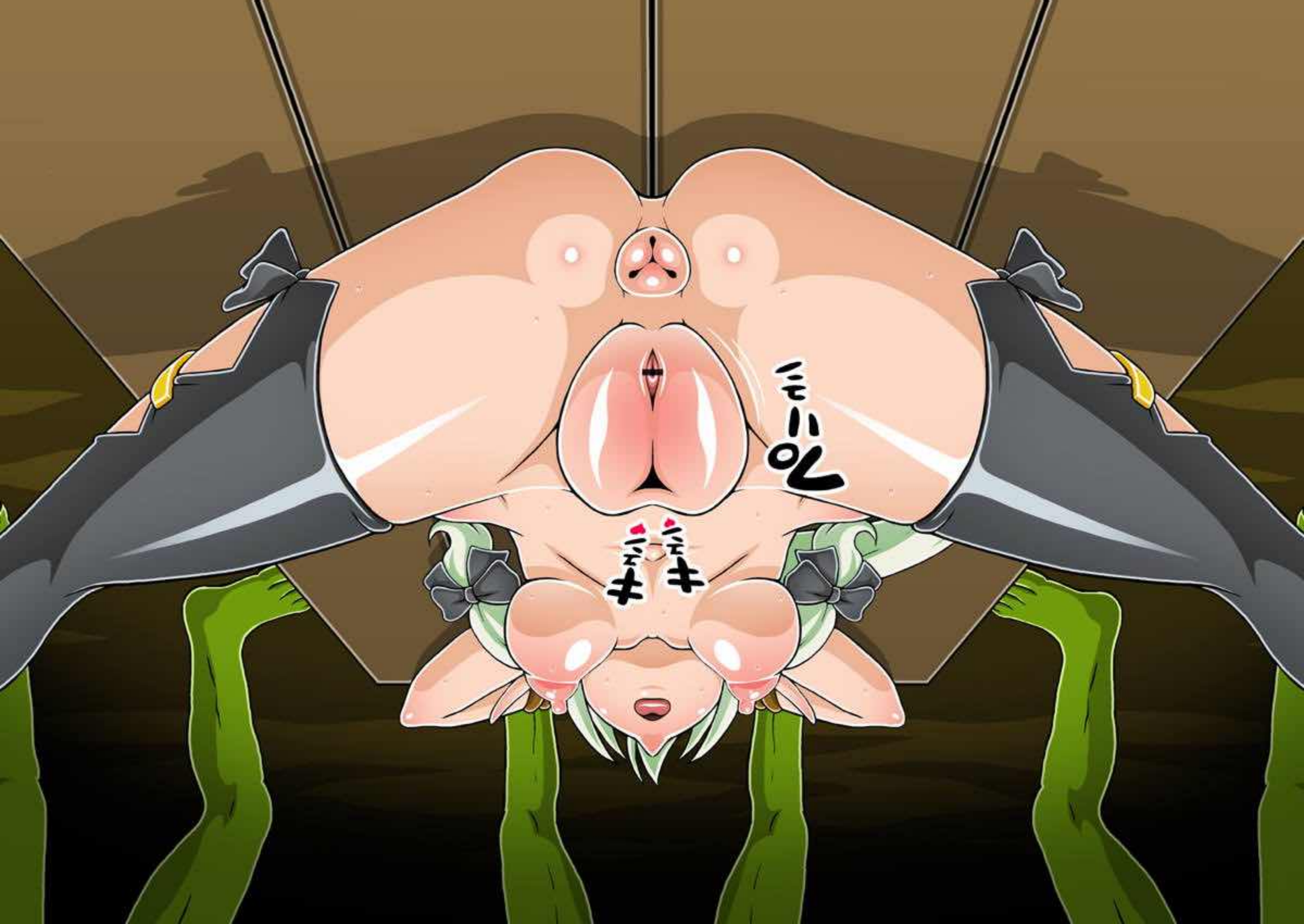
ぷぷ
ぷぷ
ぷぷ
ぷぷ
キュン
キュン
ぶぶ
ドロォォ

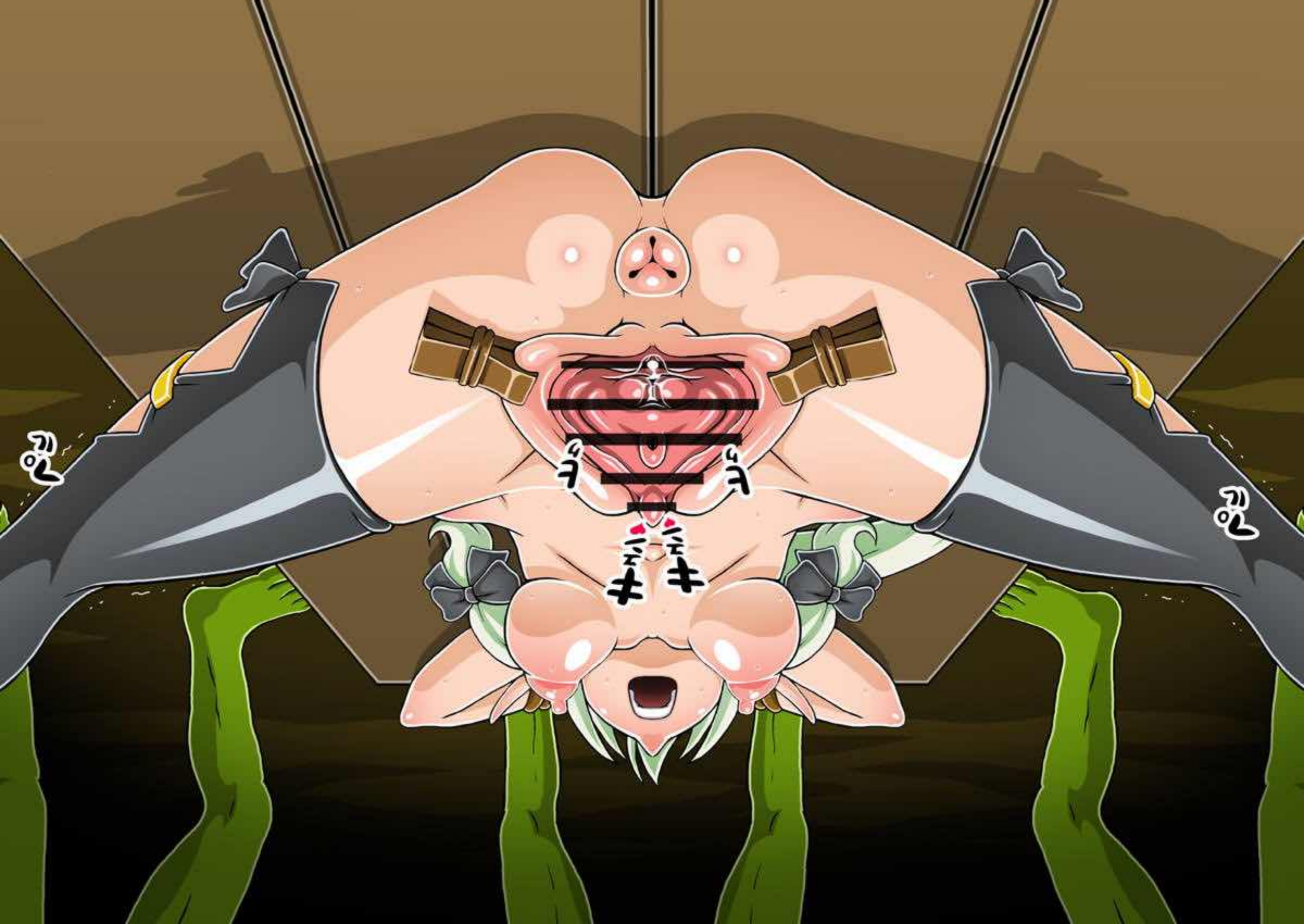
GOORB!
GORB!
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
あぁ〜っ
あぁ〜っ


ヒィィ

ぴぁ
ヒゥ
ヒク
ガバァ

あ〜っ
あ〜っ
プル
プル
ヒク
ヒク
ゴポォ
プル
プル


ヒクヒク



お好きな穴を
ご存分に
お使いください♥

あと…今夜
子作り穴は
危険日よ…♥

ドキ

ドキ

キュン♥

プリン

あ゛〜っ♥
ズブゴッゴッ
あ゛〜っ♥
ズブゴッゴッ

ひぃ
ビクビク
ビュ～っ♥
ビュ～ッ
ビュ～ッ
ドブリュ

んほおおおっ♥
こっこれっ孕むっ♥
私っ孕むぅ～っ♥

んほおおっ♥

ぷに

ぷに

キュン♥

キュン♥

ゴポォ

ぷに

ぷに

グッ
キュウウン♥
ハパァ

ドキ
ドキ
ナニ

ヒク
ヒク
パァ

ドキ
ドキ
ヒク
ヒク
ぷら〜ん

ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ

おひぃっ
お゛〜っ
お゛〜っ
ズッコズッコ
ズッコズッコ

ビクビク
ビクビク
ぴゅ
ぴゅ
ぴゅ

ぶぶ
ぶる
ぶる
ビキ
ビキ
ぶる
ぶる

まさかハイエルフであるこの私が
醜悪なゴブリン達に尻を突き出し
子作り穴をヒクつかせるなんて…♥

今から私…この巣が滅ぶまで
濃厚な子種臭が漂う洞窟の奥底
ゴブリンの孕み袋にされ
輪姦種付けされ続けます♥

ヒク
ヒク

ゴブリン達は巣での強さの順に
私と交尾してゆきます
ただし下位のゴブリン達に順番が
回ってきる事は殆どありません

あ〜っ♡

あ〜っ♡

彼らは私のよがり狂う姿を
凝視しながら勃起させた男根を
必死でシゴきあげ腰を振りながら
虚しく射精するのです…

ズッコズッコ

ズッコズッコ

私を自分の子種で孕ませようと
子種汁を子袋へ押し込む様に
種付けしてくるゴブリン…♥
それに応えようと
私の中の雌の本能が
勝手に腰が動かしてしまうぅ♥

ビククゥ

おぁぁぁっ

グッ

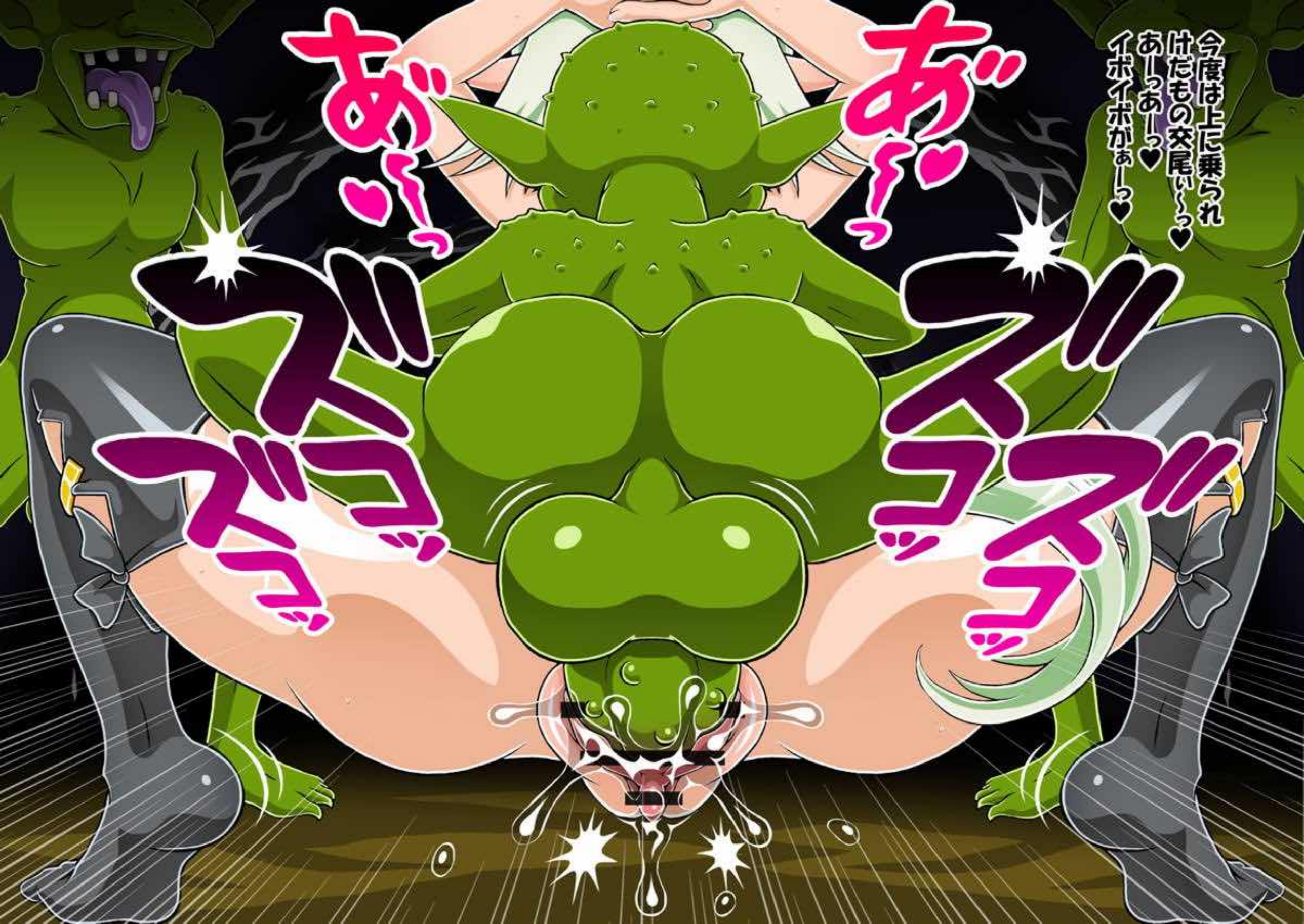
グッ

ブ!!

ビュ!!

ビュ!!

ビュ!!


今度は上に乗られけだもの交尾ぃ〜っ♥
あーっあーっ♥
イボイボがぁーっ♥
あ〜っ
あ〜っ
ズブ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

んほおおお♥
こんなポーズで
屈服種付けぇ～っ♥
んほおおっ
ビュ！ッ
ビュ！ッ
ビュ！ッ
ビュ！ッ

おっ♥おおおっ♥
種付けすごいのぉ～っ♥

ゴブリンによる
輪姦種付けはこの巣が
存続する限り続くの
私も輪姦され孕み出産を
繰り返すのよ♥

おっ

おっ

プル

プル

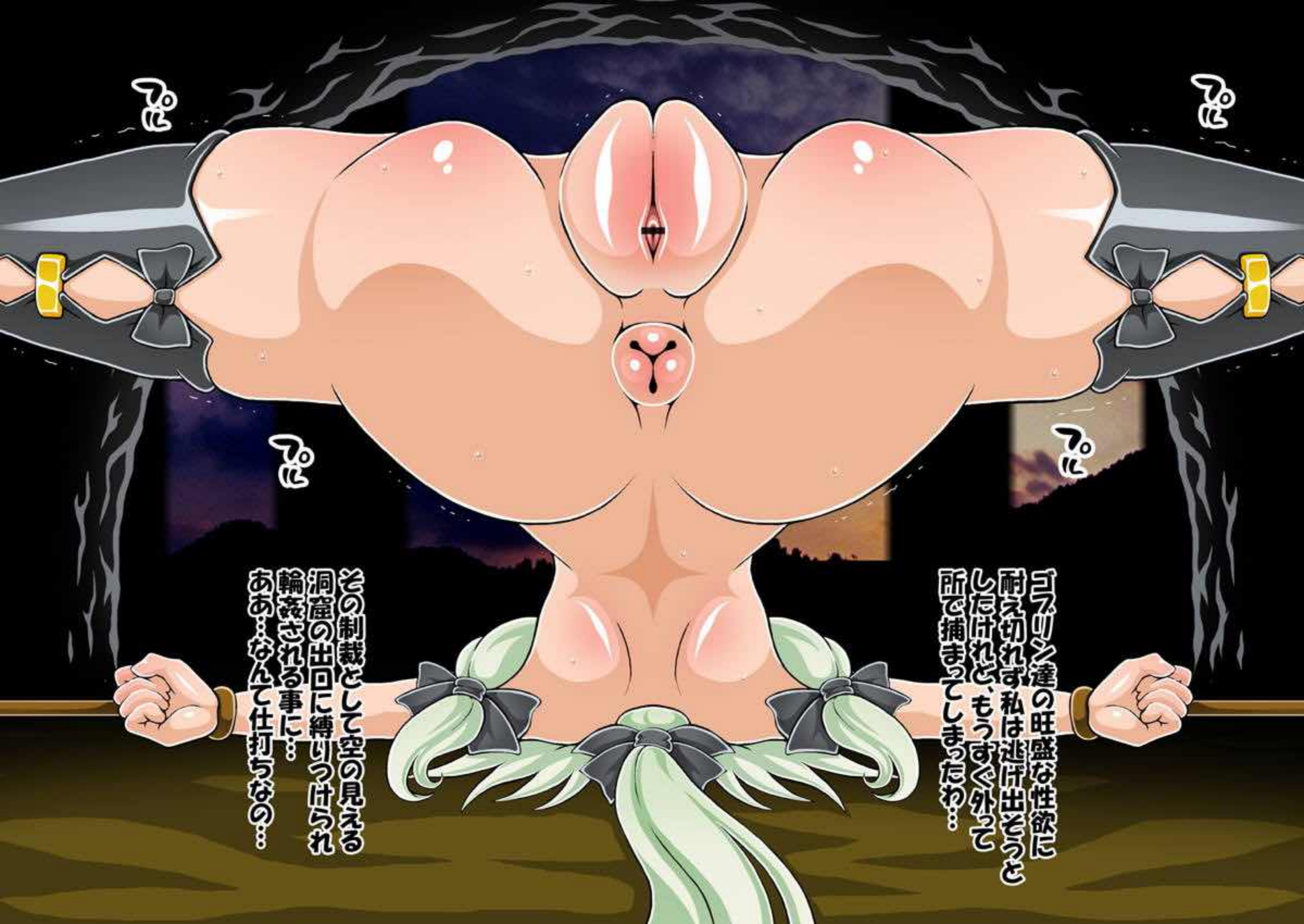
プル

プル

キュン♥

キュン♥

ぬいぬ
ぐぐ
ぴぴ



プル
プル
ゴブリン達の旺盛な性欲に
耐え切れず私は逃げ出そうと
したけれど、もうすぐ外って
所で捕まってしまったわ…
プル
プル
その制裁として空の見える
洞窟の出口に縛りつけられ
輪姦される事に…
ああ…なんて仕打ちなの…

ズゴ
ズゴ
ズゴ
ズゴ
あ〜っ♡
あ〜っ♡
私はイボイボ男根に突かれながらも
必死に助けを求め大声で叫びます
しかしそれは喘き悶え声へと変わり
黄昏時の空に消えてゆきました…

ぐぐぐ…
ぐぐぐ…
ぐぐぐ
ぐぐぐ

ズブズブズブッ

ゴブリンの責めは更に激しく苛烈になってゆきます♥
何匹ものゴブリンが休みなく私の乳首を引っ張りながらイボを強く擦り付ける様に腰を振り続けます…♥

おっ

おおおっ♥

おおお～っ♥
ゆっ許してぇ～っ逃げないからっ
もう絶対逃げないからぁ～っ♥
泣き叫び許しを乞う程に彼らは興奮し腰の動きを激しくするのでした…♥

ビュ！
ビュ！
ゴポ
ゴポ
ゴポ
ビュ！
ビュ！
ぷに
ぷに
ぷに
やっと制裁が終わったのは
闇に包まれた夜半過ぎ…
私は十時間近くも
責め続けられてたようです
彼らはグッタリとした私を
巣の奥へ引きずって
行きました…

若い娘が人里離れた森の中を
一人で歩くのは自殺行為よ

今の私みたいに森をフラフラしていると…

こんな風に男根を勃起させた
ゴブリンの群れに遭遇して
しまう事もあるのよ

いくら相手がゴブリンとはいえ
この数に囲まれたら絶望的
囚われたら孕み袋にされるわ

ドキ
ドキ

キュン
キュン♥

パニックになってはダメ
そういう時は慌てず
ゆっくりと服を脱ぐのよ

奴らを油断させるの
逃げ出すチャンスは必ずあるわ

ドキ

ドキ

キュン♥

キュン♥

裸になったらポーズでもとって
連中を挑発してやりましょう
恥かしくなんてないわ
相手は同族でも只人でもなく
ただのゴブリンよ
ドキ
ドキ
キュン
キュン

どうしても恥かしいなら
もっと過激なポーズを
とるといいわ♥
ほうら♥
もう恥ずかしくないでしょ？
ハァ
ハァ
ギチン
ギチン
キュウウン
ギチン

でも貞操はあきらめて…
確実に犯されるから♥
連中にとって私達女は
交尾し孕ませる穴
でしかないのよ♥
んぐぃ
ズボッ
ヌヌッ

あぐっ♥

ゴブリンに犯される事は
この際あきらめて
今は連中のスキを見て
逃げる事を考えるべきよ
きっとチャンスがあるはず

あぐっ♥

そっそれにしても
ゴブリンのイボイボ男根
すごい…すごいのぉっ♥
さすが女を犯し孕ませる為に
生まれてきた様な種族だわ♥

ズコッ

ズコッ

ズコッ

ズコッ

ズコッ

ズコッ

んおおお〜っ♥
わっ私っ今ゴブリンに
種付けされてるんだわっ♥
凄い勢いで濃厚なゲル状の子種が
子袋に注ぎ込まれてゆくぅ〜っ♥
ビククゥ
んぉぉっ♥
ハイエルフがゴブリンに種付けされてるぅーっ♥
ドビュウッ
ビュー!ッ
ビュー!ッ

おっ♥
おっ♥
ゴブリンとの交尾がこんなにすごいなんて…♥
ああ…これ知ったらダメなやつだわ
私の中の雌の部分が悦びに震えてる
これ以上こんなの味合わされたら
逃げられなくなるぅ♥
プル
プル
はっ早くこの場から逃げないと…
取り返しのつかない事になるわ
早く…ここから…ああ…♥
ダメ…下半身に力が入らない…♥
キュン♥
キュン♥
ビロォォ
プル
プル

おっ♥

おっ♥

ぺろ

ぺろ

キュンキュン♥

ドロォ

ぺろ

ぺろ

あっ

あああっ♥早く逃げないと
次の男根ハメられちゃうっ♥
そしたら私…確実に堕ちちゃうっ♥

ダメッ来ないでっ♥
早く逃げないと私の残りの人生
孕み袋にされちゃうぅ～っ♥

あっ

プル

プル

キュンキュン

ケツイッ

ケツイッ

プル

プル

あっああ〜っ♥
次の男根ハメられたぁーっ♥
今度は後ろから
そして真下からガンガン
突き上げてくるぅ〜っ♥

あ〜っ♥

あ〜っ♥

最初の男根に絶頂させられた
敏感な膣ヒダを激しく
擦りあげながらの
猛烈ピストン責め…♥
ああ…私…♥
もう逃げられない♥

ズコッ

ズコッ

ズコッ

ゴッ

ゴッ

ビクッ
ビクッ
ゴッ
ゴッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

ひぎいいっ♥
乳首ダメぇ~っ♥
ひぎいぃぃ
ギュッ
オッパイ小さいけど
すごく敏感なのぉー♥
ギュぅぅッ
ギュウウン♥

あぐぅっ
あぐぅっ
このゴブリン私の反応を楽しみながら乳首をつねり男根を突き上げてくるっ♥
ギュッ
ギュッ
だっだめぇ…♥私…このゴブリンに完全支配されてるわ♥
ズッ
ズッ
ゴズッ
ゴズッ
ゴ
ゴ

おごっ♥おごっ♥
きょっ強烈な突きぃ〜っ♥
おごっ
そっそれ以上されたら
子袋潰れちゃうぅ♥
ドスッ
ドスッ
ゴーッ
ゴーッ

強烈な連続突きをされ
既に連続絶頂中の私に
トドメとばかりに一番深い所を
えぐる様に男根を突き込まれ
濃厚な子種汁をブリュブリュと
射精されました…♥
ふぐぅぅっ
ボコォ
ズドッ
ドブリュブリュ

ゴブリンの男根に敗北した雌ハイエルフの図

孕みました…もうすぐ出産です♥
勿論どのゴブリンが父親かなんて
判るはずありません
二十匹近い群れのほぼ全員と
昼夜関係なくひたすら
交尾したのですから♥

ゴブリンの出産周期は短いから
私は年に何度も出産する事になります♥
このお腹の子が生まれたら即種付けです♥

ポコ
ポコ

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥
プル
プル
プル
プル

ハァ
ハァ
ウズ
ウズ
キュウウン
プリュ

ぶぶぶっ
プル
プル
キュン
キュン
ドロォォ
プル
プル

ここはゴブリンの巣穴の奥底よ
ここに囚われた娘が外に無事出れる
可能性はとても低いわ
大半の娘はここで輪姦され
孕み袋にされ人生終わるのよ

運良くギルドに討伐依頼が出され
冒険者がこの巣を駆逐してくれれば
救われるかもしれないけど…
あぁ…何て濃厚な淫臭がこもってるのよ
クラクラしてきたわ♥

ブゥ
ブゥ
ブゥ

ゴブリン達の不潔な男根や子種汁
先に囚われた娘達との交尾臭が
洞窟内にこもって凄い事になってるわ♥
ああ…この匂いを嗅いでたら
勝手に股が開いちゃう…♥

んひいいいいっ♥
ゴブリン男根ぎもぢいぃ〜っ♥
突いてぇっもっと突いてぇっ♥
私のスケベ穴ぁ〜っ♥
ぐぐぐっ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ゴッ
ゴッ

あぐっ
あぐっ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ゴ
ゴ

んほおおおお〜っ♥
いっ一番奥に種付けぇーっ
子種汁で子袋が
膨らまされてるぅぅ♥
んほおおっ
ボコォ
ドビュウッ
ビュー!ッ
ビュー!ッ

おっ♥
おっ♥
ぷる
ぷる
おっ♥おおっ♥
この後…数日にわたり
ほとんど休みなく
種付けされ続けました…♥
キュン♥
キュン♥
ビクン
ビクン
ドロォォ
ぷる
ぷる

もうすぐ出産です…
この縛りつけられた姿のまま
ゴブリンの子を出産するのよ
今回産むので何匹目だったかなぁ…
出産したらすぐ種付けされるの
この先もずっとずっと…

ヒヒヒ

あ～っ！

ゴブリンは私を肉の盾用の板に縛りつけました
彼らは虜囚を盾に使い戦をするのよ…

さすがの私も恐怖したわ…
こんな無様な姿を人々の前に晒すなんて…

ガタ
ガタ

ひぃ♥
ゴ!!
ゴ!!
ズ
ドッ
グッ
グッ
肉盾状態に恐怖している
私の前に勃起したゴブリンが
カエルの様にしゃがみ
そして飛び付くように
男根を突っ込むと楽しそうに
腰を振り出したの♥

そして激しく突き上げながら
私の唇に舌をねじ込みディープキス〜♥
最初は乱暴で口の中を犯されてる感じ
だったのに

それは次第に
舌と舌をからめ吸い合い
やがて恋人や夫婦のするような
濃厚なラブラブキスになっていったの♥
ゴブリンとキスなんてぇ〜んっ♥んん〜っ♥

シーーーッ♥
キスハメされながら種付けぇ～っ♥
まさか只人との交尾と同じ事を
ゴブリンにされるとは思わなかったわ♥
おおお～っ♥好きぃ～っ♥
ブヂュゥ
ブーッ!ッ!♥
ドビュウッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ

全く身動きできない肉盾の交尾は
時々行われる様になりました♥
戦が始まる気配はこの群にはありません
ゴブリンメイジの様な頭のいい個体も
この巣にはいないようです

ディープキスする行為も群れに知れ渡り
ほとんど背位だった交尾も
キスする為に正常位での交尾も増えました…♥

あっ♥
あっ♥
プル
プル
キュン♥
キュン♥
ゴポ
ゴポ
プル
プル

お腹も見事に膨らみそろそろ出産です…
この巣が討伐され私が救い出されるまでに
何匹のゴブリンを産むのかは判らないけど

まだしばらくの間は孕み袋として
この巣で輪姦され過ごす事になりそうよ…♥

最近…私…おかしいです…
下腹部がジンジンと熱を帯びる感覚に戸惑っています…
それはゴブリン討伐でよく見かける惨状
侵入した巣の奥に囚われた返り討ちに遭った冒険者や村人の娘達が
孕み袋としてゴブリン達の慰み者にされる様…

表情もうつろにただゴブリンに犯される娘達…
あの惨状を思い返すたびにこう想像してしまうのです
もしあれが…犯されているのが私だったら…と
そんな自分を想像すると子袋が熱を帯びるのです

ドキ
ドキ
キュン♥

そんな時は神に祈り心を落ち着かせるの…
いと慈愛深き地母神よ…と
忘れようとしても一度火照った下腹部は
簡単に鎮まってくれません…

このオ…オマンコの疼き…まさか
私が…ゴブリンとの交尾を望んでいる？
そ…そんなはずはありません！
祈らぬ者と交尾を望む者なんて…
ましてや私は神に仕える神官なのですから…
しかも乙女なのです…はじめての相手は…その…ドキドキ♥

ドキ
ドキ
グッ
キュン♥
キュン♥

この淫らな疼きを鎮める為
神殿にあるテーブルの硬い角に
オマンコを擦り付ける事で
自分を淫らな気持ちを戒めました…

硬い角が私の敏感な部分を責め
私を強く戒めるのです…♥
んっ♥んんっ♥かっ神よ…
私の愚かな迷いをお諫めくだ…さいっ
んんーっ♥

んっ♥

んっ♥

ｸﾞﾘﾘ

ｸﾞﾘﾘ

私は神殿を訪れるたびに自らを戒めました
角に擦り付ける力を強め
溢れ出る不浄汁の量も増えてゆきます
神よ！神よ！神よ！神に祈りを捧げながら
一心不乱に腰を振り続ける私…
んんっ
んんっ
グイッ
グイッ
グッ
グッ

やがて私の祈りと腰振りが頂点に達すると
ビクビクと体を大きく震わせ
不浄にまみれた私の心を浄化します♥
しかし神官服股間に出来た不浄汁の
大きな滲みに私は頬を染め反省しました…♥
神っ…よ…♥♥
ビクビクビクビク

しかしさすがにカドオナ…いえ
不浄を払うのに神官服に滲みを作るのも問題です
なので…服の一部を取り払ってみました
これなら不浄汁で汚す事もありません

好きなだけカドオナを堪能…いえ
神に祈りを捧げながら
不浄汁を噴いても安心です…♥

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥
プリュ

いと慈愛深き地母神よ…
色欲に迷う愚かな神官が
神殿のテーブルの角で
不浄を払う事をお許しください…♥

私…今から神殿でオナニーします♥
どうか愚かな神官に
厳しい罰をお与えください…

あっ…
いつも冷たく硬いテーブルの角…
今日は直にオマンコに…

あっ♥

ピク!!

ああ…とても冷たいです♥
鋭い角が私の敏感な割れ目の奥に
刺さる様に届いてます♥

ヒヤ

あっ♥

あっあぁっ♥直だとこんなにスゴいなんてぇ♥
鋭い角が私の敏感な部分を切り裂いてしまいそう♥
痛いっ♥痛いのに腰が止まらないぃっ♥
割れ目の奥の色々な敏感な部分を
鋭い角が刺す様に刺激していくのぉ♥

ここは陰唇♥ここは陰核ンンっ♥
ここはおしっこの穴♥
そしてここが交尾する穴っ♥
ここにっここの穴にアレが挿入るのね？
イボイボのアレが挿入るの穴ぁ～っ♥

ビクッ

キッ

グ！

グ！

キッ

なっなにこれぇ～っ♥
いつもの絶頂感と全く違うスゴいのが来て
困惑しながらもあまりの強い絶頂感に
身を委ねビクイキまくりました…♥
もう不浄を払うっとか建前などどうでもいい
絶頂に私の中の守るべき最低限の部分が
壊れた気がしました…♥

あのスゴい絶頂感を味わってからの
私の行動はエスカレートしてゆきました…♥
真夜中で誰も居ないとはいえこんな格好で
神聖な神殿を徘徊しオナニーをしまくる
神をも恐れぬ痴態を晒しました…♥

乳房や性器を露出させているだけで
ドキドキが止まりません♥
神殿の中で開き性器もぱっくりと晒すと
凄まじい背徳感でゾクゾクするんです♥
祈りを捧げる場所で何度もオナニーしました♥

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥

いと慈愛深き地母神よ…
毎夜恥知らずな格好で神殿を徘徊し手淫する
愚かな私に罰をお与えください…

私はこの体の疼きに逆らえず
淫らな行為を止められないでいます
もし信徒にこの様な姿の神官を見られたら
とんでもない大事になるやもしれません…

今夜もこっそりと
そして大胆に股を開き
神殿の清らかな気の満ちた中
自慰行為にふけります…

神よ…
私の淫らで稚拙なオナニーを
お許しください…♥

ドキ
ドキ

キュン♥
キュン♥

トイ

あっ

あぁっ

神に祈ると私はいつものテーブルの角を
割れ目の奥に咥え込む様に
押し付けると一心不乱に腰を振りました♥

角で陰核を押し潰す様に擦りあげ
大切な交尾穴に角を突っ込むつもりで
グリグリと腰を押し付け快感を貪ります♥
あっあああっ♥んん～っ♥

グッ
グッ

ギシギシ
ギシギシ

オナニーは背徳感が強い程気持ちよく
イった時の絶頂感もスゴいのぉ～っ♥
んひいいいい～っ♥
自室でするのもいいけれど神官ゆえに
神殿でする背徳感はたまりません♥
ビクゥゥッ
プシュゥ
ビクゥゥッ
んひぃいぃ
私はこの後も神殿の色々な場所で
オナニーを繰り広げました♥
そして不浄汁をまき散らしたのです…♥

昼間は高位の司祭様が来訪され多くの信徒で賑わった神殿
私はその場所に全裸で立っていました♥

今の私は乳房も性器も全て丸出し…♥
股を開けば勃起した陰核が剥き出し
淫汁に濡れた交尾穴がパックリと口を開き
尻を突き出せば肛門もヒクヒク丸見えです♥

今私はこれから行う背徳オナニーに
興奮して腰をくねらせています♥
神殿で…神に仕える神官の私が
淫欲に支配され全裸でクイクイと
誰かを誘う様にいやらしく
腰を振っているのです♥
ドキ
ドキ
きっと私には遠からず
神の罰が下されるでしょう…
しかし今の私はそれをさえ期待し
性器を充血させてしまうのです♥
クイッ
クイッ

まずはいつもお世話になっている
テーブルの角にオマ○コで優しくキスをします♥
もちろん神への祈りを口にするこの唇でも
何度も舐め回すようにキスしていますよ♥

この角は私を確実に絶頂へ導いてくれるの
今の私にとってこの角は男性器にも等しく
愛しい恋人の様な存在なのです♥

んんっ♥ん～っ♥
いっいつもより感じるっ♥
割れ目の奥が切なくてもっともっとって
腰を強く振る様にと私に促すのぉっ♥
んんっ
んんっ
ああああっ♥もっと欲しいっ♥
もっと奥まで欲しいのぉっ♥
アレなら…あのイボイボのアレなら
きっと私のずっと奥深くへ届くかも…♥
キュウウン
グリュ
グリュ
ギシギシ
ギシギシ

あまりの快感に私は祈りをやめ
体の望むままに腰を振りました…
鋭い角が容赦なく割れ目の中を擦り
凄く痛いのに腰振りが止められません♥

あああぁぁっ♥

あああぁぁっ♥

オマンコはもう真っ赤になっています
痛いっ痛いっ痛いぃ～！
でも止められないっ♥
オマンコ気持ちイイのぉーーっ♥

ゴッ
ゴッ
グイッ
グイッ

女神宮マシュ

ビクビク

イクゥ〜ッ♥

ビクビク

プシュウ

プシュウ

それは今までで一番の
凄まじい絶頂感でした♥
まるで自分の何か大切な
ものが壊れてしまった様な
そんな衝撃が走ったのです…

おっ♥

おぉ

凄まじい絶頂が全身を貫き
しばらくの間…
私はプルプルと余韻に震えていました♥

プル

そして余韻も消えた頃
もう自慰ではこれ以上の快感は味わえないだろう
そう――何かが告げてきた…
そんな気がしました…

キュン♥
キュン♥

プル

プル

最近…私の体はどれだけオナニーしても満足しなくなっていました…
だからと言って男性に抱いてもらいたい等とは思えず悶々とした日々を送っていました…
考え事をしながらフラフラしていると
気が付けばそこは人里から離れた森の奥

鬱蒼とした森の中…
疼く下腹部の熱を持て余していた私は
誰も居ない…折角だからここで
オナニーでもしようかと思ったのですが
その時、目の前に一匹のゴブリンが現れたんです

ドキ
ドキ
キュン♥
ウズ
ウズ

私に気付きゴブリンも驚き錆びた短剣を構えましたが
私が武器を持ってないのを確認するといやらしい笑みを浮かべ
何と私に向けて…イボイボのペニスを
ムクムクと勃起させたのです…

す…すごい…♥

それはゴブリンの体躯と比べると
アンバランスな程長く太く雄々しいものでした…
鋭く反り返り肉厚で紫色のプックリとした亀頭…
プリプリとびっちりイボ付いたイボイボ…♥
どれも女をよがり狂わせ種付けする為のものです…♥

ゴブリンのイボペニスを前に
私は信じられない程の胸の高鳴りと
子袋のズキズキと痛い程の疼きに思わず
神官服を脱ぎ捨てました…

いきなり目の前で服を脱ぎ
全裸になった私を前にゴブリンも
目を丸くして驚いてるように見えます
私…今からゴブリンと交尾します♥

ドクン
ドクン

ズキン
ズキン

私が脚を開くとゴブリンは
大興奮でペニスをプルンプルン
振って大喜びの様です♥

今からあのペニスが私の処女を奪い
子袋に突き刺されてしまうのね♥
そして情け容赦なくゴブリンの欲望のままに
種付けされてしまうんだわ…♥♥

ギュッ

クイッ

プルン

プルン

キュウウン

プルン

ゴブリンは私の後ろから腰を掴むと
ペニスを割れ目に押し当て
何の躊躇もなく
亀頭を突っ込んできました
ビクッ
ひぃっ♡
何か大きくて熱い異物感と
初めて感じるその痛みに戸惑うも直ぐ理解しました
種付け穴にゴブリンのペニスを挿入れられたのだと
こっこれが…男性の…
ズッ
ブチ

ビクッ
ひぃっ♡
ズッ
ブチ
ツ〜

ビクビク
更にゴブリンは亀頭だけでなく
ペニスの全てを私の膣内へ
思い切り突っ込んで来ました♥
ブチブチと処女膜を破りながら
雄々しいイボイボペニスは
一気に私の一番奥へと到達したの♥
ズブゥ
ブチ
ブチ
おぉ〜っ♥
これが私の処女喪失…初めての交合です♥
神に仕える神官が祈らぬ者と自ら望んで交尾するなんて
きっと私は地獄へ堕ちるでしょう…

ビクビク
ぉぉぉぉ♥
ズズ
ブゥ

ゴブリンの強烈な突き上げで
情け容赦ない衝撃を受け
私の子袋が激しく歪み
ああぁっ❤
ズドッ
ズドッ
ああぁっ❤
同時にイボイボが膣壁を
ガリガリと爪を立てる様に
擦りまくるのです❤
これがゴブリンのペニス！これが交尾！
ズドッ
ズドッ

これが種付けぇ～っ♥
ゴブリンの子種で私の子袋を膨らんでゆくのが判ります♥
祝♥初種付けぇ～っ♥
ビックン
ぐぉぉぉっ
すごいっ♥
子種がお腹の中で暴れているのぉ～っ♥
ボコォ
ドビュウッ
ビュー！ッ
ビュー！ッ

おっ♥
おっ♥
いと慈愛深き地母神よ…
ゴブリンに種付けされ
牝の悦びを知ってしまった愚かな
神官をお許しください…
私を襲う恐ろしい程の背徳感は
種付けされる悦びに掻き消され
更なる交尾を求め勃起し続けるゴブリンに
股を閉じる事が出来ませんでした…♥
ハ!!
ハ!!
キュン♥
キュン♥
ビクン
ビクン
ゴポ
プル
プル

神への祈りをやめ
ゴブリンを誘惑する様に
いやらしくクイクイと腰を振ると
プルプルとペニスを震わせる
ゴブリンが愛しく思えてしまいました♥

今の私は子種欲しさに雄に媚びる
発情した一匹の雌でした…
あぁっ♥もっと交尾したいっ♥
このゴブリンと交尾したい♥

ハァ
ハァ

キュン♥
キュン♥

クイクイ♥

あ〜っ♥
あ〜っ♥
今度は前から激しく突いてくる♥
時折腰を回転させイボイボを
効果的に使って私を責めるぅっ♥
ああああっ♥私のオマ○コが
一突きされる毎にゴブリン専用交尾穴に
変えられてゆくのぉ〜っ♥♥
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

んほおおおおっ♥
濃厚な子種汁が私の子袋で
爆発してるのぉ～っ♥
女神官とゴブリンの同意種付けぇーっ♥
ビビックゥゥ
ん♥ーほぉおぉおっ
ぎぼぢいい～～っ♥
私っ♥女として終わったぁ♥
もうゴブリン以外との交尾なんて
考えられないいいーっ♥
ドブリュ
ビビュー!ッビュー!ッ

あっ

ぷる

私が子種を仕込まれる悦びに
全身を震わせていると
いつの間にかゴブリンが
増えていました…♥

あっ

ぷる

どのゴブリンも雄々しく勃起させた
ペニスを私に向け近寄ってきました♥
やがて闇夜に悦びに染まった叫び声が響き渡り
女神官とゴブリンの輪姦交尾が始まりました♥

キュン
キュン

ポポ

ぷる

ぷる

ゴブリン達は前から後ろから
好き放題ハメ狂いました♥
私もゴブリンの望むまま
すべてを受け入れ股を開き
子袋を開放しヒィヒィよがり狂いました♥

その淫らな宴は夜更けまで続きました
私は猛烈な連続絶頂に陥り途中から意識を失い
ゴブリン達はそんな私を気遣う事もなく
ひたすら輪姦し続けた様です…♥

目覚め辺りの様子を見回し
自身の置かれた立場を理解すると
私は青ざめ絶望し震えました……

ここはゴブリンの巣
仄暗い穴の奥底に私は囚われていました
かっ神よ…その手は縛られ祈る事は出来ません
これはきっと愚かな私への神罰なのだと思います…

ガク
ガク
ガク
ガク

あ

あ

神の罰はこの巣で死ぬまで
ゴブリンの孕み袋にされる事
私はそう理解しました…そして…
神官の最後の務めとして
それを受け入れねばなりません
私のこれからの人生孕み袋です…

昨夜は欲望のまま淫らに腰を振り
ゴブリンとの交尾を失神する程楽しんだくせに
今はご覧の通り恐怖に泣き叫んでいます
そんな私をゴブリン達は悍ましい笑みを浮かべ
凶悪なペニスを勃起させ近寄ってきました…

ヒ

ヒ

ひぃ〜っ
抵抗する私は脚も縛り付けられてしまいした
それは恐らく犯す側の男達にとっては最高の
女にとってあまりにも恥辱的なポーズでした…
プリュ
ぶらぶらん
ビキィン

あぁ〜っ♥

あぁ〜っ♥

しかし激しい輪姦交尾が始まると
恐怖も恥辱も掻き消され私は
大声でよがり狂う孕み袋と化して
いました…♥

固定されイボイボペニスによって強制的に
受ける凄まじい快感から身をよじり逃げる事が出来ません
こんなの味合わされ続けたら気が狂っちゃうぅ〜っ♥
いえ…狂ってしまった方が幸せなのかもしれません…

パァーン

パァーン

パァーン

おぉっ♥
おぉっ♥
ゴブリンの巣での初種付けぇーっ♥
ビュッ♥
ビュッ♥
ビュッ♥
ビュッ♥
ゴポポ

おっ♥
おっ♥
プル
プル
キュン♥
キュン♥
プル
プル
ドロォォ
こうして道を踏み外した女神官の
只人としての人生が終わり
ゴブリン孕み袋人生が始まりました♥
ただひたすらゴブリンと交尾して
孕み出産を繰り返すだけの人生
私はここで何匹のゴブリンの子を
産むのでしょうか…♥

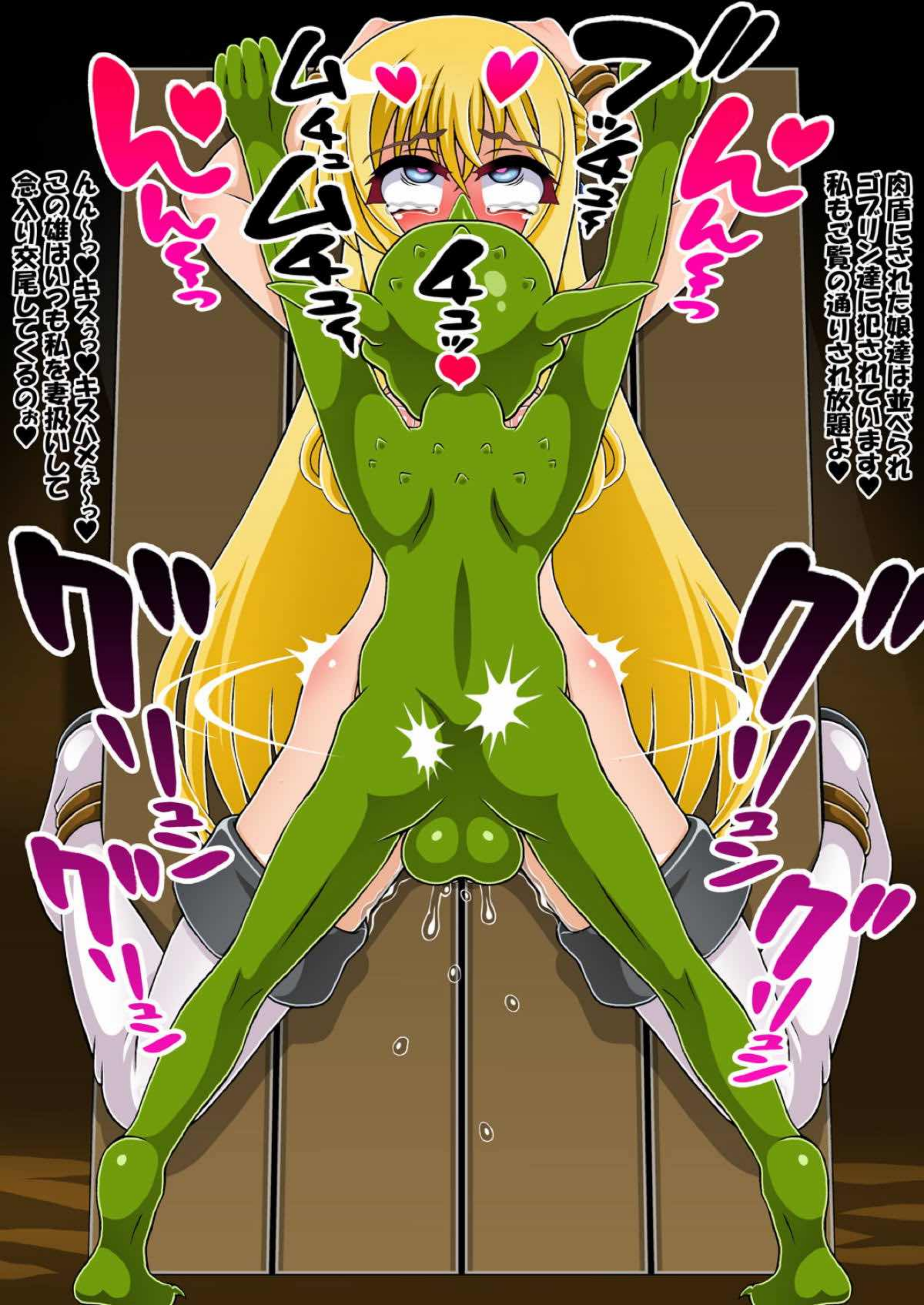
この巣に囚われてどれぐらいの時が経ったのでしょう
すでに二度の出産を経験した私ですが
いまだに心は壊れていませんでした…

これも神官だったせいでしょうか…時々祈っているおかげで
壊れないのかもしれません…
いえそれこそが罰なのかもしれません…

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥

ある日の事…何かゴブリン達の様子が変…
妙に興奮し殺気立っている感じがします
奥から他の虜囚の娘達の悲鳴が聞こえます
すると私も板に縛り付けられてしまいました
これは肉の盾…

どうやらこの群れは
只人達と戦を始めるらしいです…
それで興奮しているのでしょう…
縛られた娘達を犯し始めました…♥


ブッ
ムチュ
ムチュ
ムチュ
ムチュッ♥
んんぐっ
んんぐっ
肉盾にされた娘達は並べられ
ゴブリン達に犯されています♥
私もご覧の通りされ放題よ♥
んん〜っ♥キスぅっ♥キスハメぇ〜っ♥
この雄はいつも私を妻扱いして
念入り交尾してくるのぉ♥
グリュン
グリュン
グリュン
グリュン

ヅー!ッ♥
シッンシーッキスハメ種付けぇ〜っ♥
こっこれしちゃうっ♥
四度目の妊娠しちゃうぅぅ〜っ♥
ブッチュゥ♥
!!!♥
いっ今受精したのっ♥
妊娠したのぉーっ♥
プチュ
ドピュッ
ビュ!ッ
ビュ!ッ

んほぉぉ
キュン♥
キュン♥
ゴポ

ゴブリンに孕まされるとあっという間にお腹は大きくなりま
戦が始まりゴブリン達の群れはあっさりと全滅しました
肉の盾にされた私は冒険者達に救われ解放されたのです

そして…
膨らんだお腹の子は神殿で処分され
私は再び神官として神に仕える事になりました…

時々私は囚われていた元ゴブリンの巣だった洞窟を訪れ祈りを捧げています
ここで亡くなった娘達の為に…そして自分を戒める為です…
あの頃の事を思い出すと子袋が熱を帯び濡れてしまいます
ここで股を開きオナニーしたくなるのを堪え
強く祈りを捧げます…

ドキ
ドキ

キュン♥
キュン♥

もう決して再びゴブリンに囚われ孕み袋に
されたいなど愚かな妄想はしません
ここに来たらもしかしてまた…などと期待などしません
…？何かゴブリンの気配がする気もしますが気のせいでしょう…
さぁ祈りましょう…いと慈愛深き地母神よ…

終

女神官の懺悔コーナー

神よ…●●●●

いつも淫らでドスケベな事ばかり考え
悶々と過ごしている愚かな神官をお許しください♥
深夜神殿に忍び込み全裸で自慰に耽る私をお許しください
今もどこで股を開いてオナろうかとツワツワしてる私をお許しください♥
ちなみに下着は着けていません…ノーパンです♥

ドキ
ドキ
キュン♥
キュン♥

女神官の懺悔コーナー

神よ…

実は最近お尻の穴をいじるのも気持ちいい事を知ってしまい…交尾穴と同時に指を突っ込みいじり回しています…勿論神殿でするのが一番背徳感が凄く絶頂で気を失いかけました♥

女神官の懺悔コーナー

神よ…●●●

誰も見ていない森の奥とはいえ
若い娘が全裸で歩き回る事をお許しください…
乳房や性器を丸出しにしてる事が楽しくて仕方ないのです
外での全裸は部屋や神殿より開放感があり…そして
男性に出会ったら即レイプというドキドキ感もたまりません♥

女神官の懺悔コーナー

神よ…

プル

あっ♥

プル

あっ♥

森の奥での開放感オナニーに興奮しすぎ
オマンコをいじくり過ぎてヒリヒリさせる私をお許しください
右指で陰核を引っ張り回しひねりな上げがら擦り♥
左指を二本種付け穴に入れてかき回し♥
ビクビクと激しく二度も絶頂してしまいました♥

ヒク

ヒク

女神官の懺悔コーナー
神よ…
ゴブリンと交尾する事をお許しください…
ドクン
ドクン
キュン
キュン
ギュン
ギュン

女神官の懺悔コーナー

神よ…

ゴブリンと交尾する事をお許しください…

ドクン

ドクン

キュン♥

キュン♥

女神官の懺悔コーナー

神よ…

ゴブリンと交尾する事をお許しください…

ドクン

ドクン

キュン♥

キュン♥

ギッ…

ギッ…

女神官の懺悔コーナー
神よ…
ゴブリンに種付けされる事をお許しください…♥
おぉぉ〜っ♥
ドクン
ドクン
ビュルル

女神官の懺悔コーナー

神よ…●●●

ゴブリンに種付けされた事に女の悦びを感じる淫らな神官をお許しください…♥

キュン♥ キュン♥

女神官の懺悔コーナー

神よ…

ゴブリンに股を開く淫らな女神官をお許しください♥

ハア

ハア

フー

フー

女神官の懺悔コーナー

神よ…

ゴブリンに囚われ生涯孕み袋にされる
哀れな私にどうか御慈悲を…

ﾌﾞﾙﾙ

ﾌﾞﾙﾙ

ﾌﾞﾙﾙ

ﾌﾞﾙﾙ

あ〜っ
あ〜っ
御慈悲を〜っ
御慈悲をっ
ギ〜ッ
ギ〜ッ

女神官の懺悔コーナー

神よ……

ゴブリンの子を孕んだ私を……お許しください……

ポコ

ポコ

女神官の懺悔コーナー

神よ。○○○

ゴブリン子を孕み出産する私をお許しください♡

ギュッ

ポコ ポコ

女神官の懺悔コーナー

神よ。。。

神殿で卵巣を弄ぶ神官をお許しください♥

んっ

んっ

ヌッ

ヌッ

女神官の懺悔コーナー

神よ・・・

ぎおぉぐっ♥

自慰を見つかり種付けレイプされた上に
卵巣を引っ張られ悶え狂う私をお許しくださいっ♥

ギュッ

ギュッ

ゴポ

女神官の懺悔コーナー

神よ。○○○

レイプ…されました…お許し…ください…

プル

プル

キュン♥

キュン♥

プル

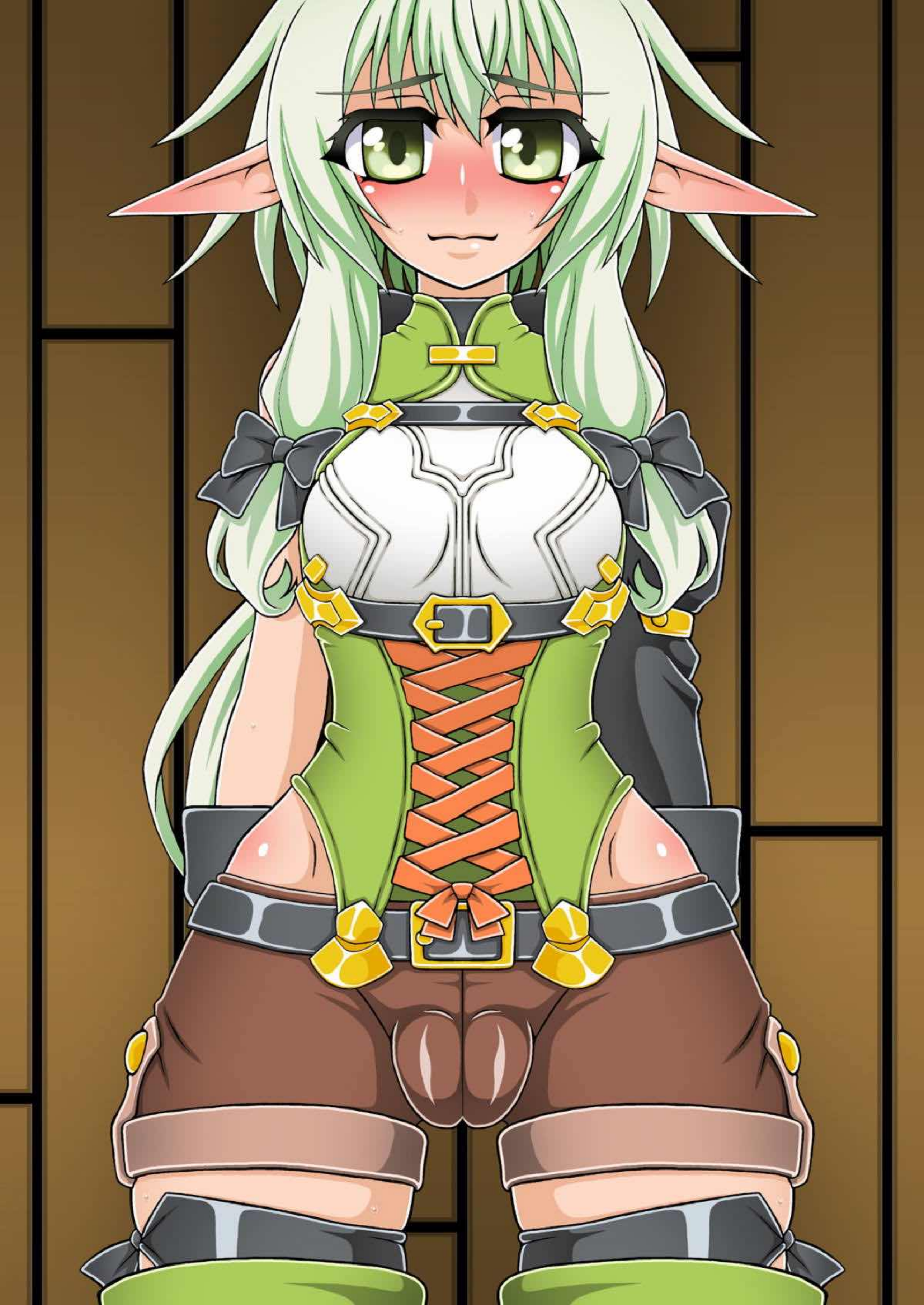
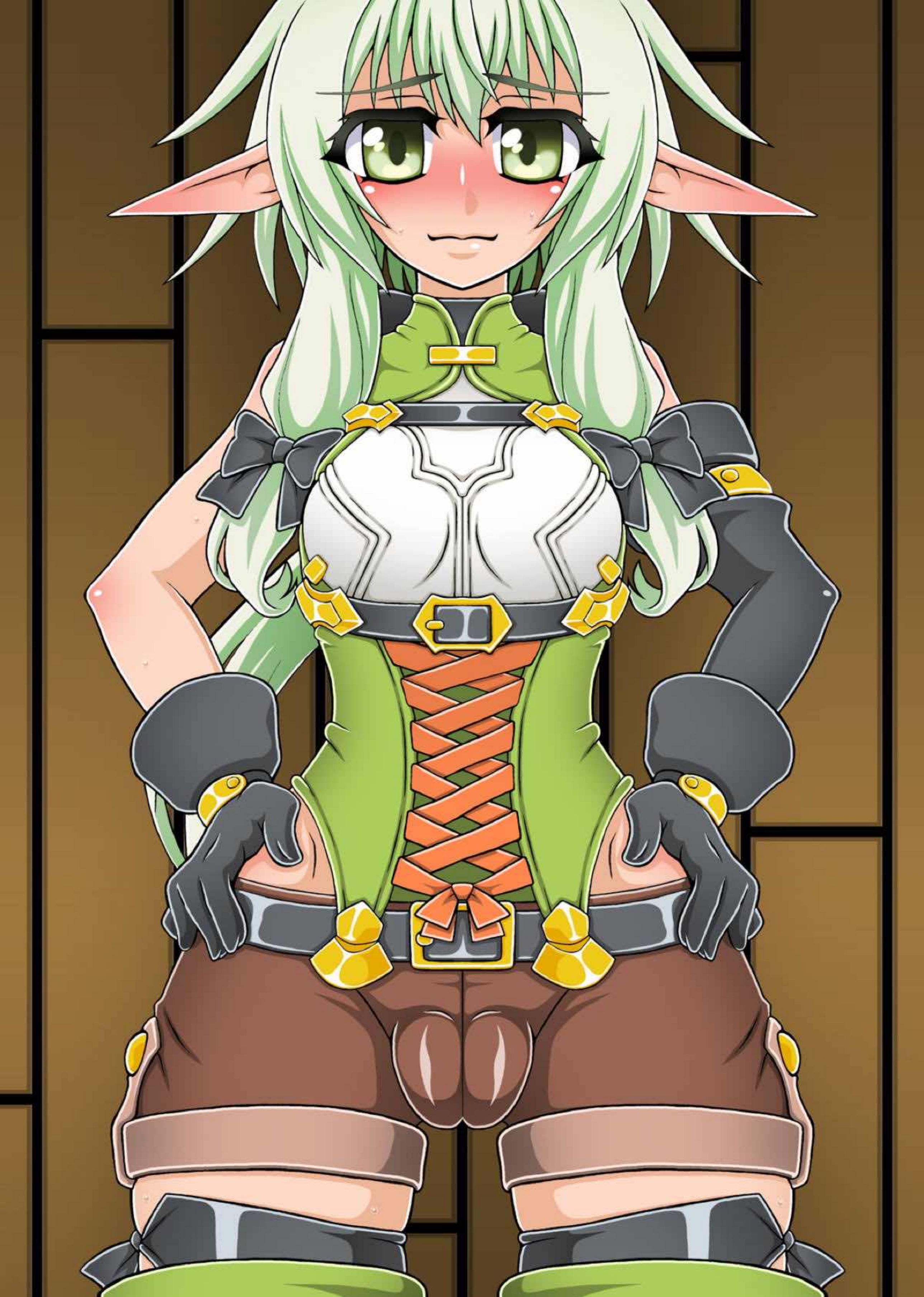
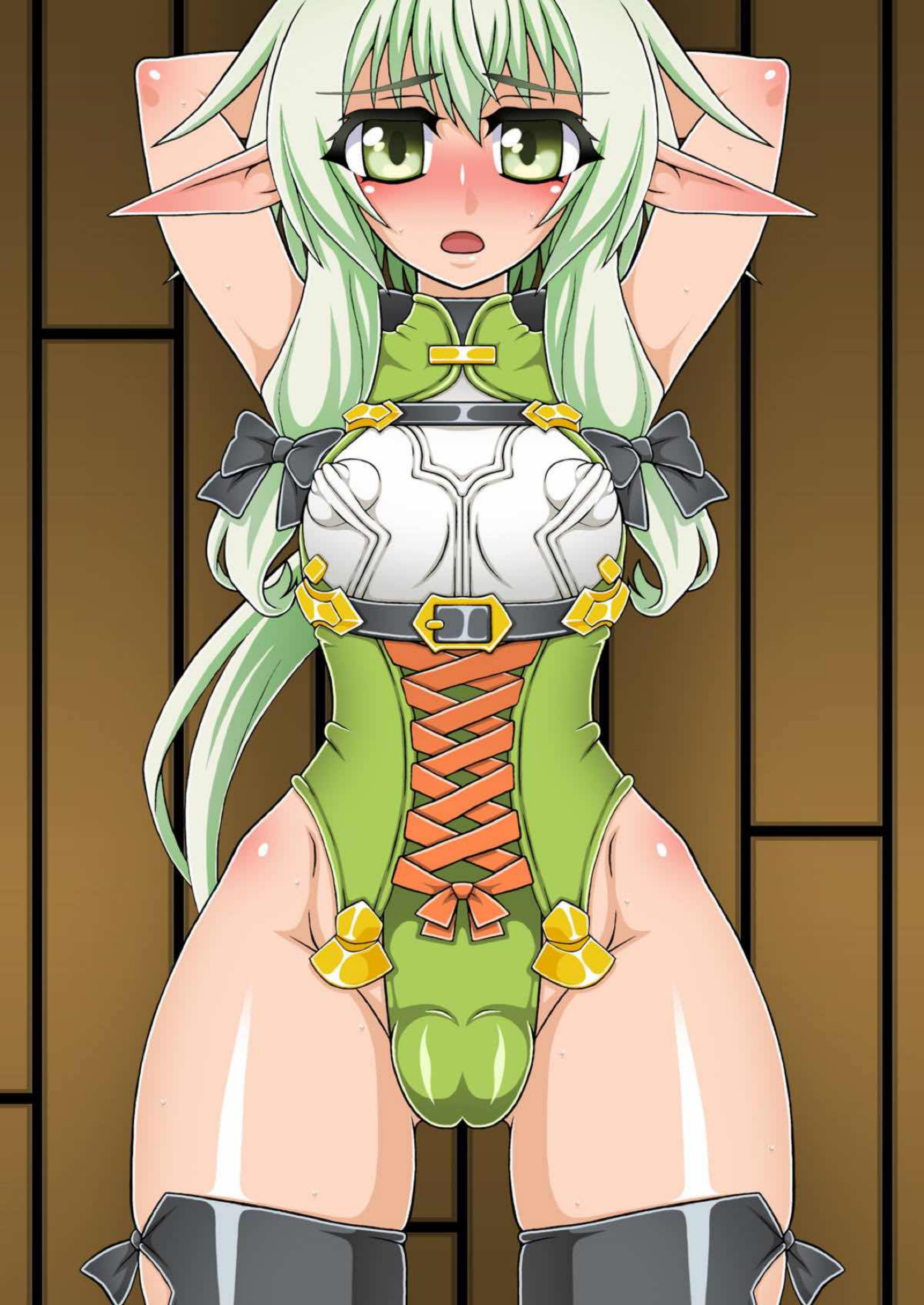
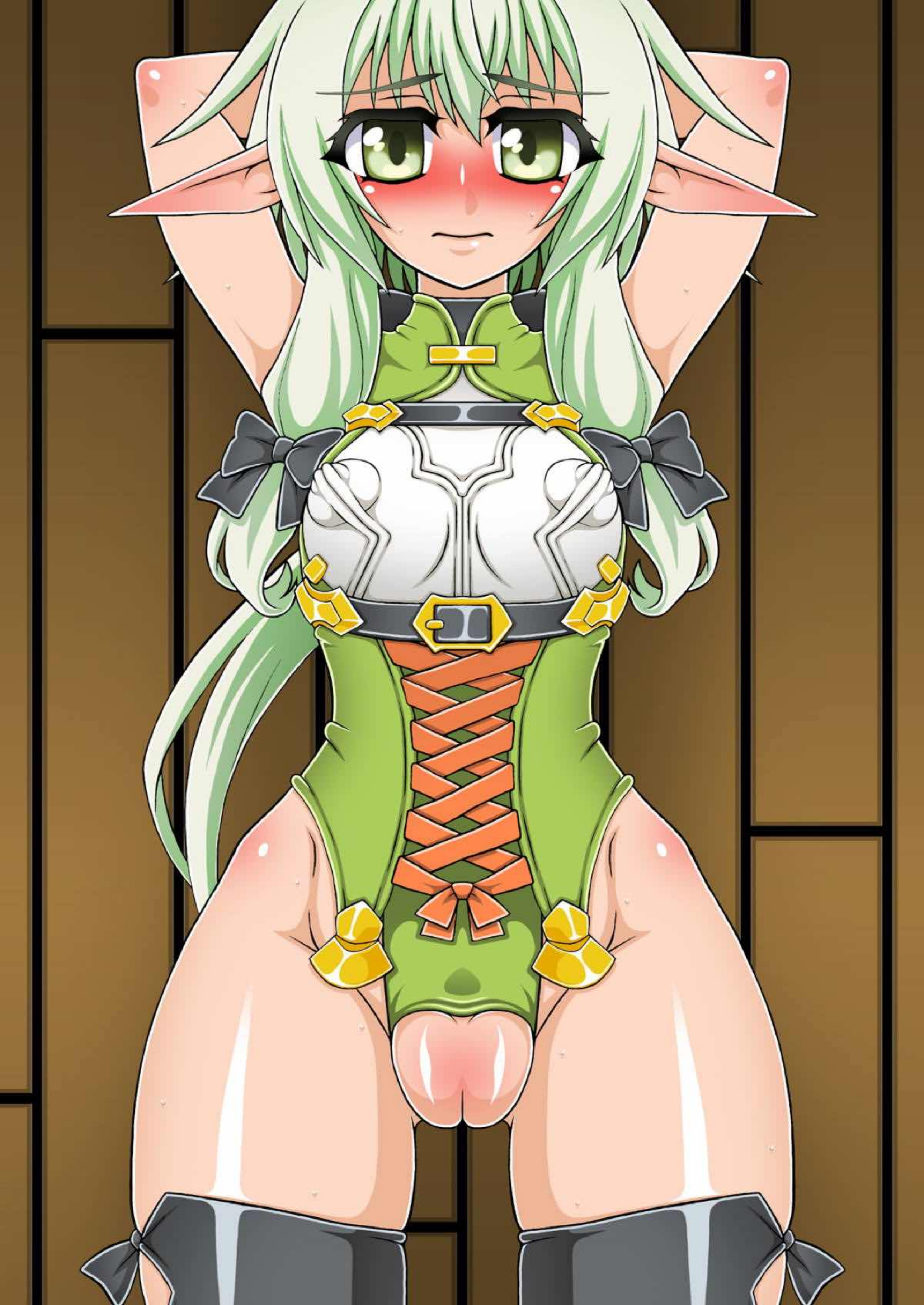
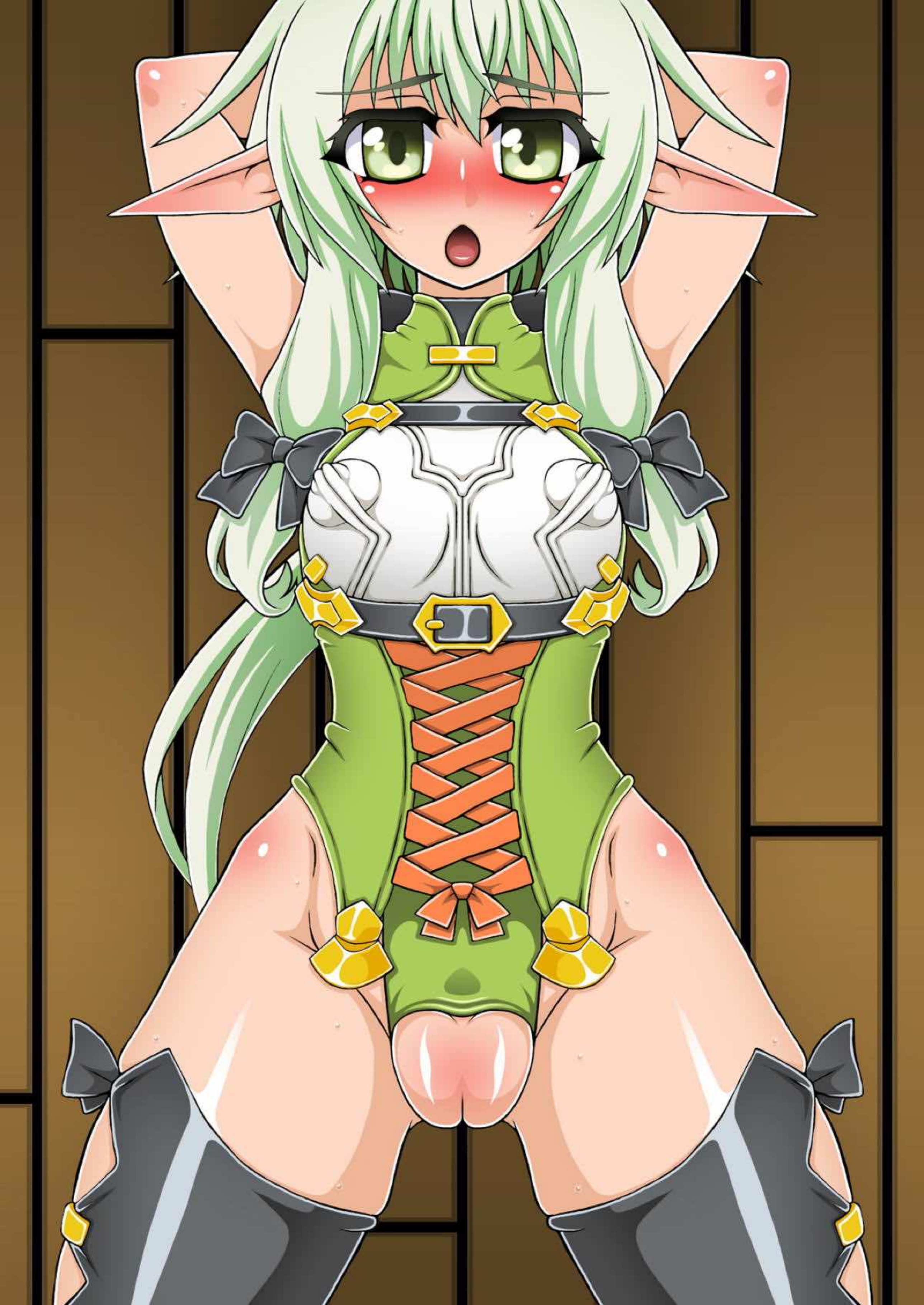
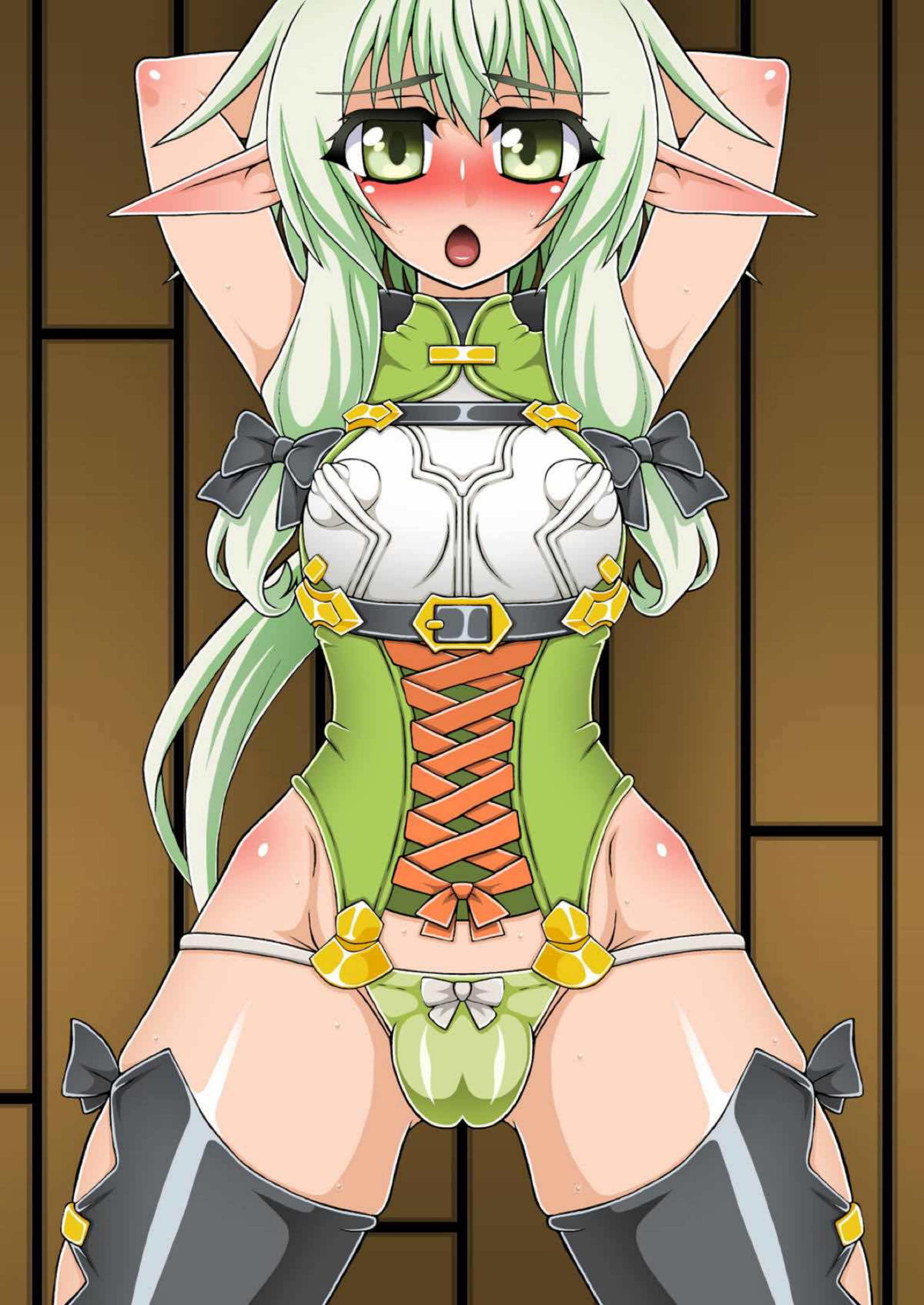
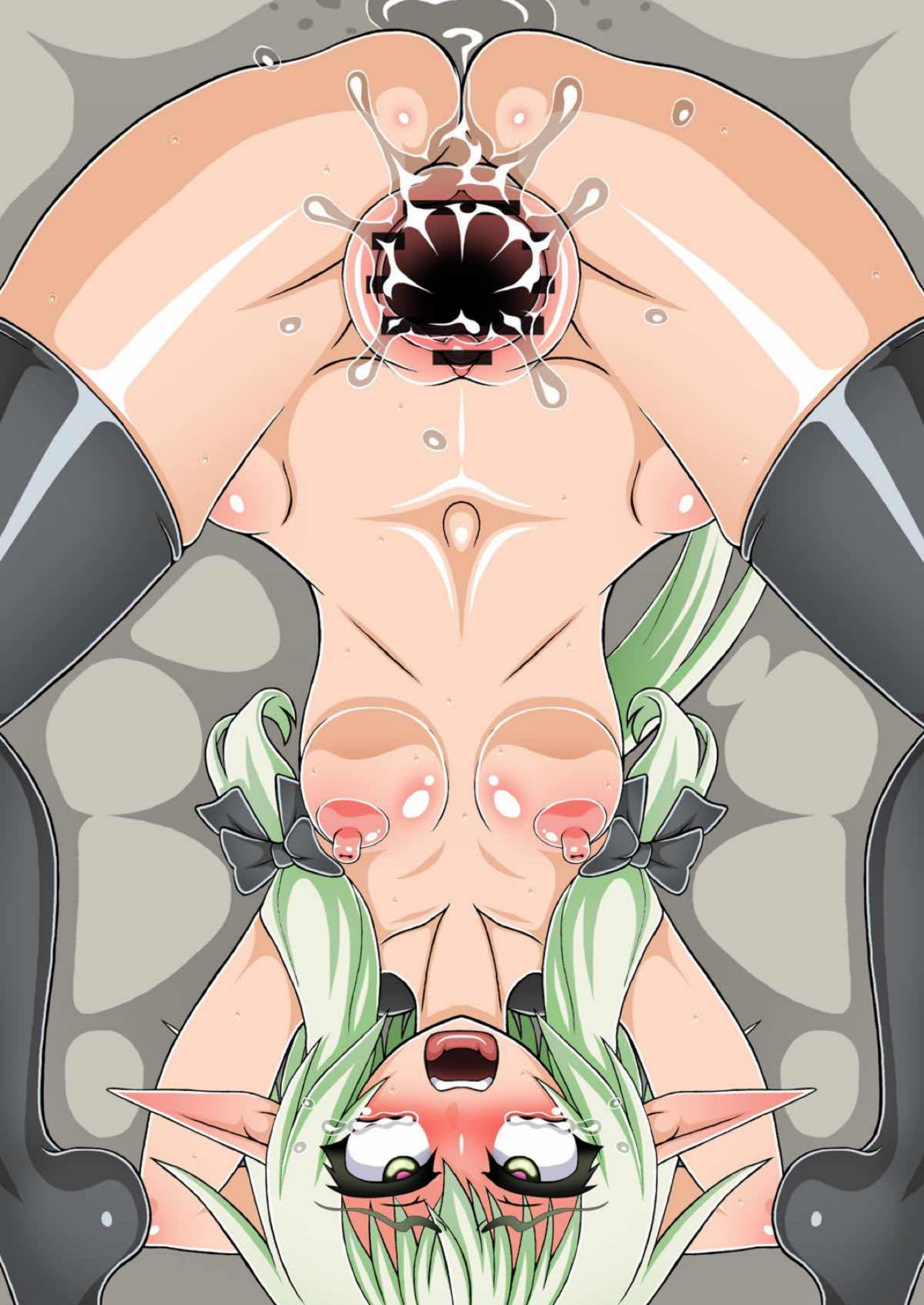
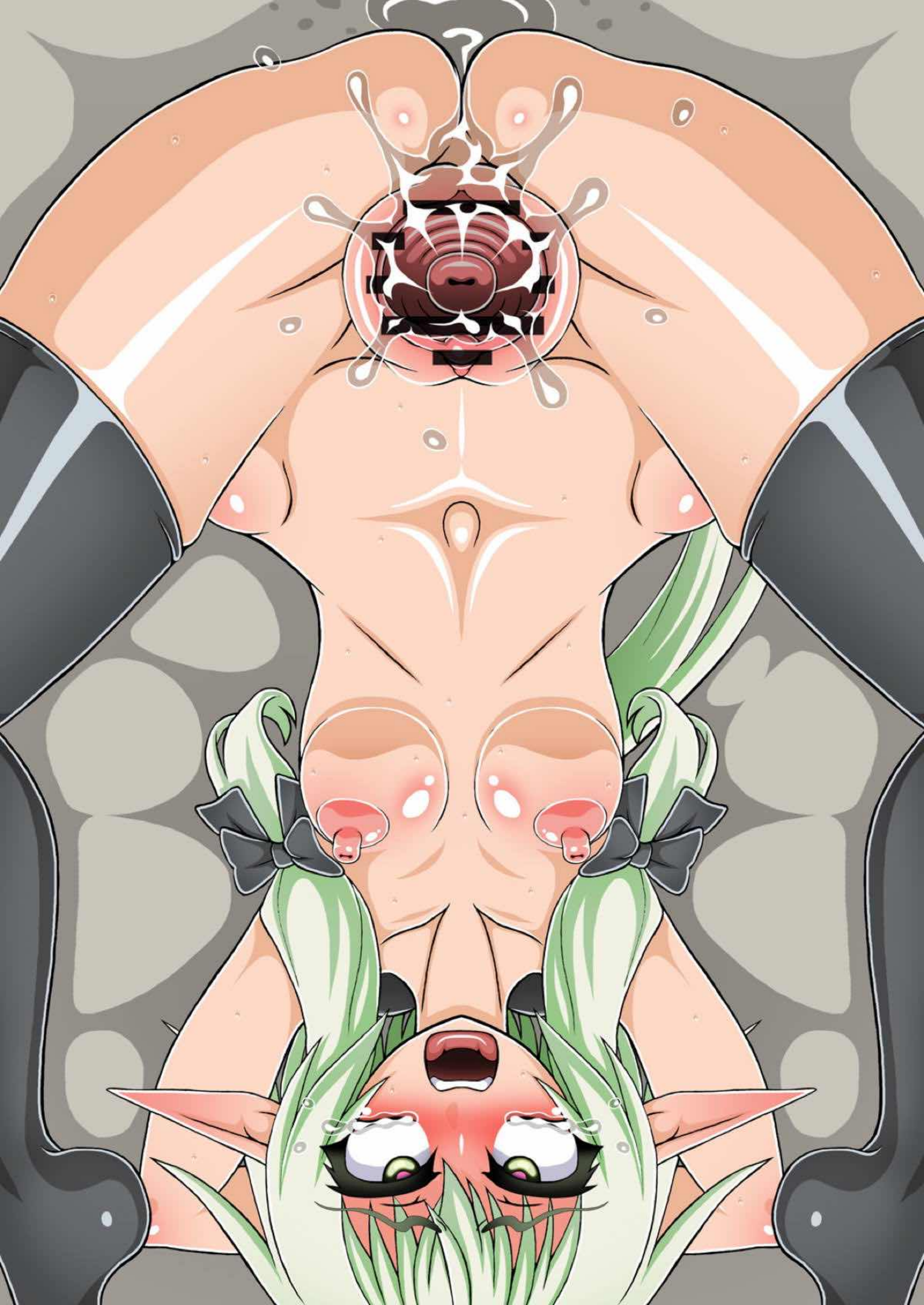
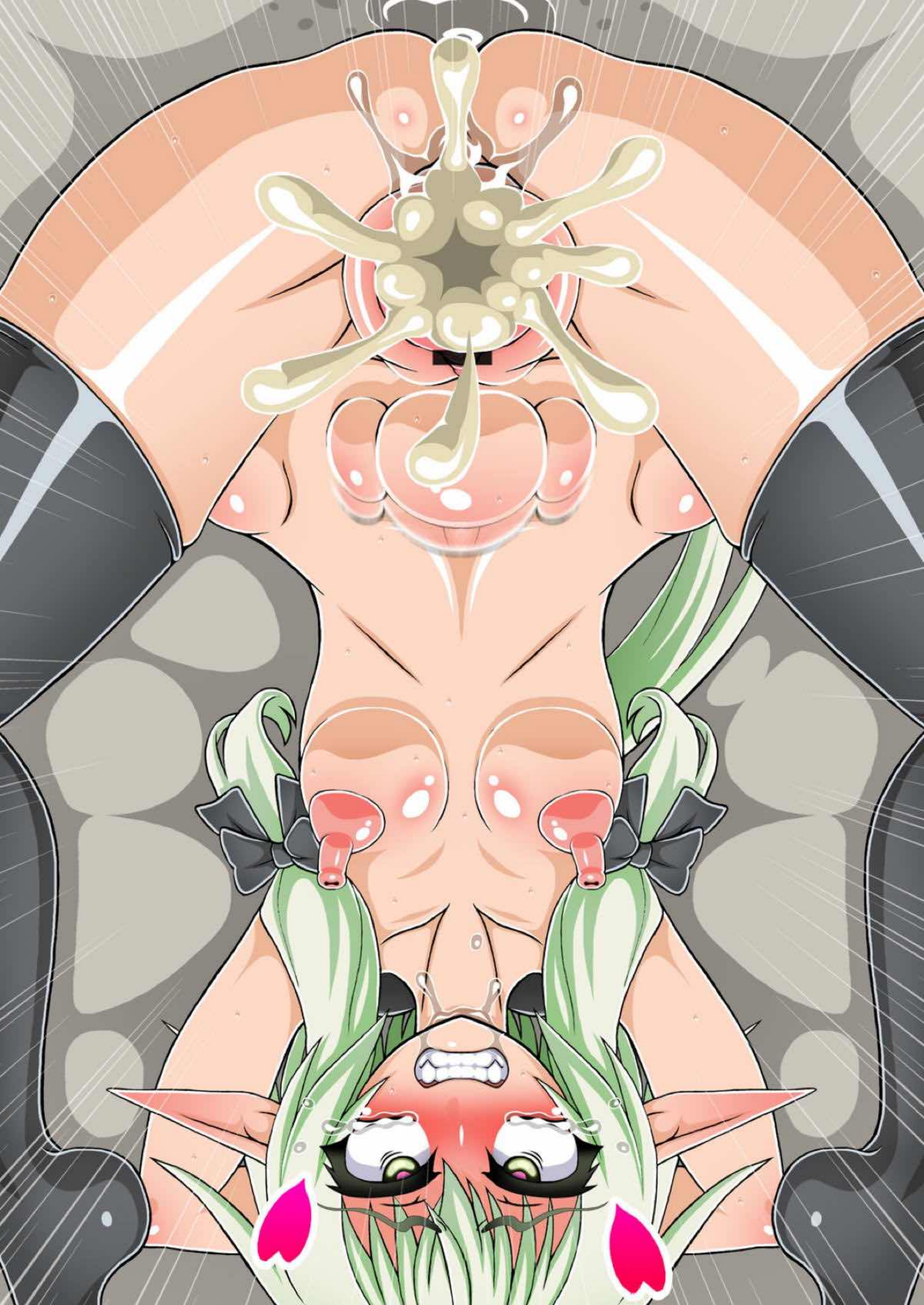
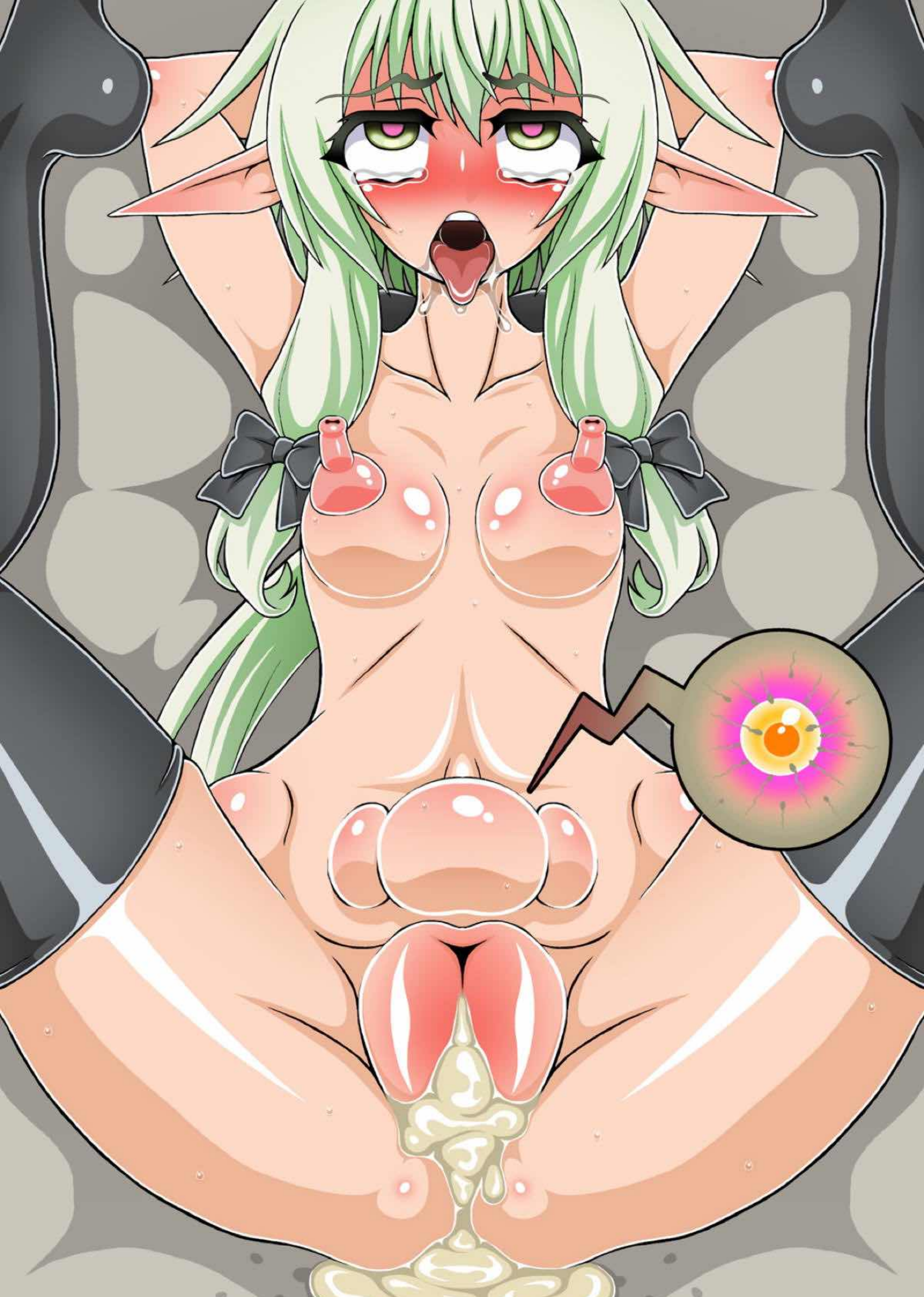
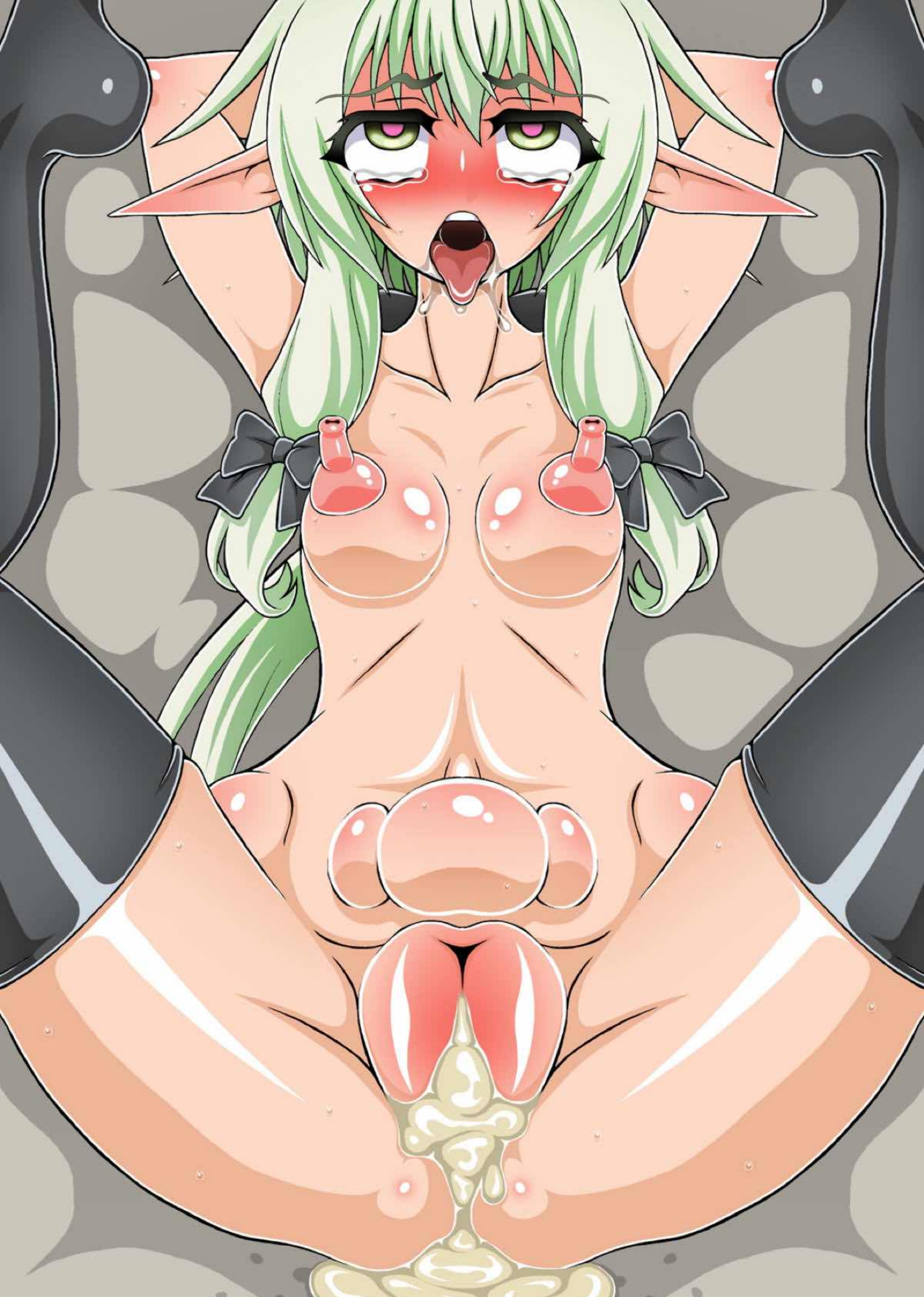
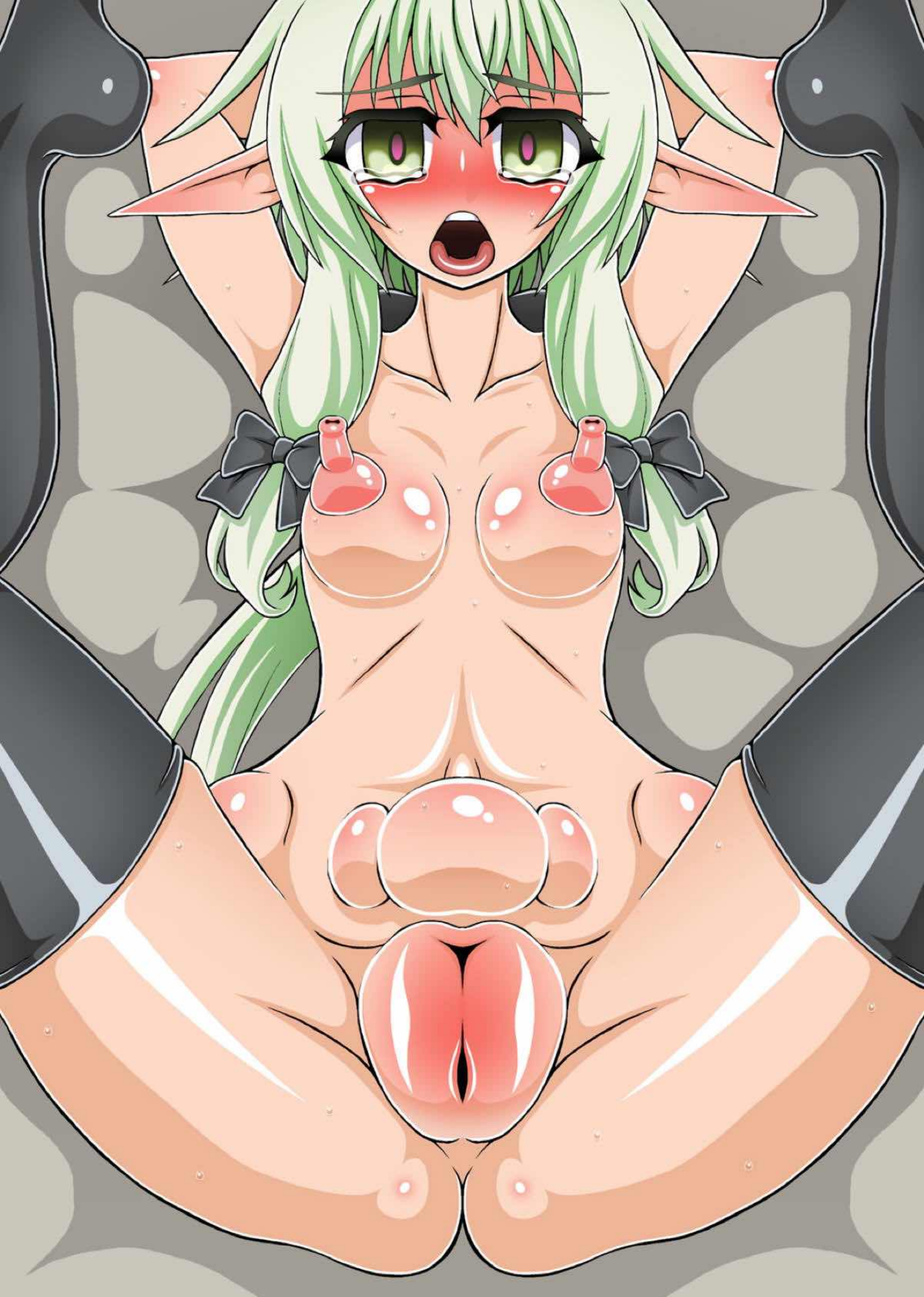
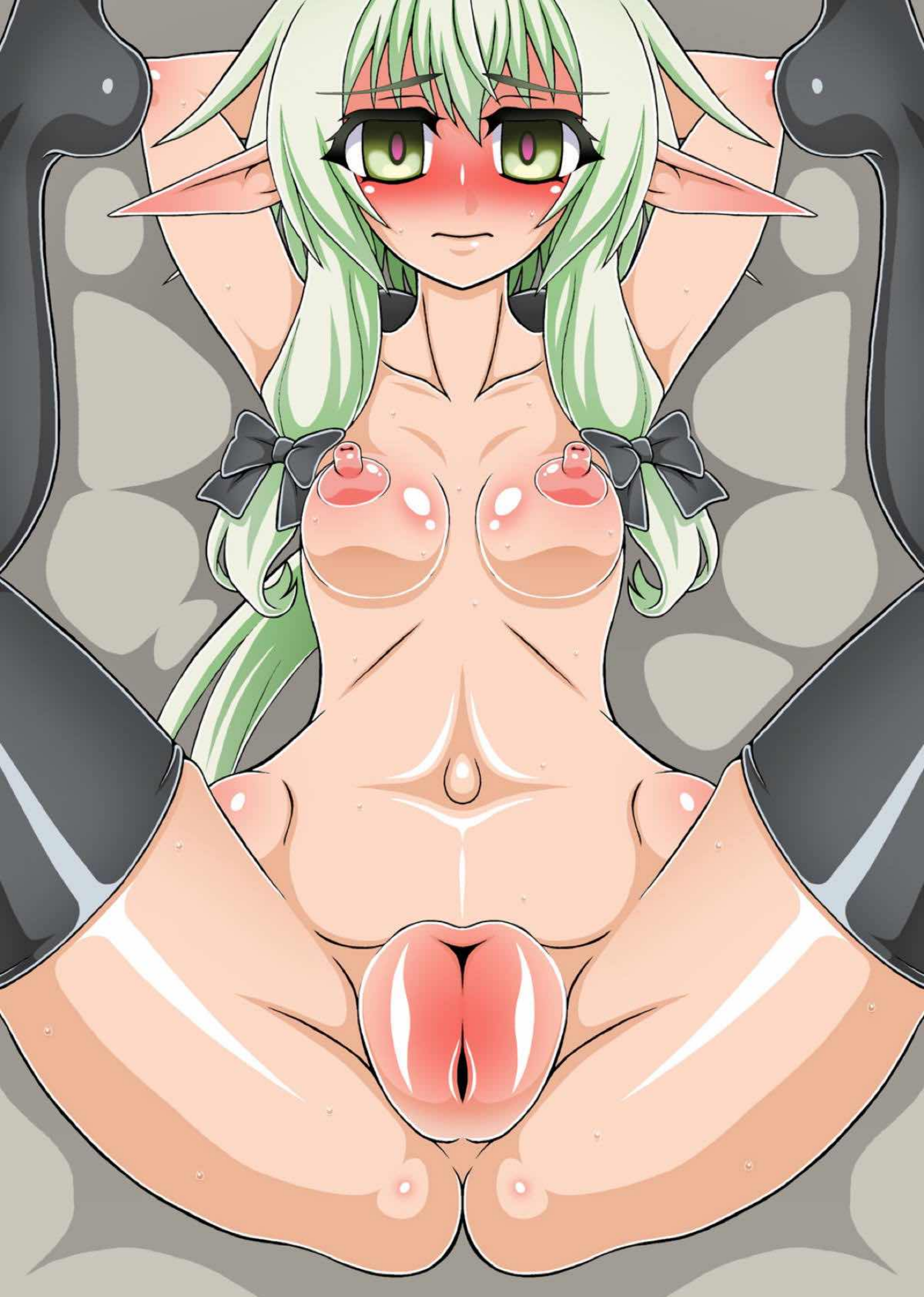
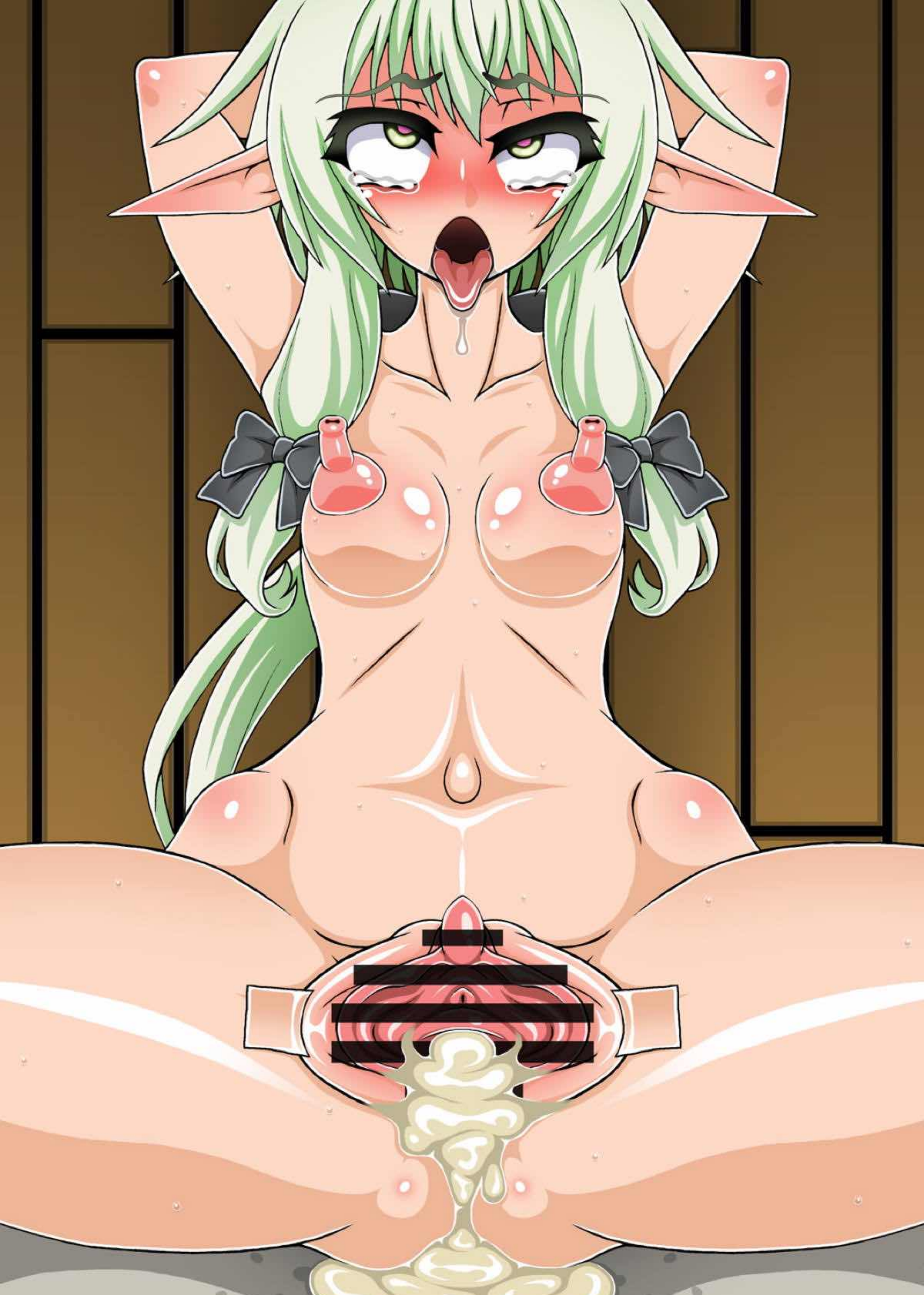
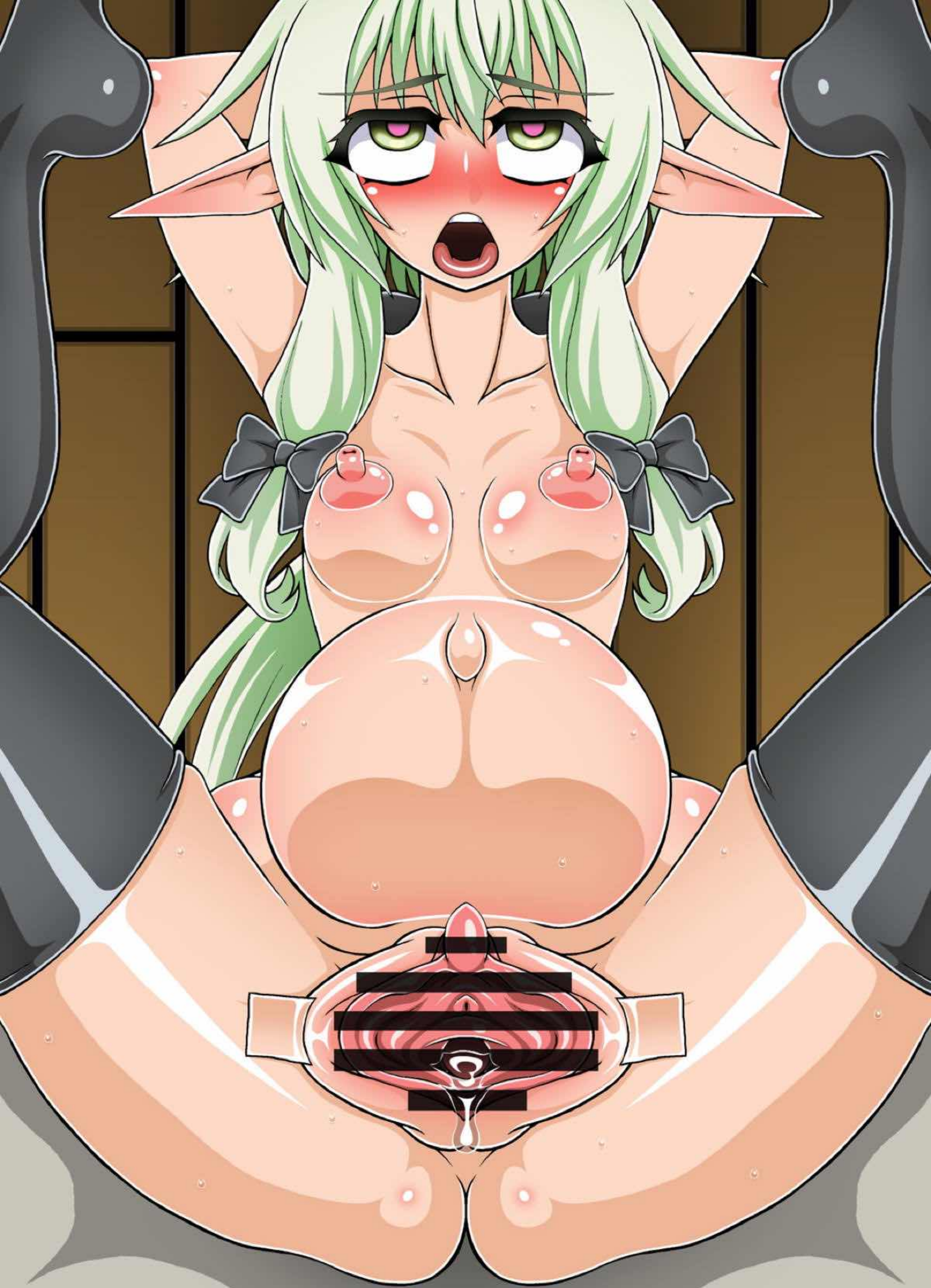
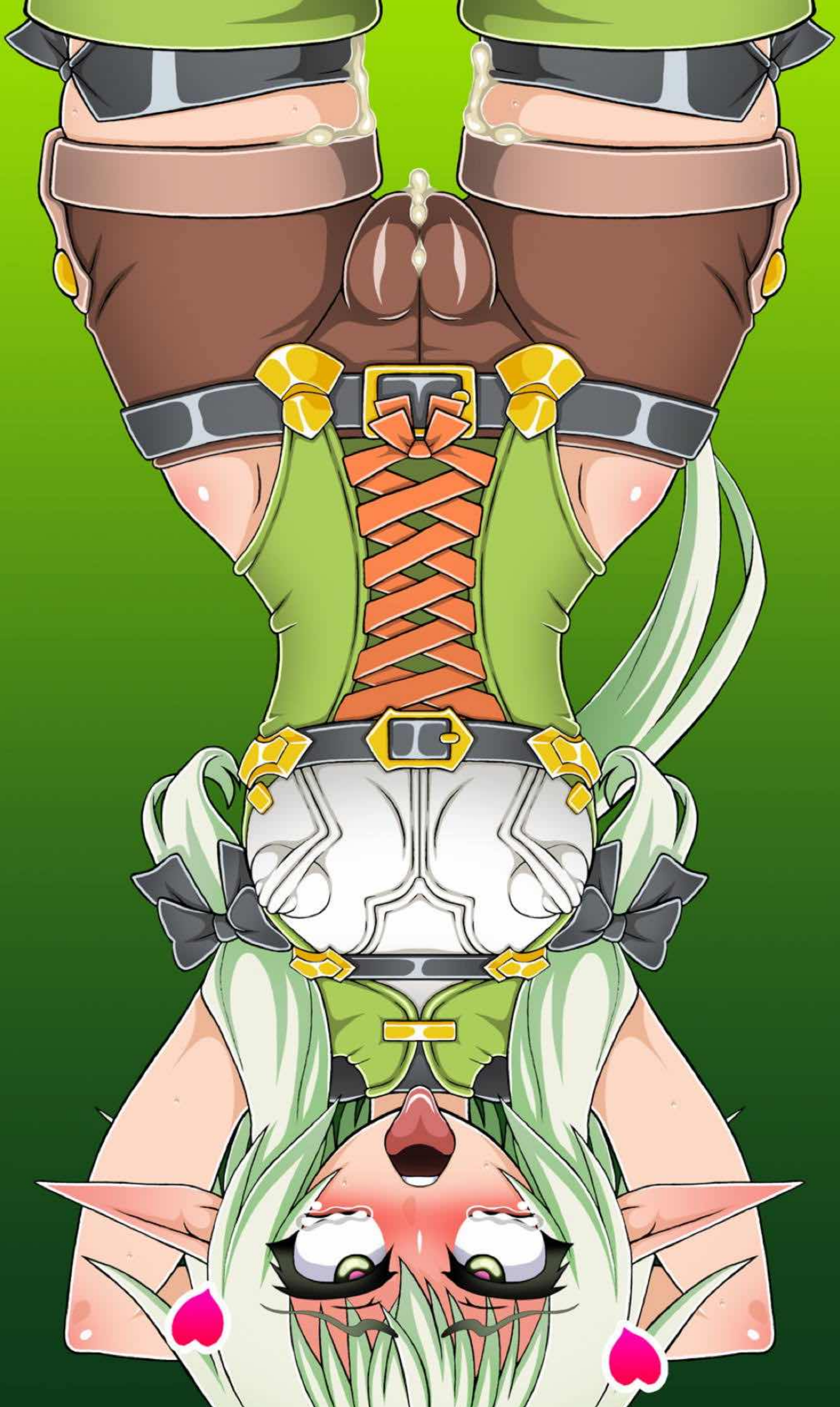
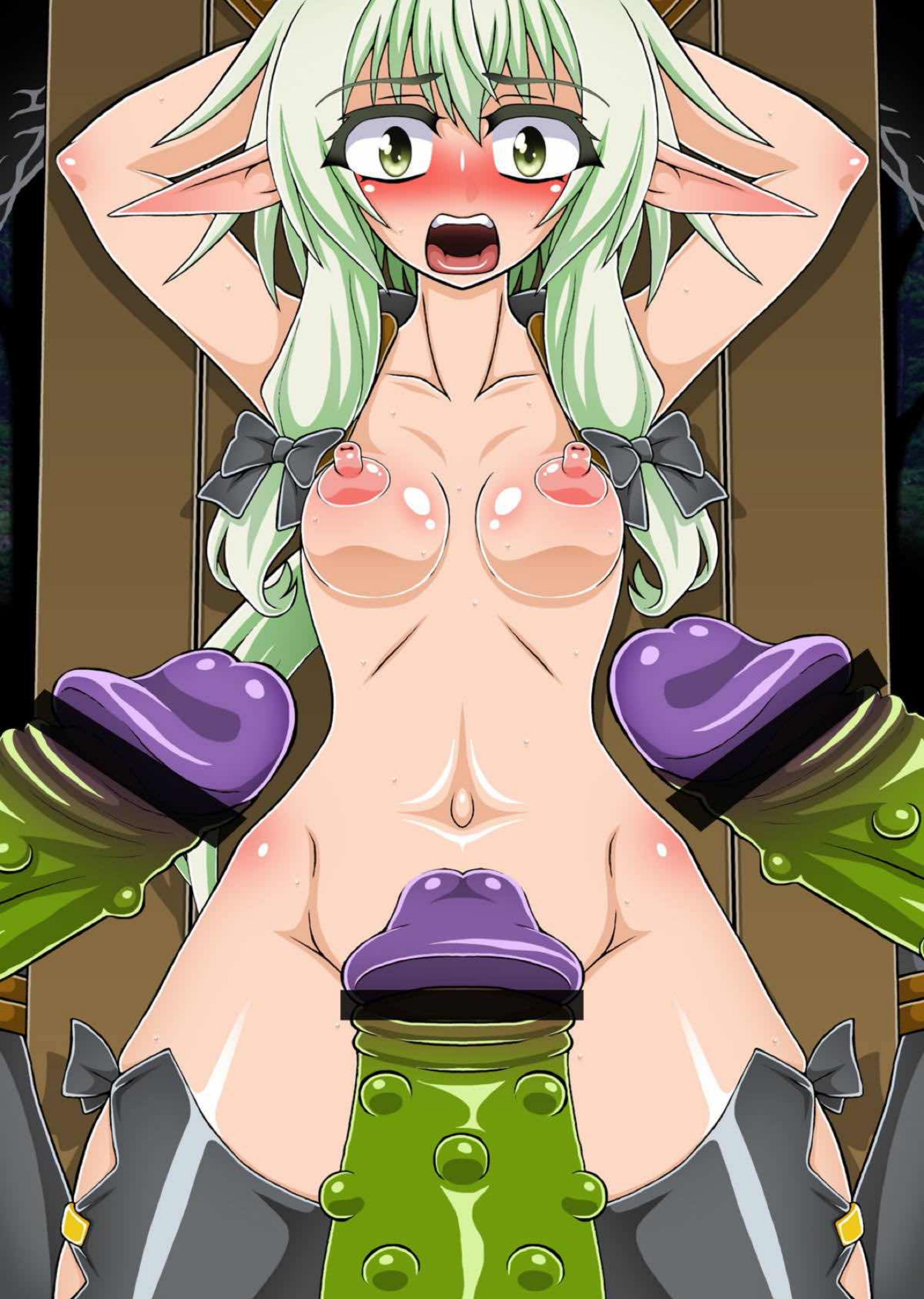
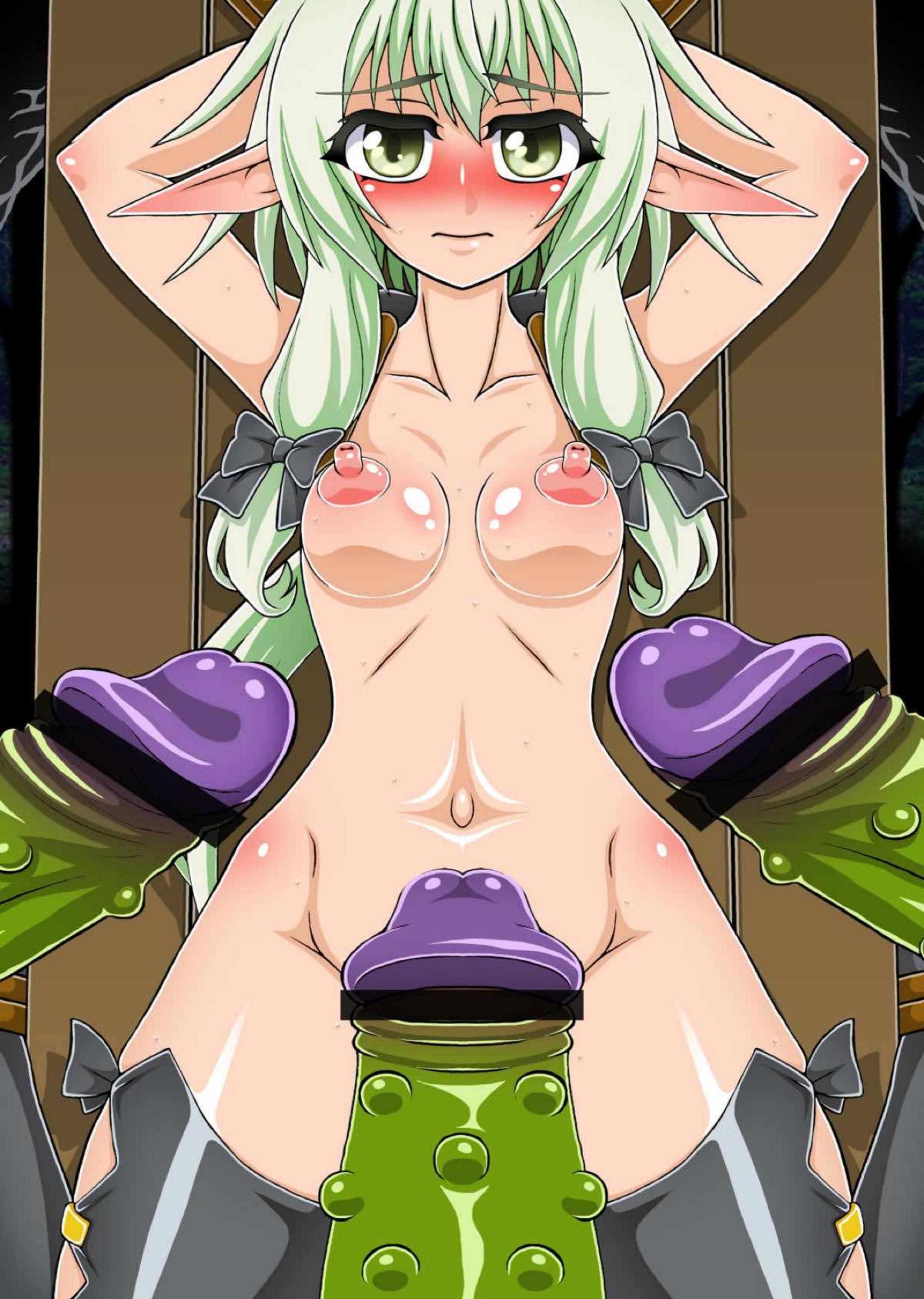
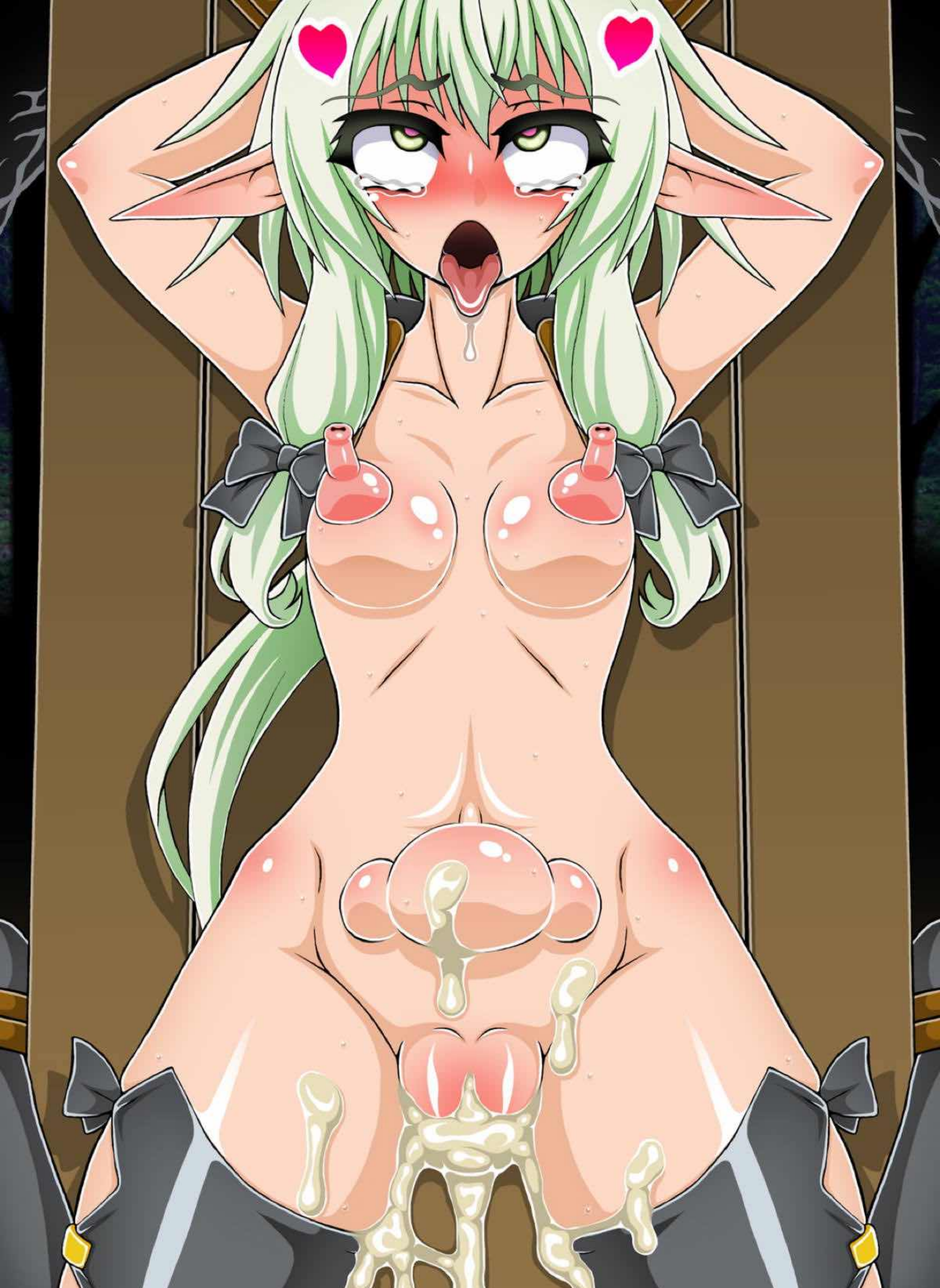
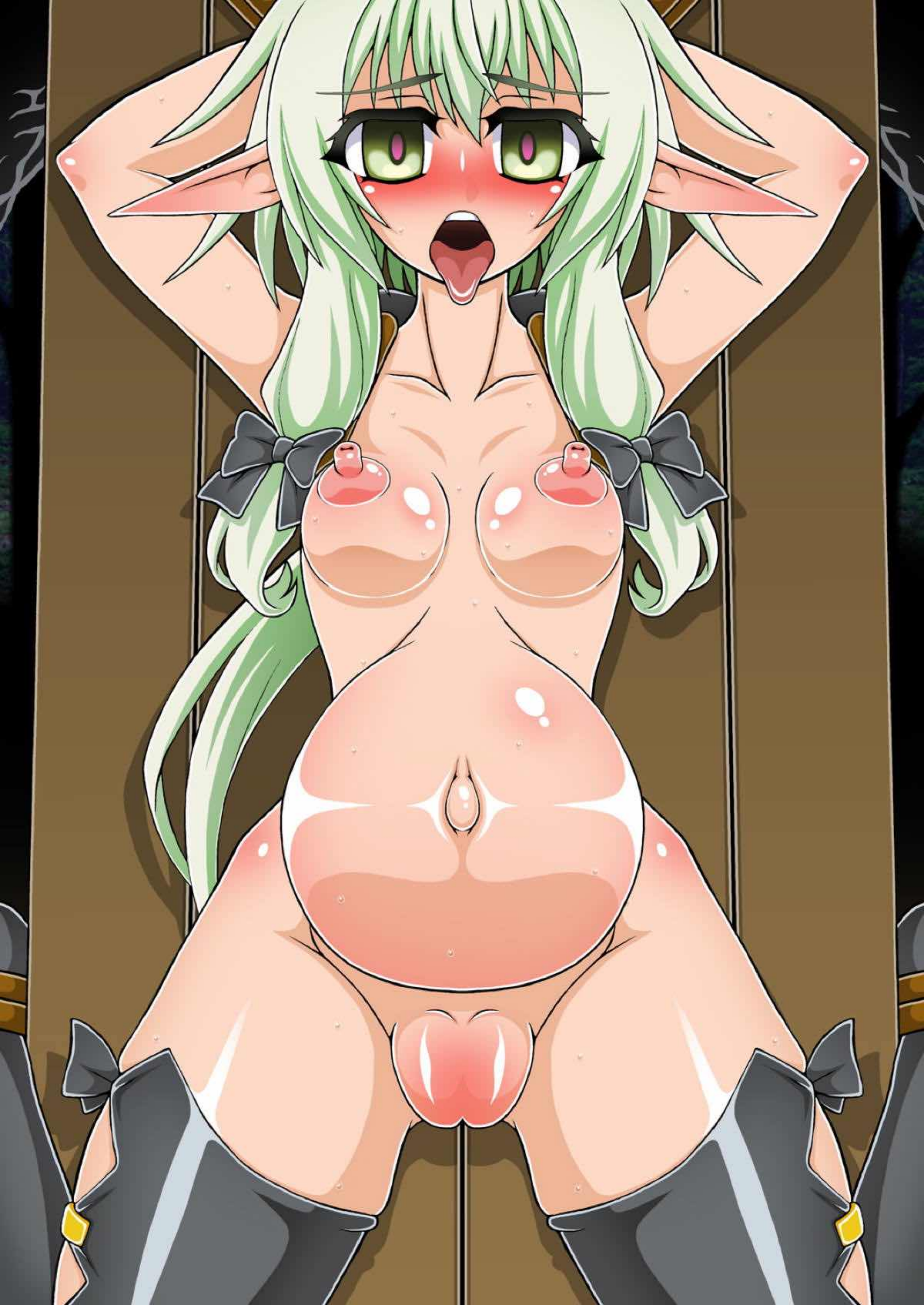
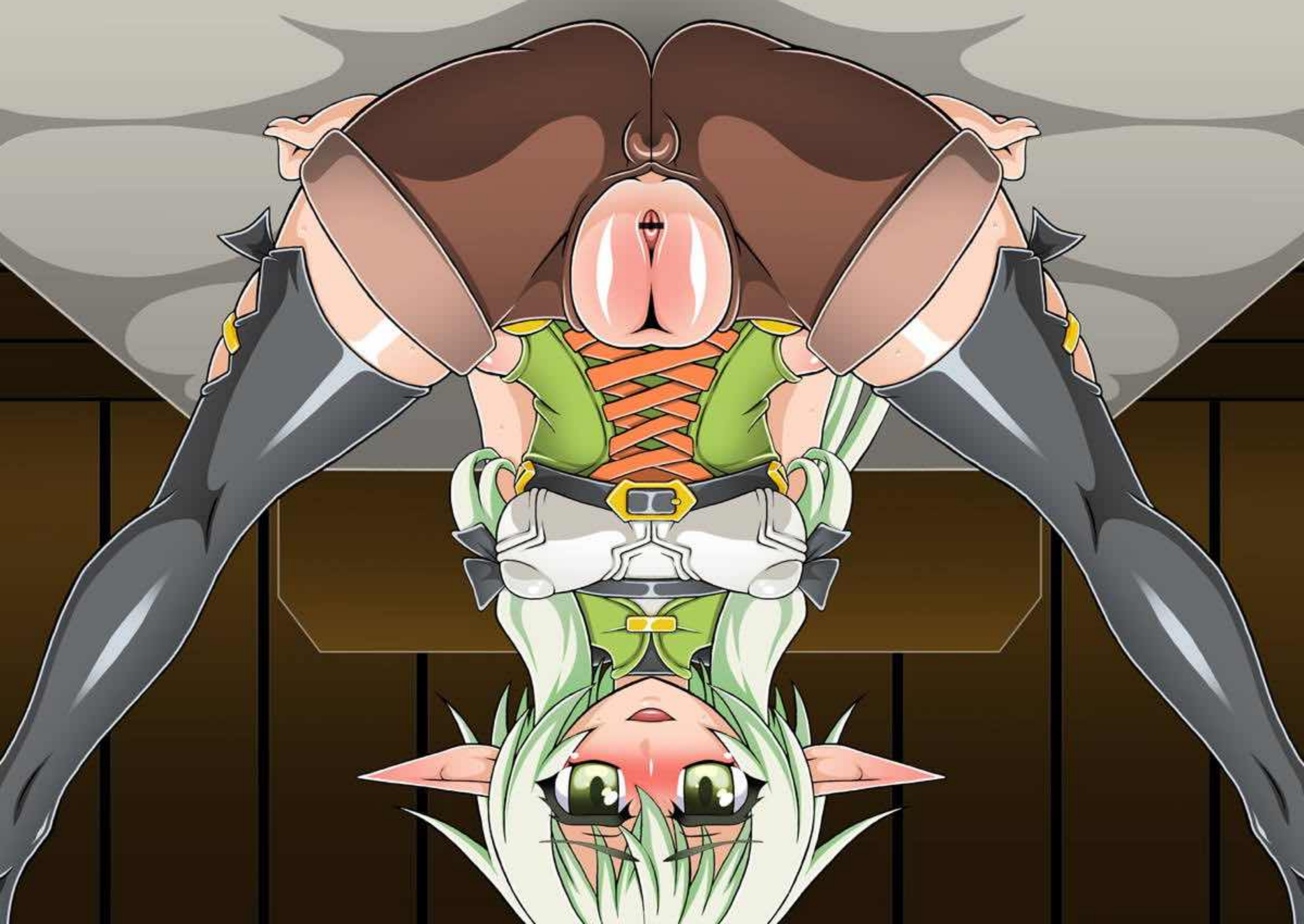
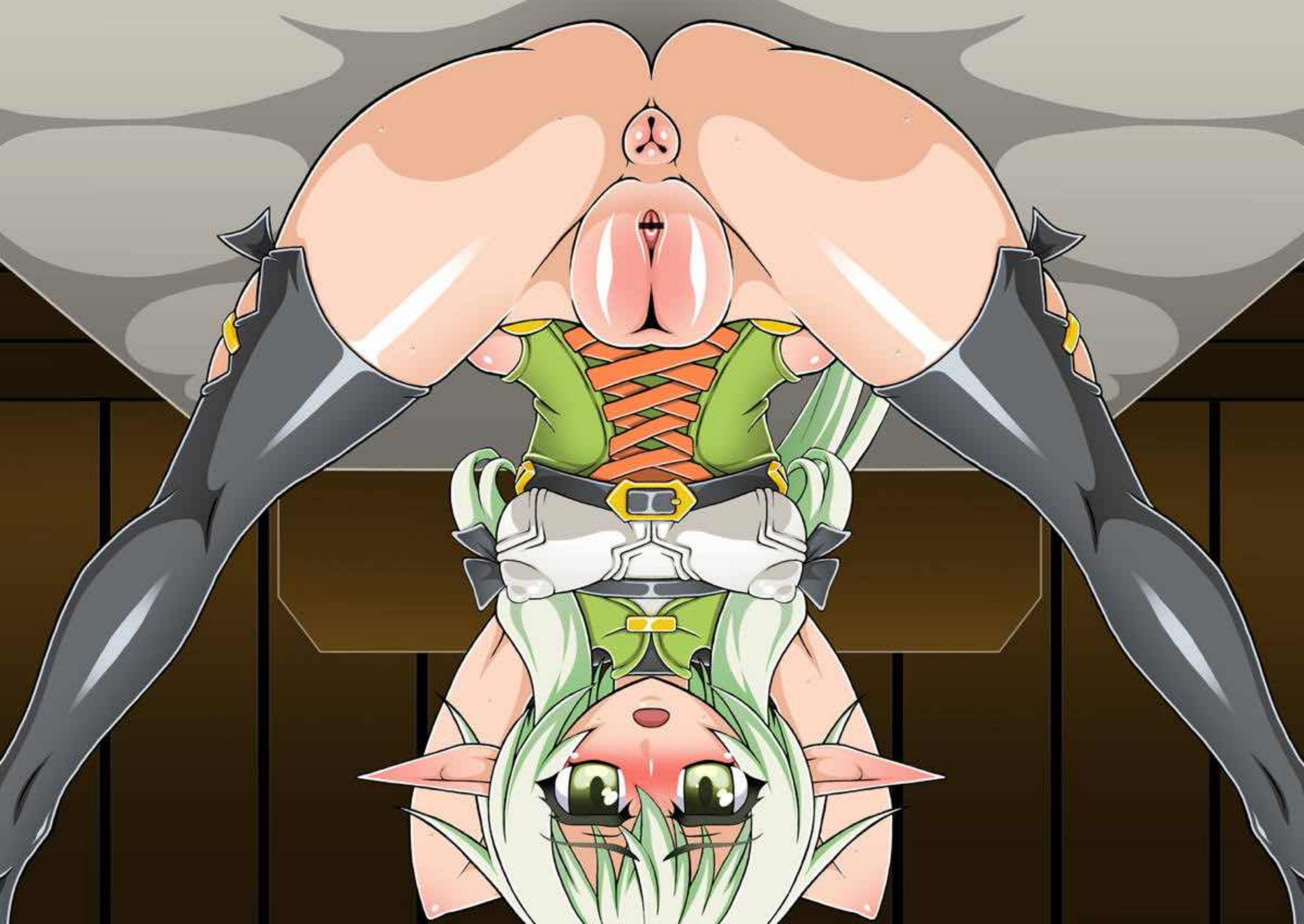
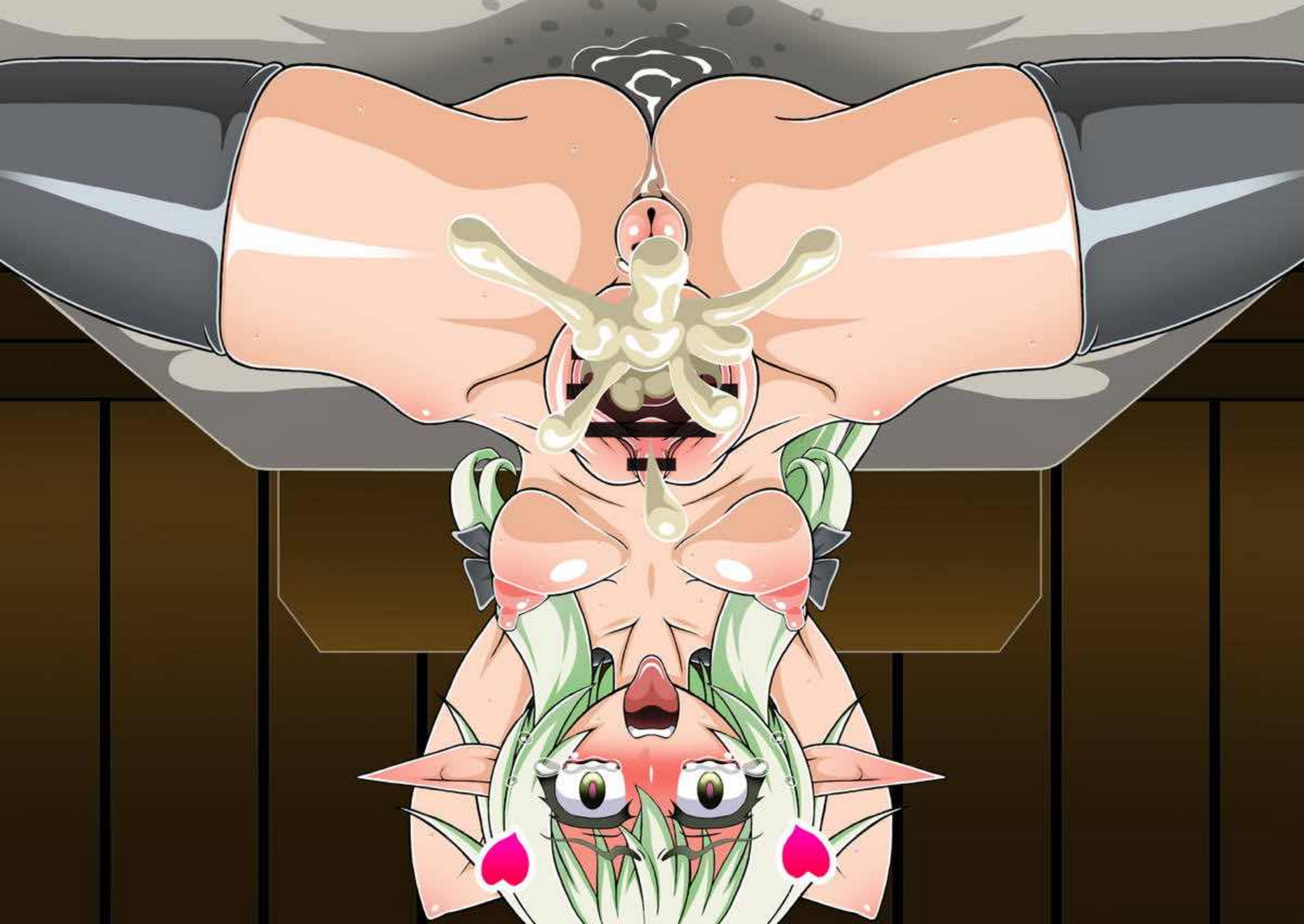
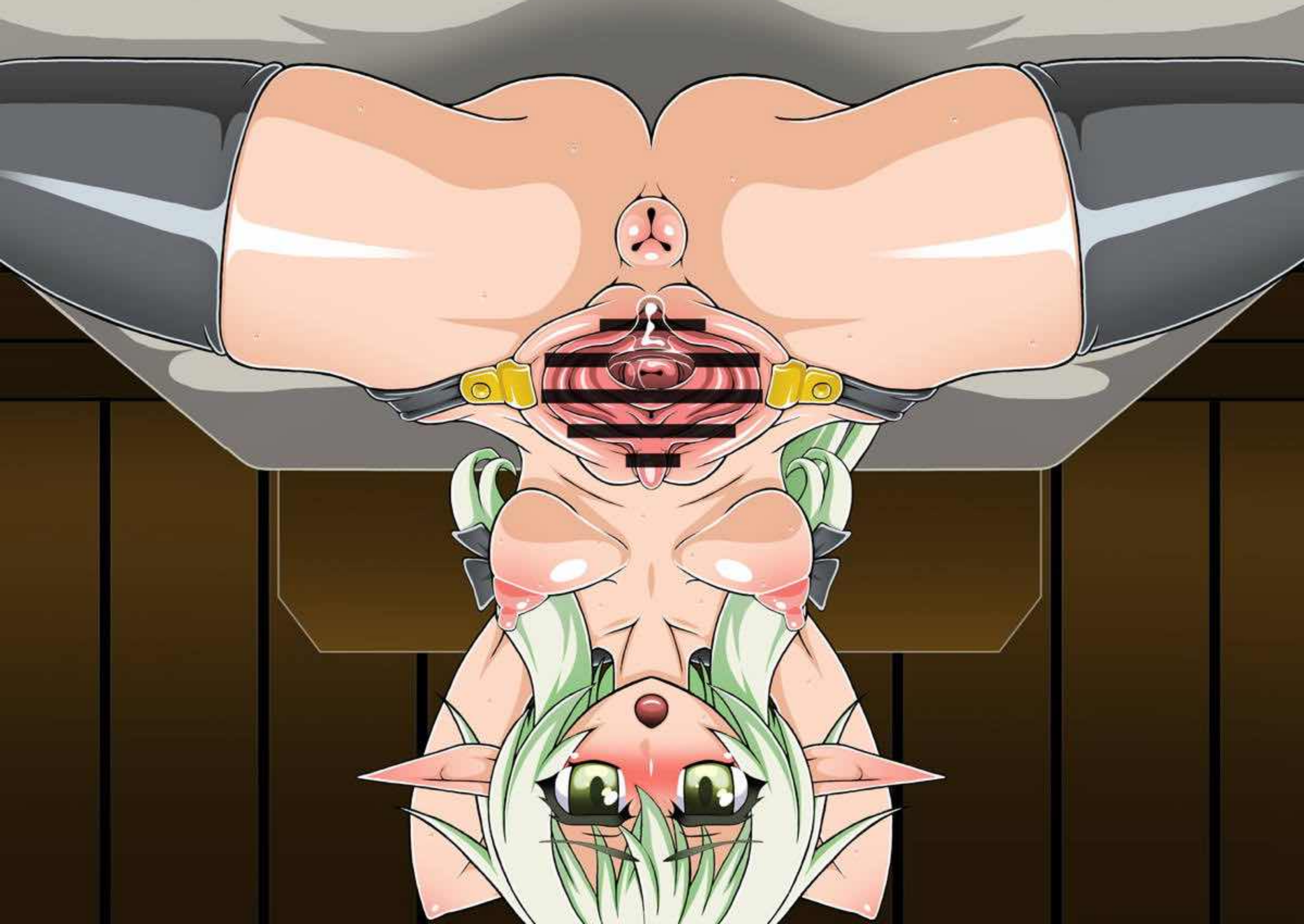
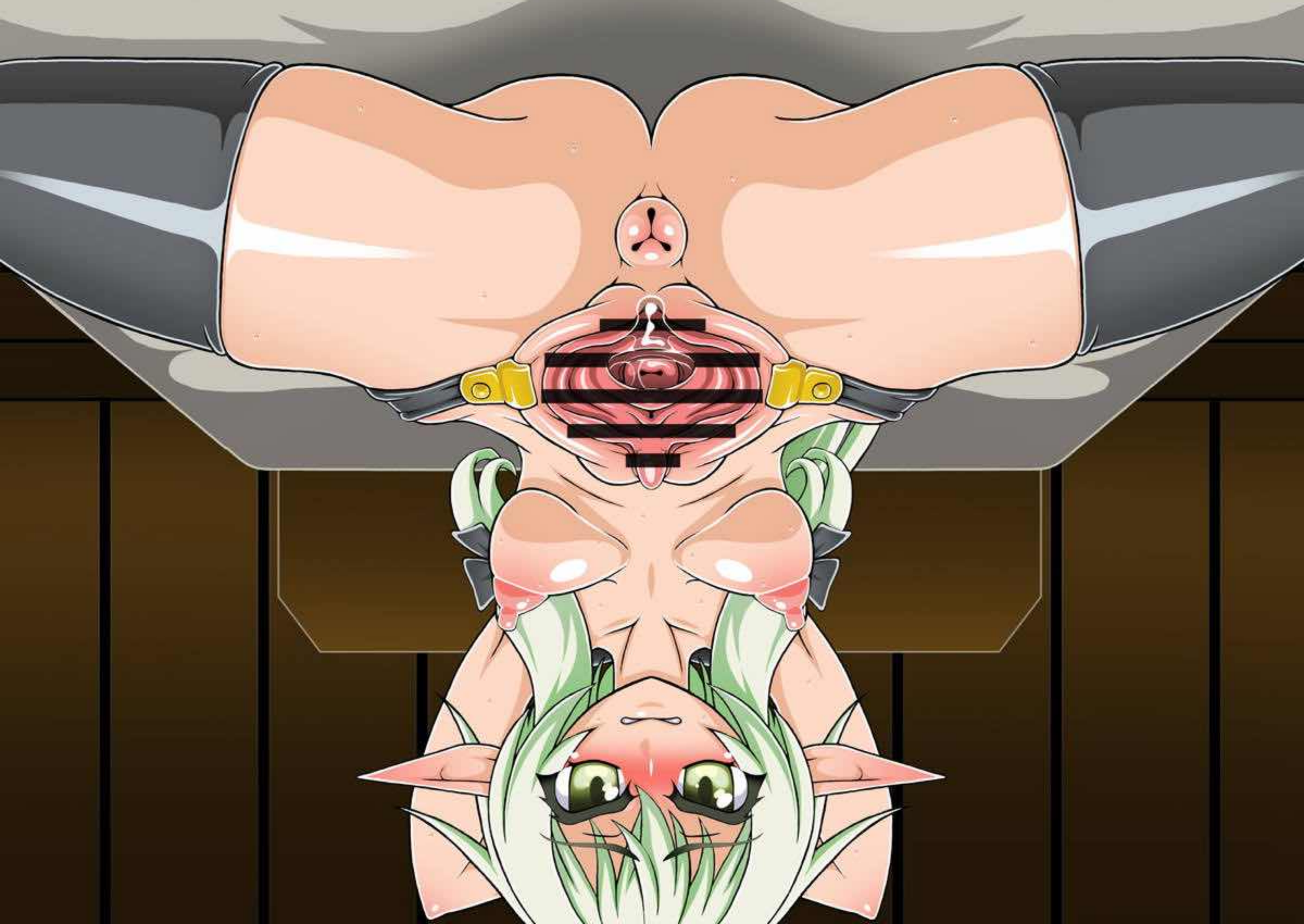
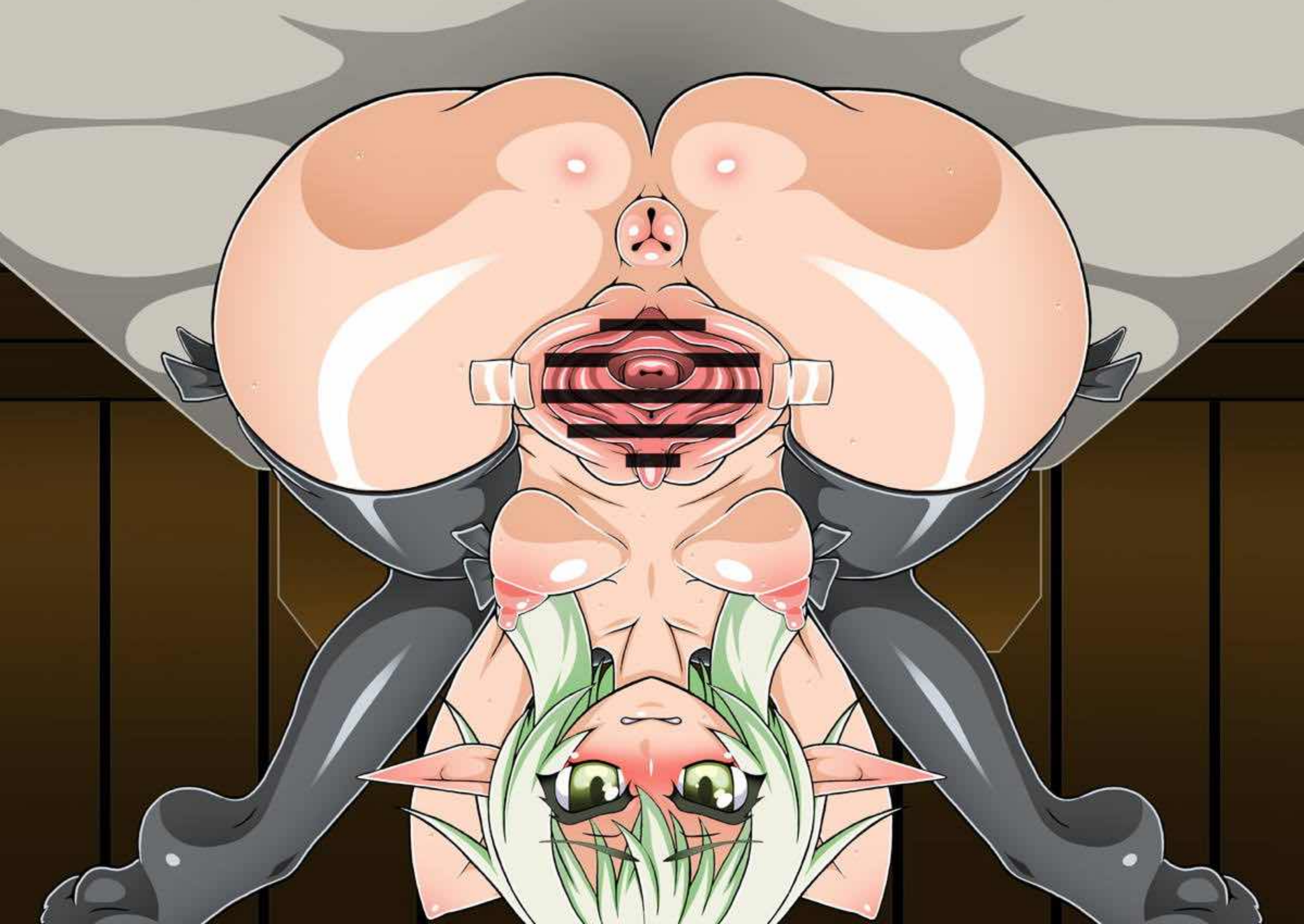
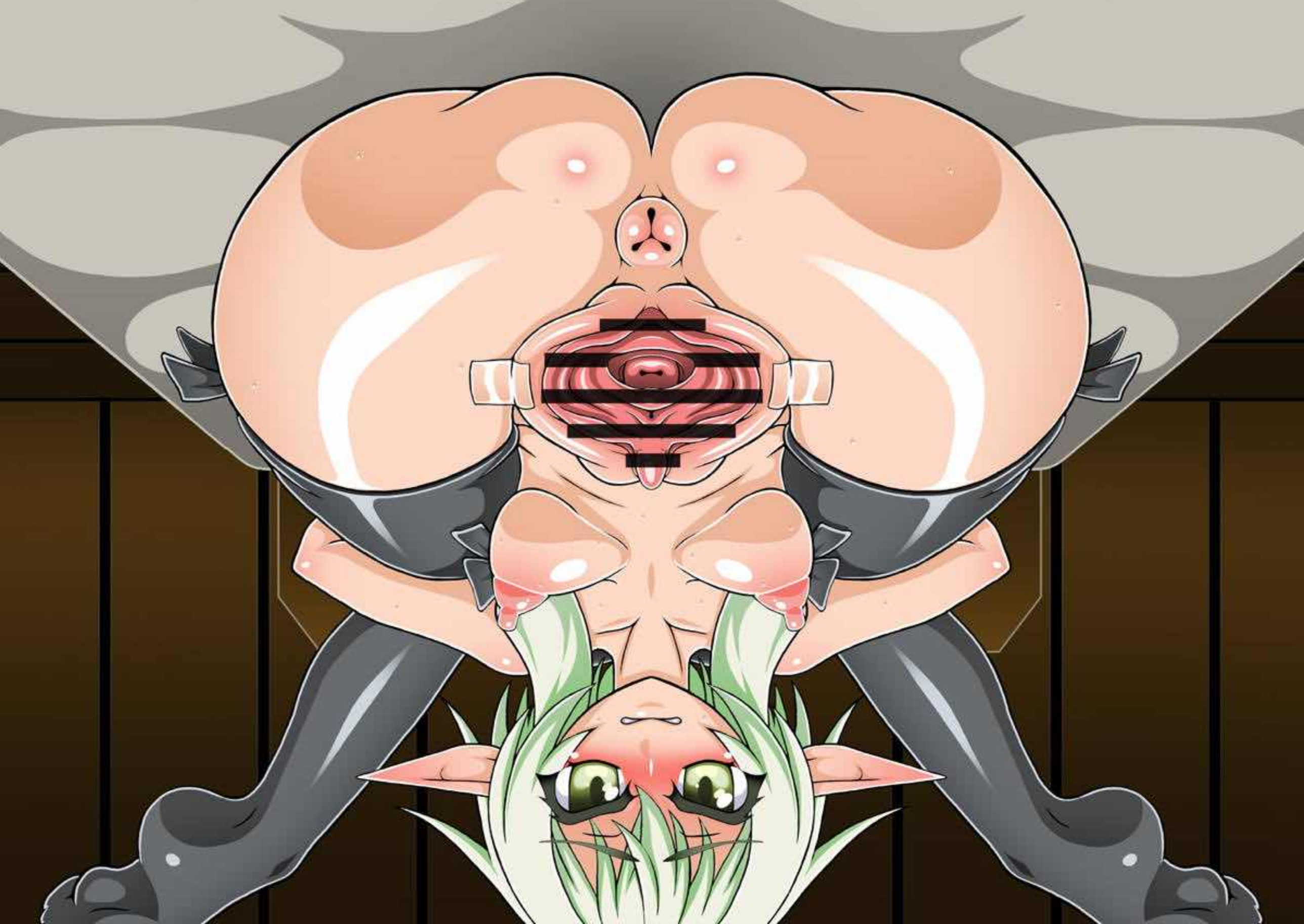
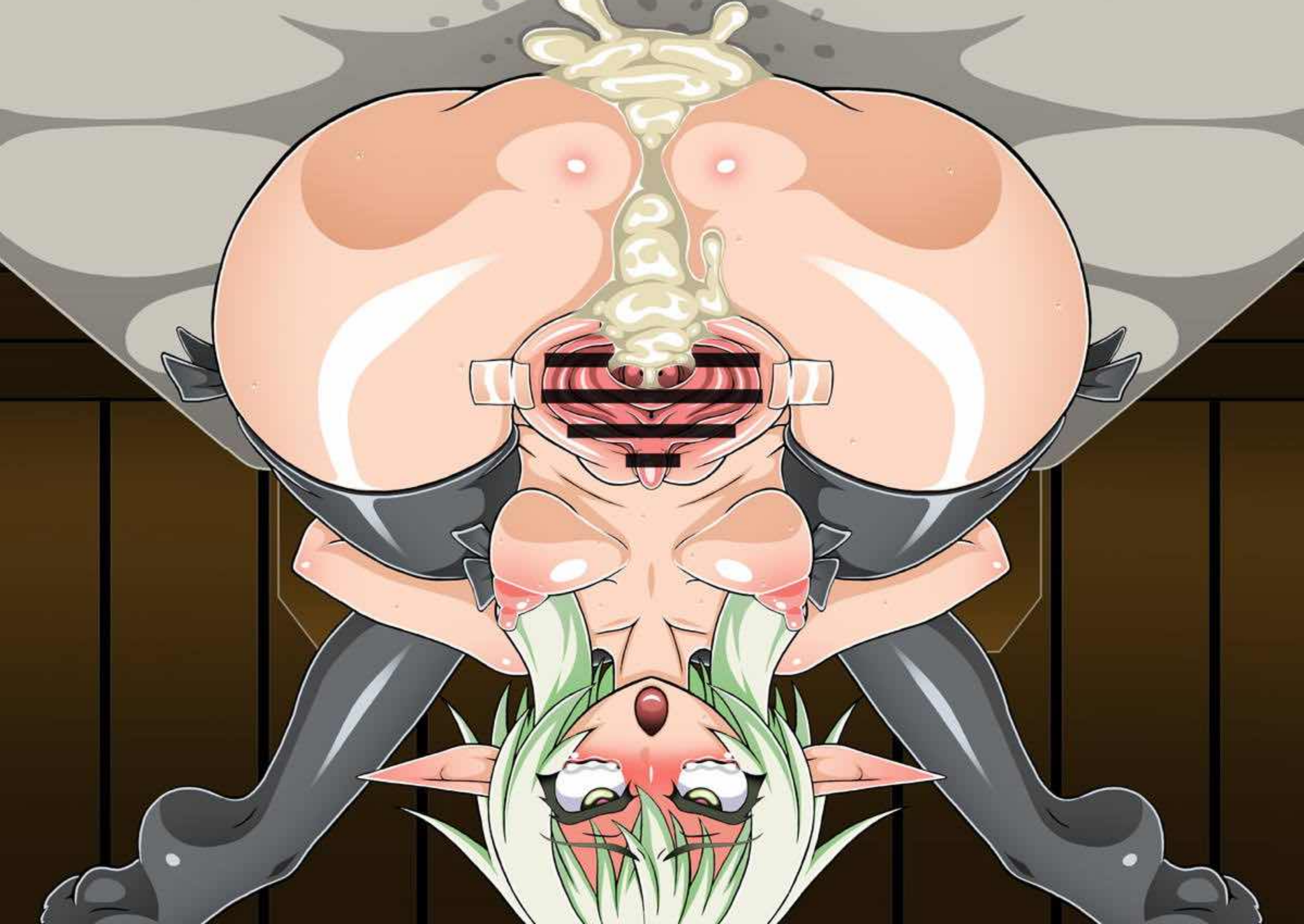
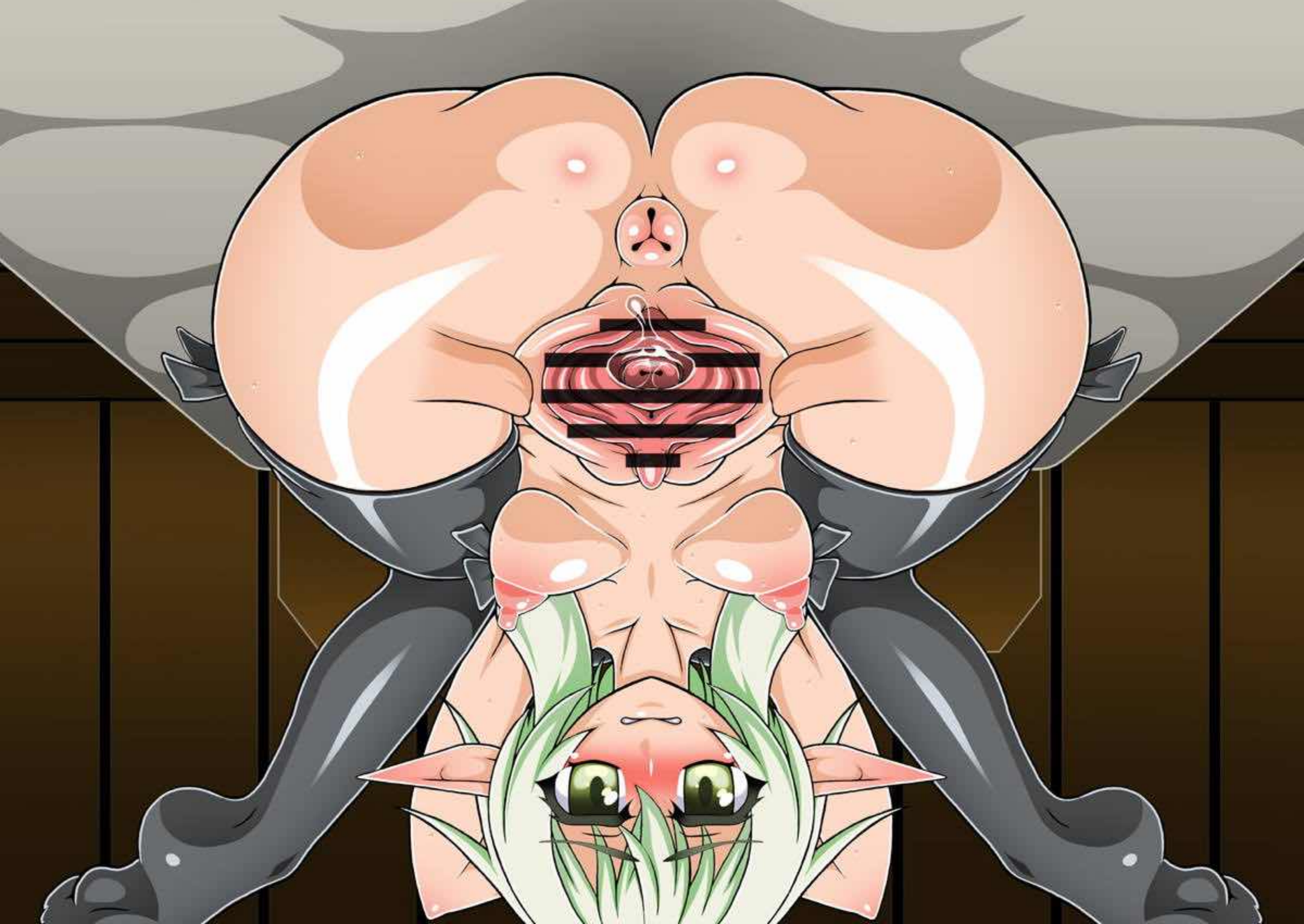
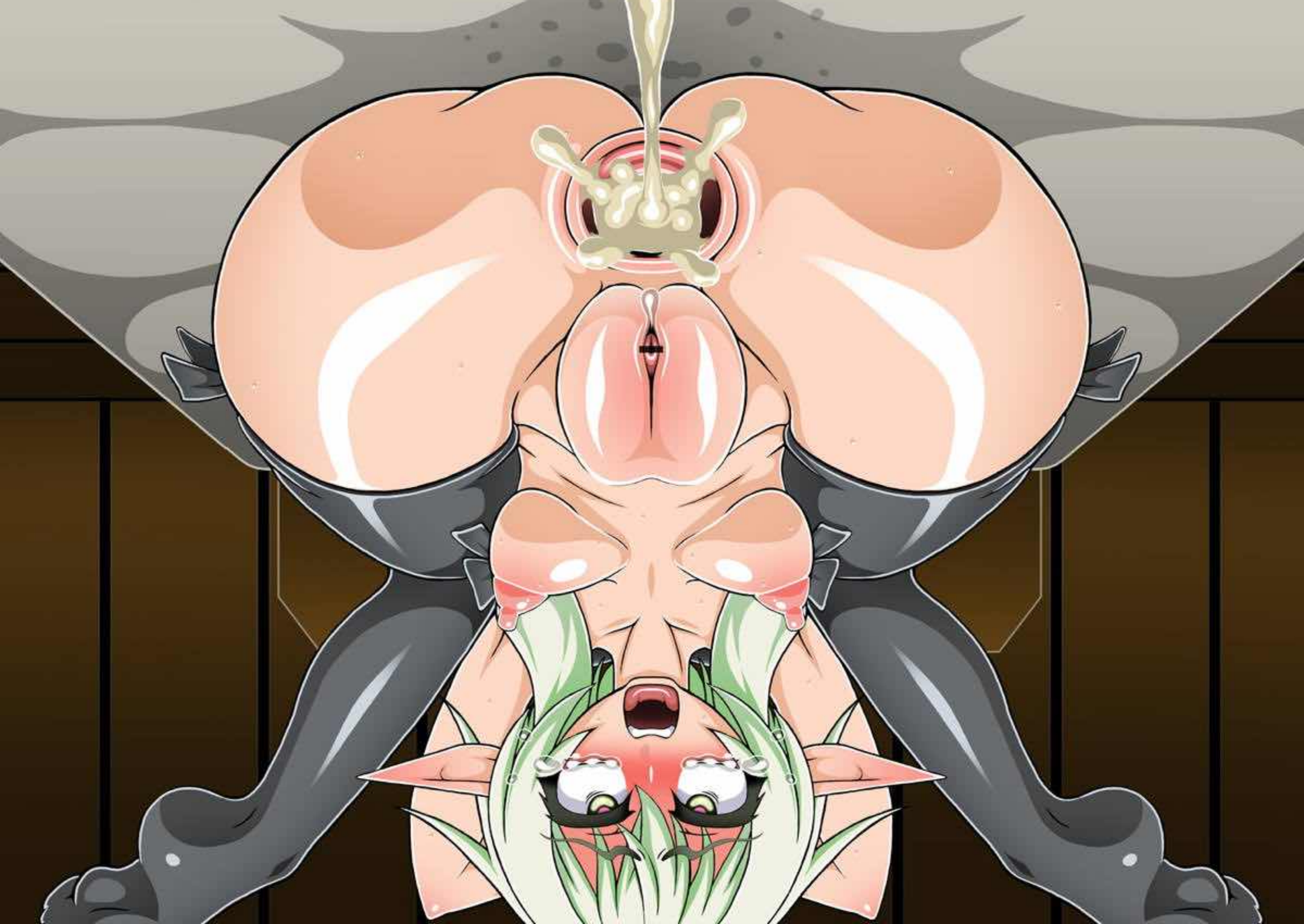
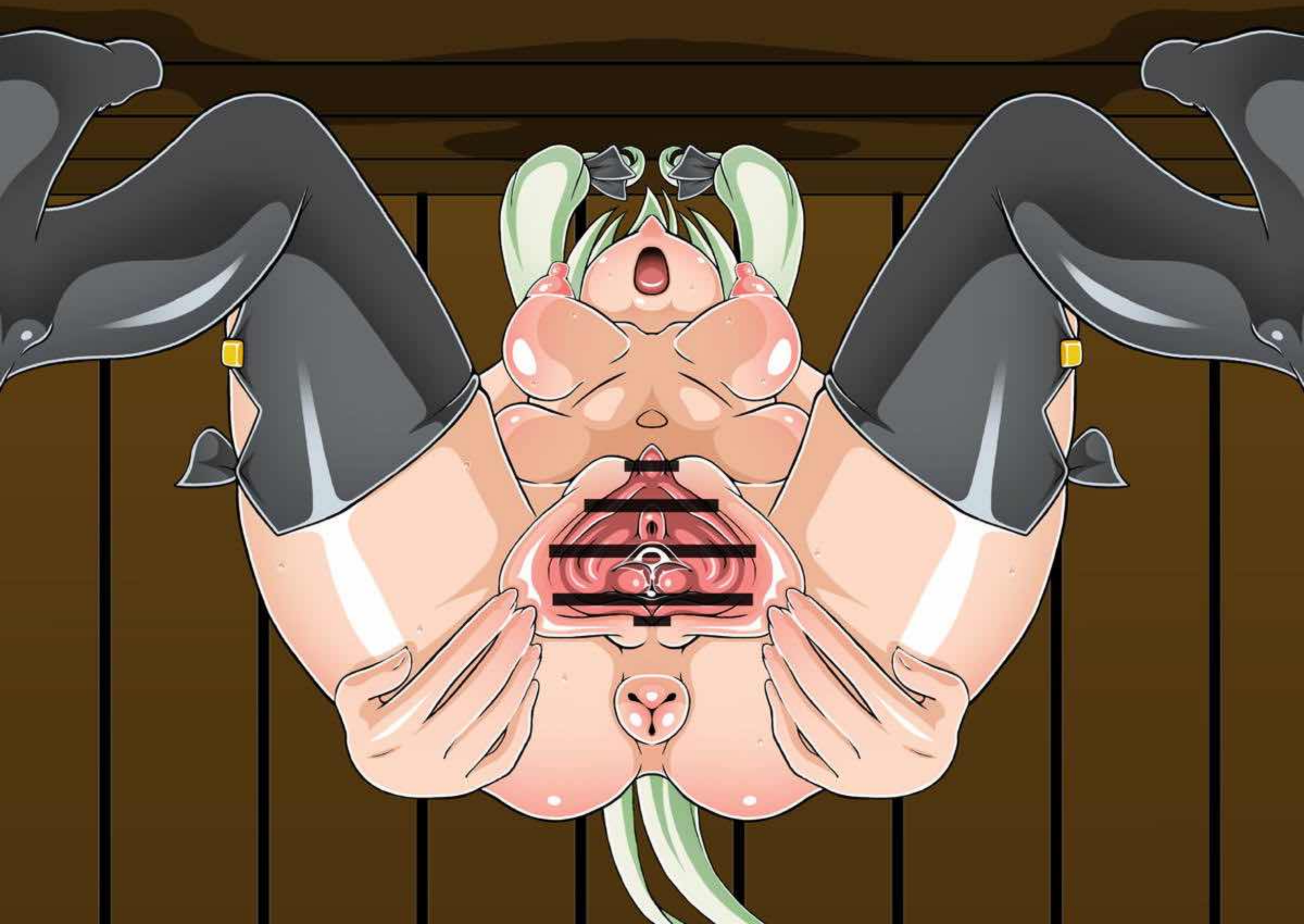
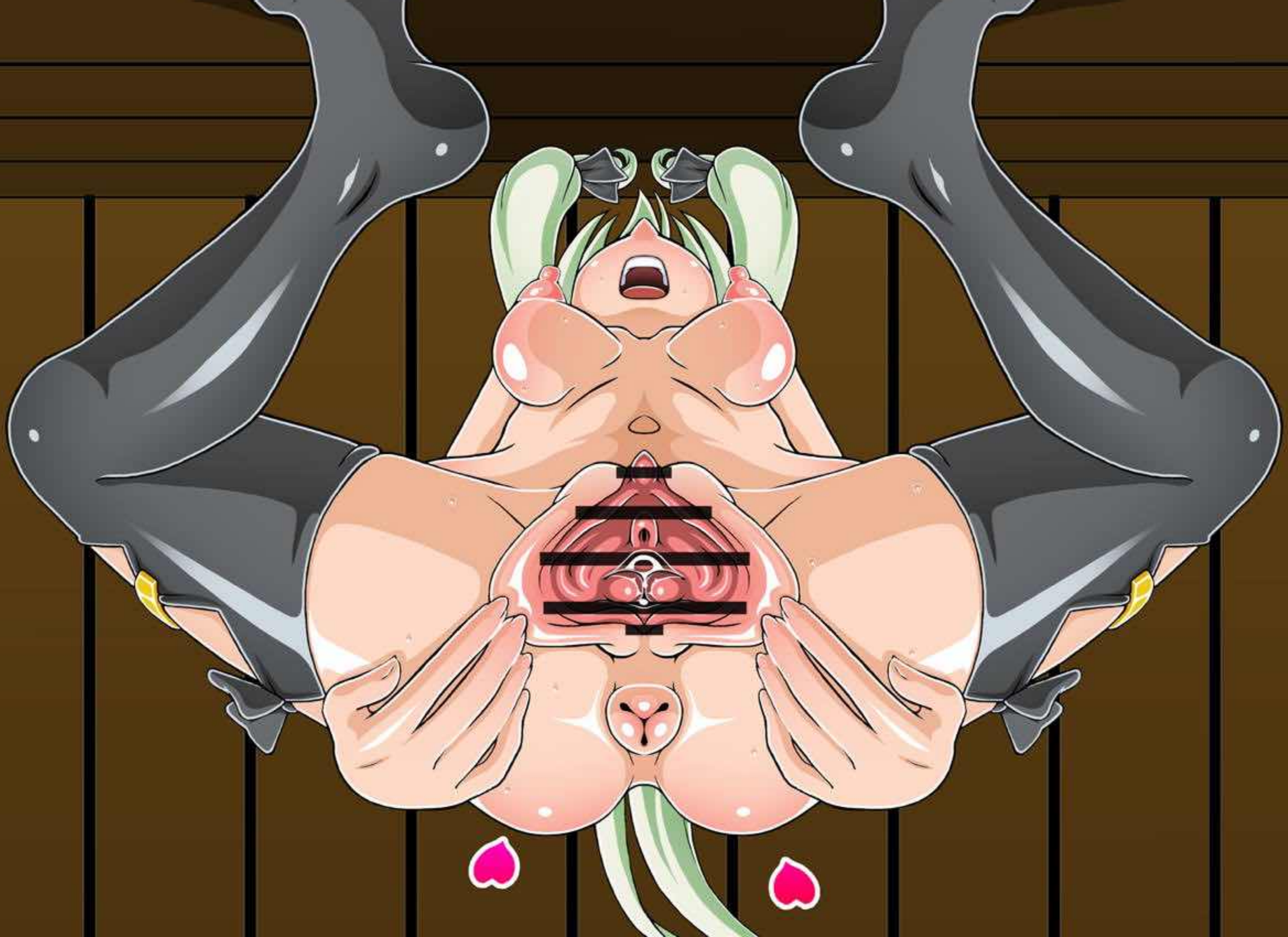
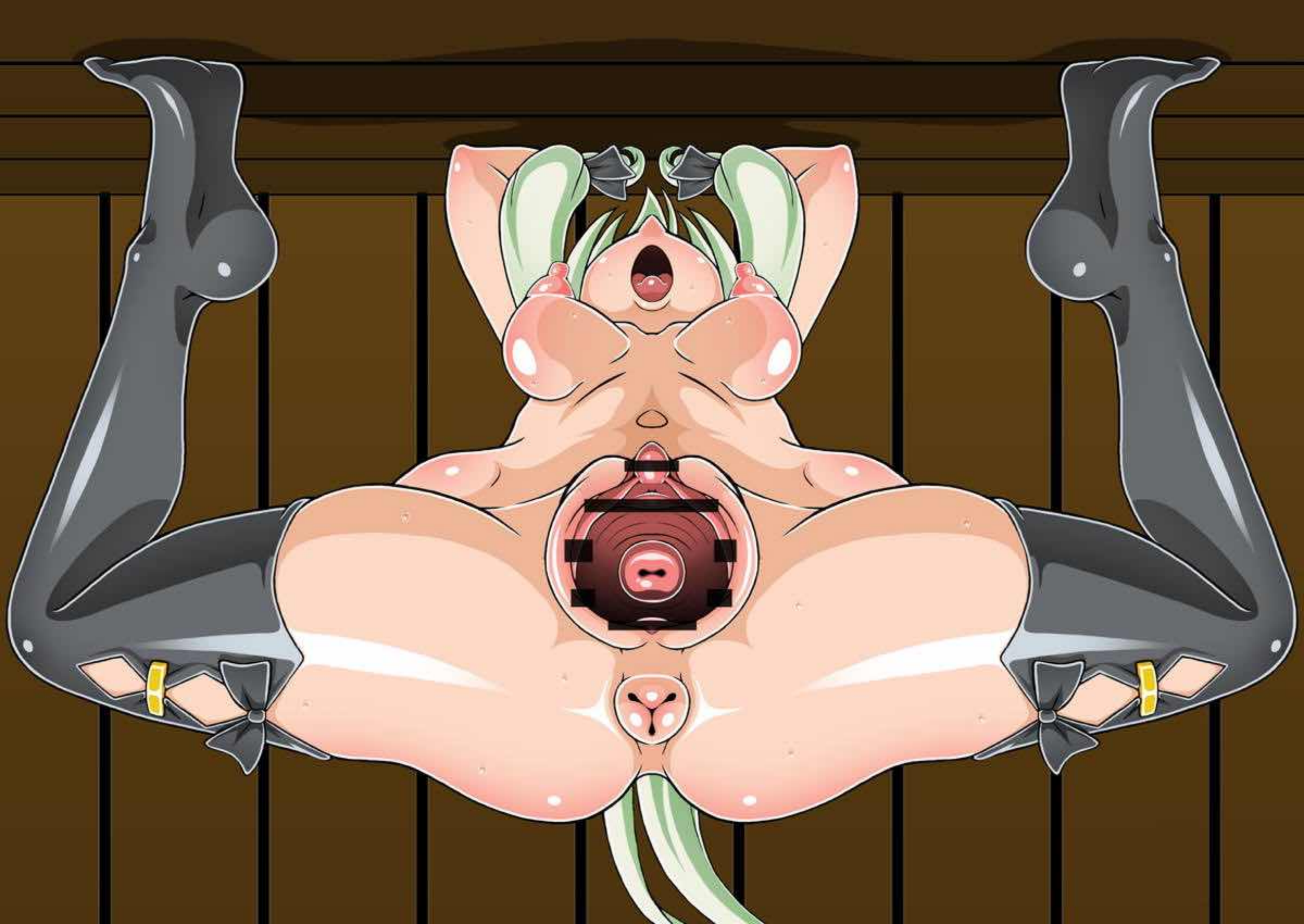
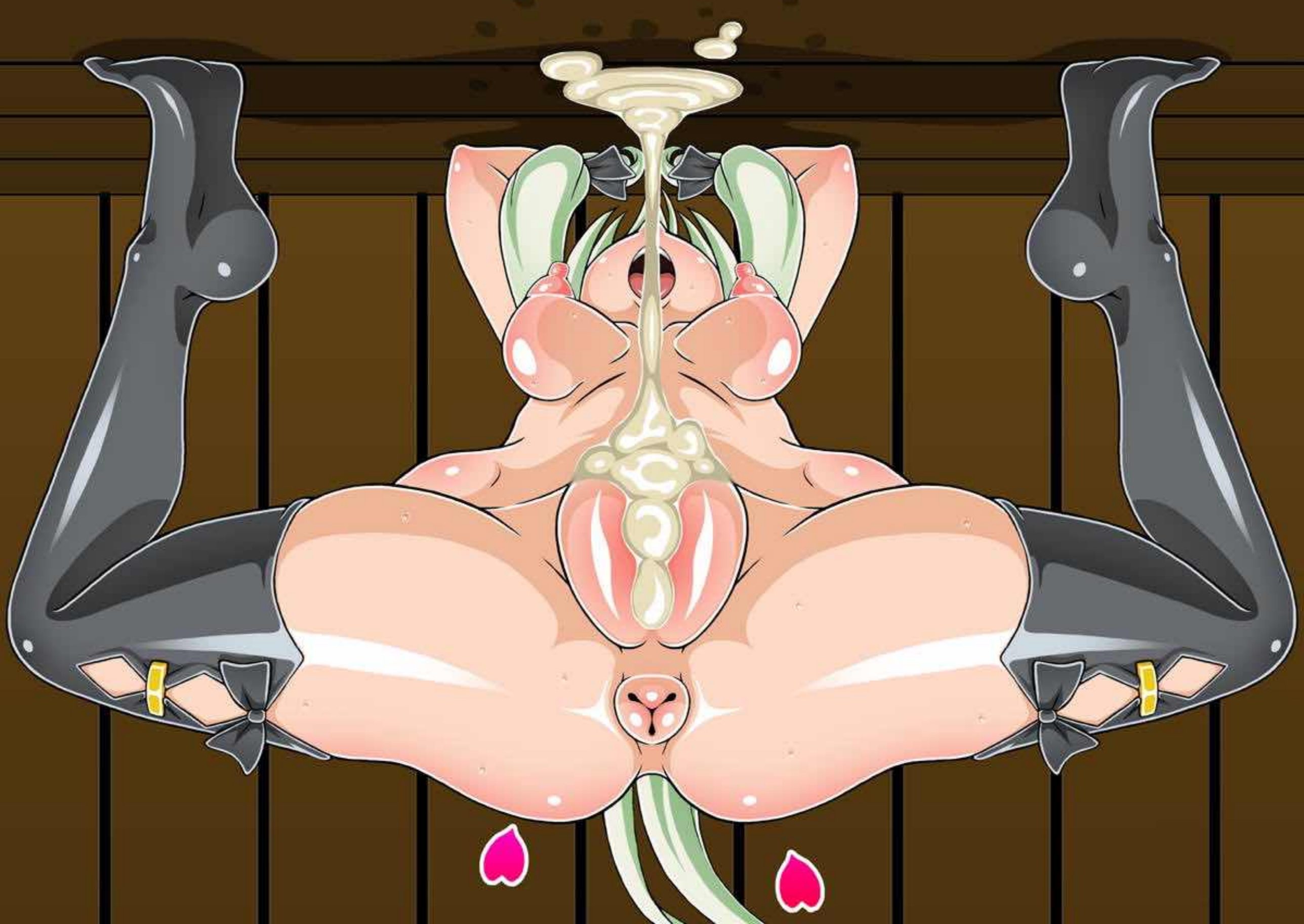
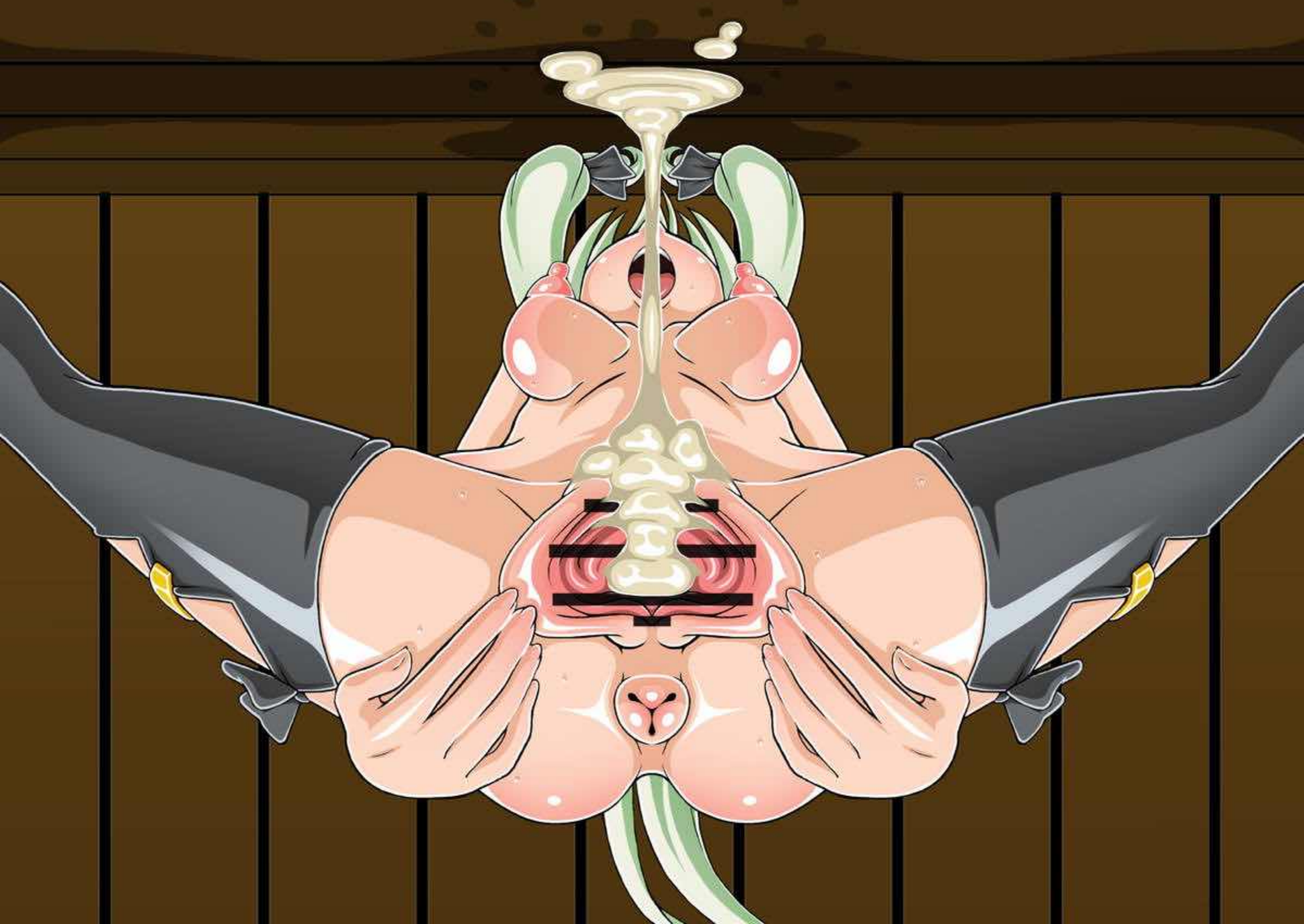
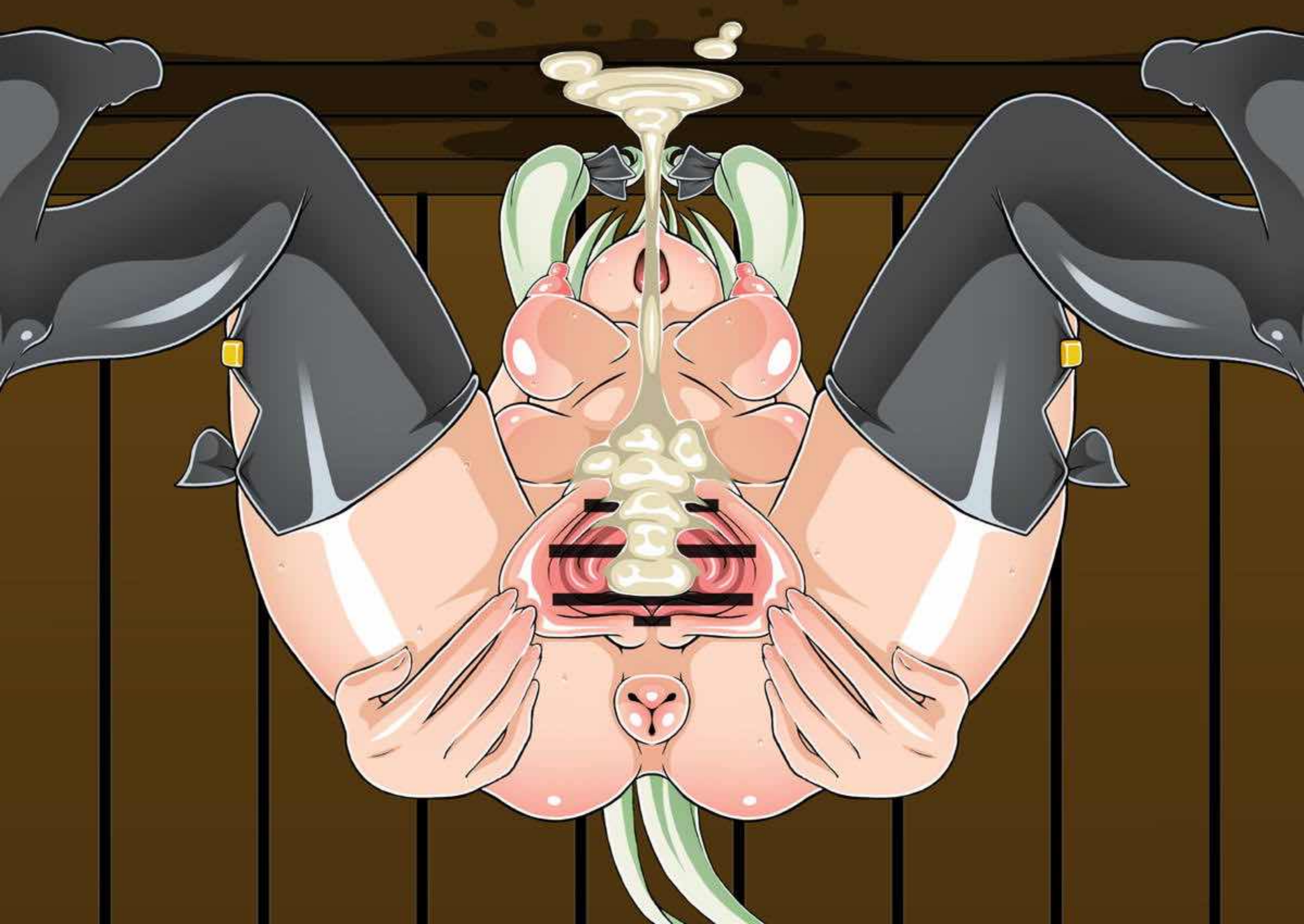
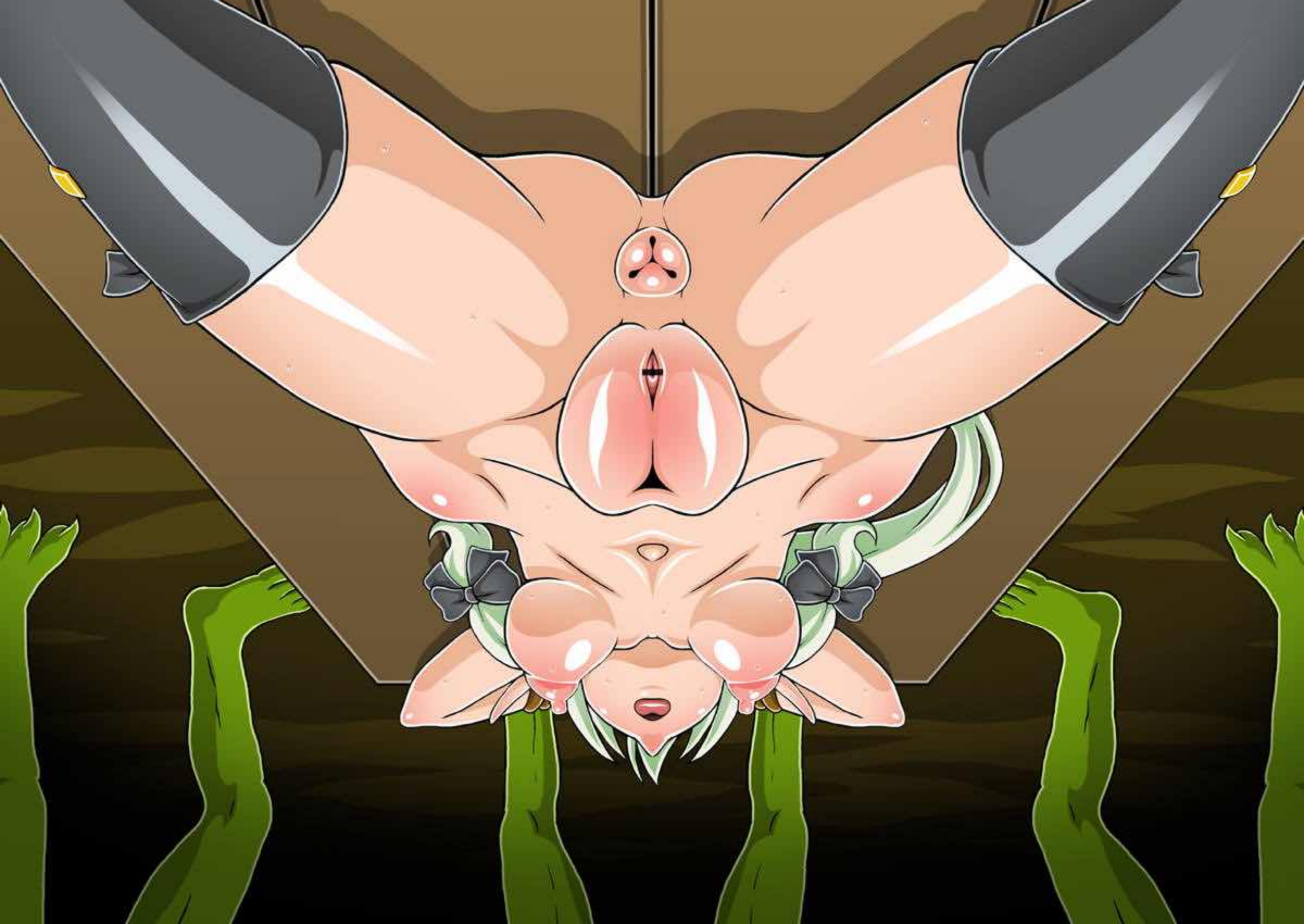
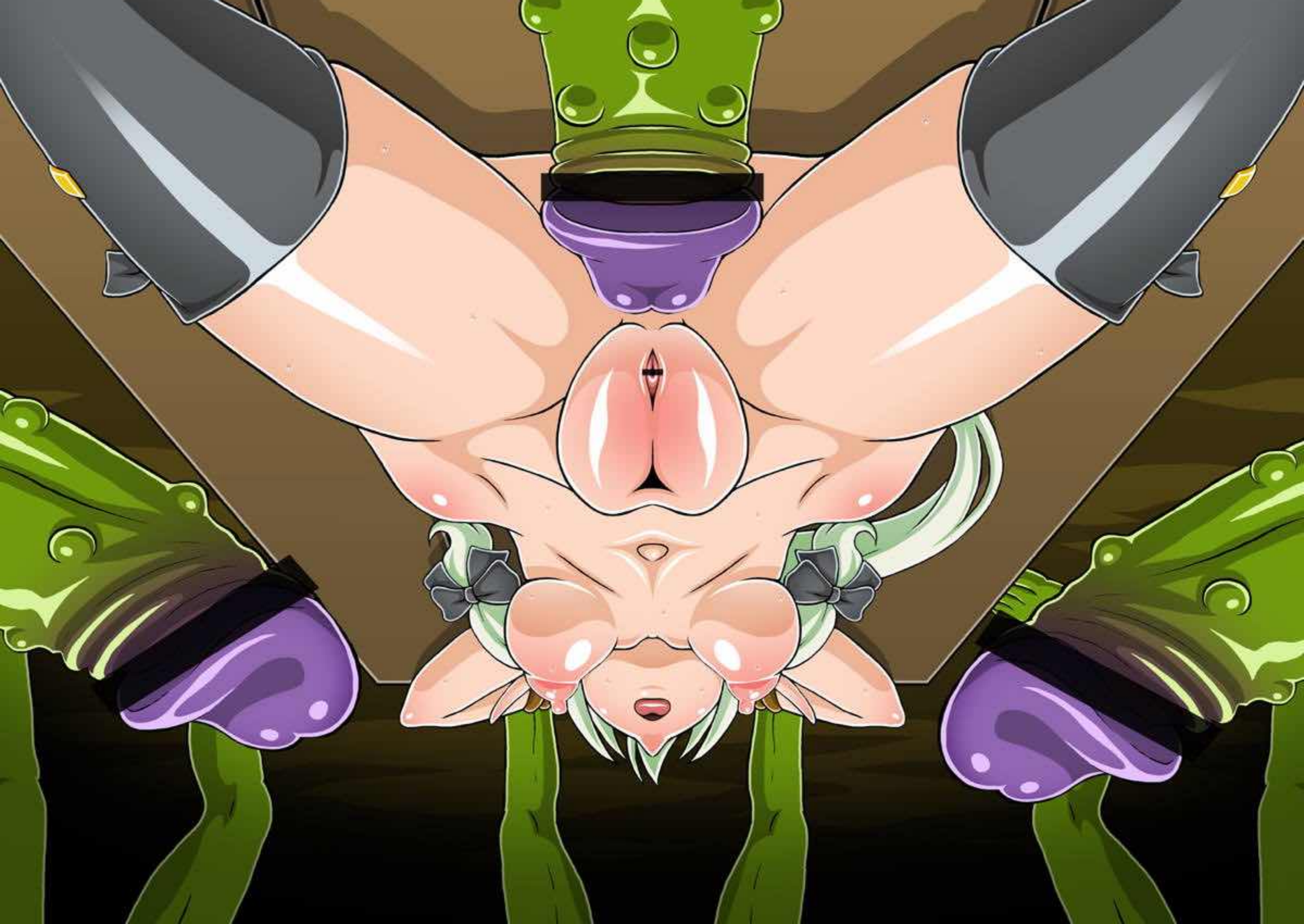
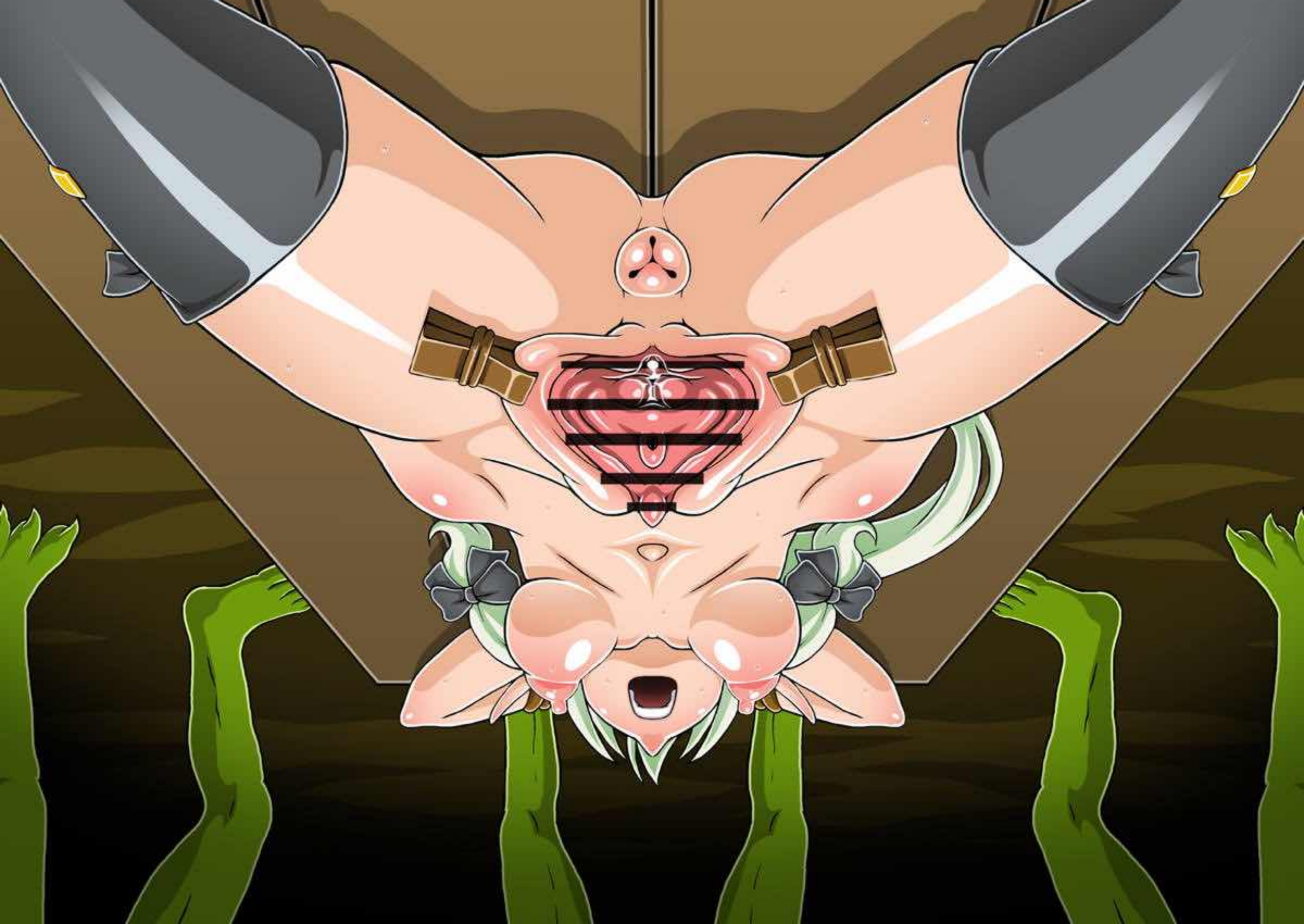
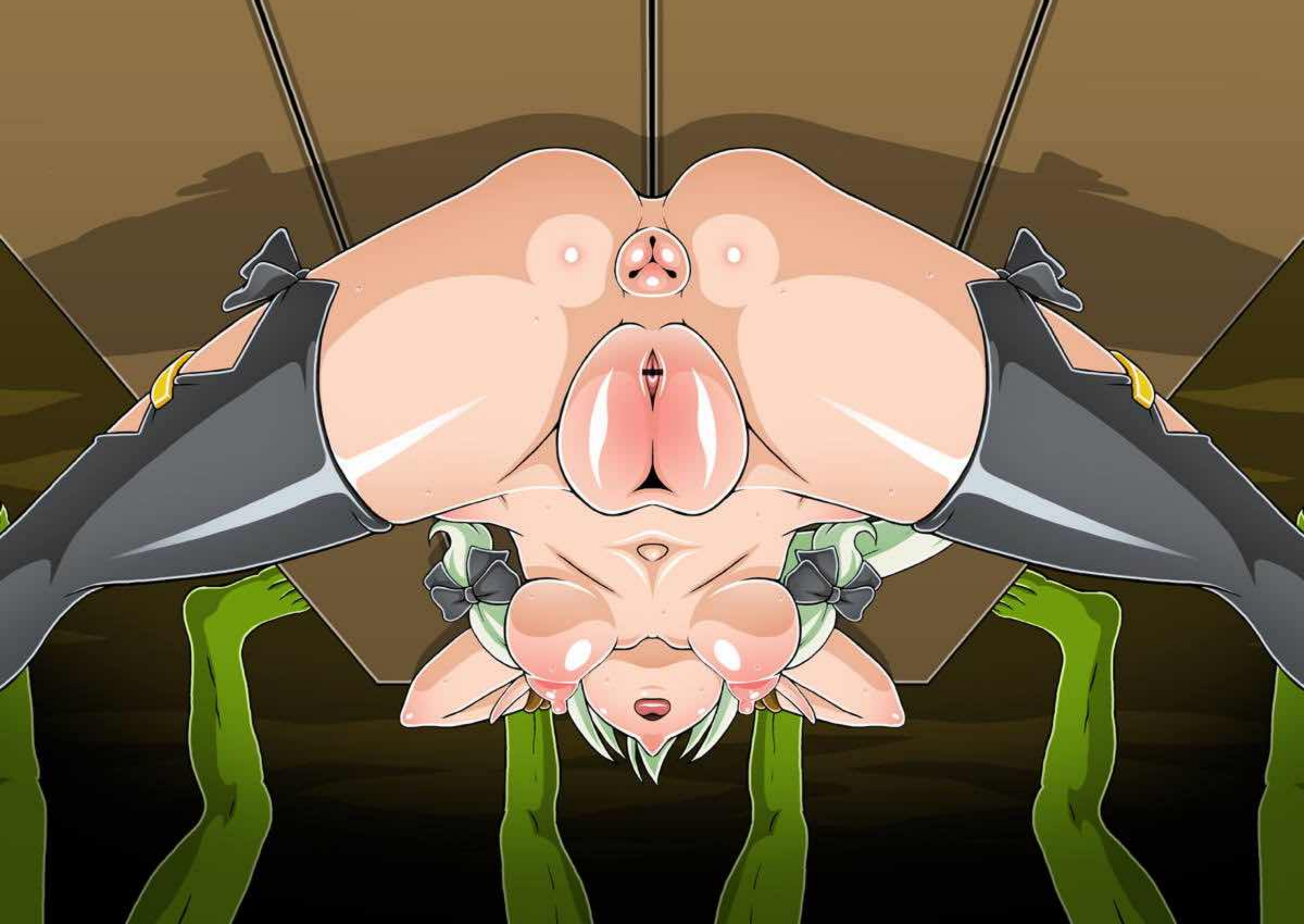
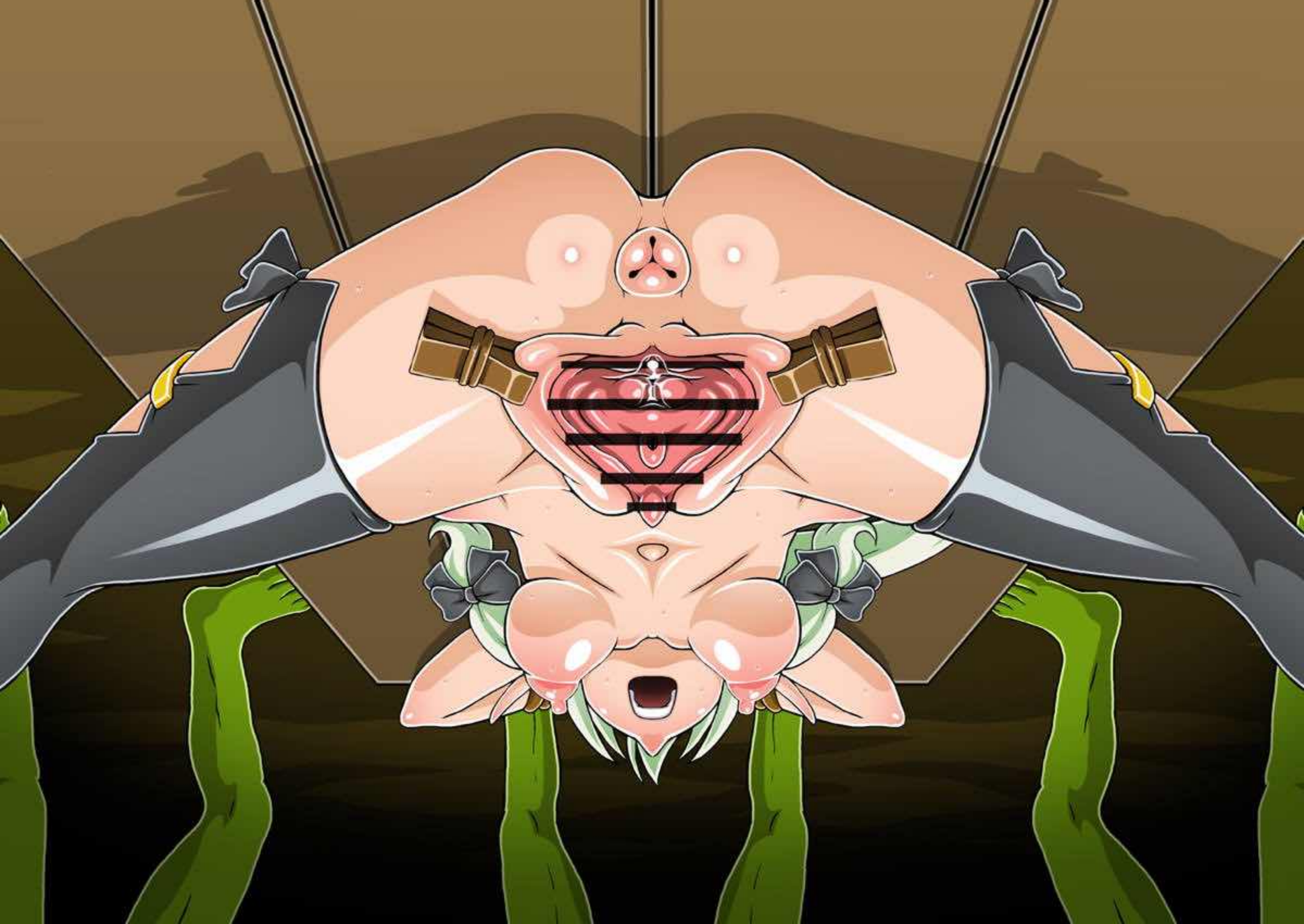
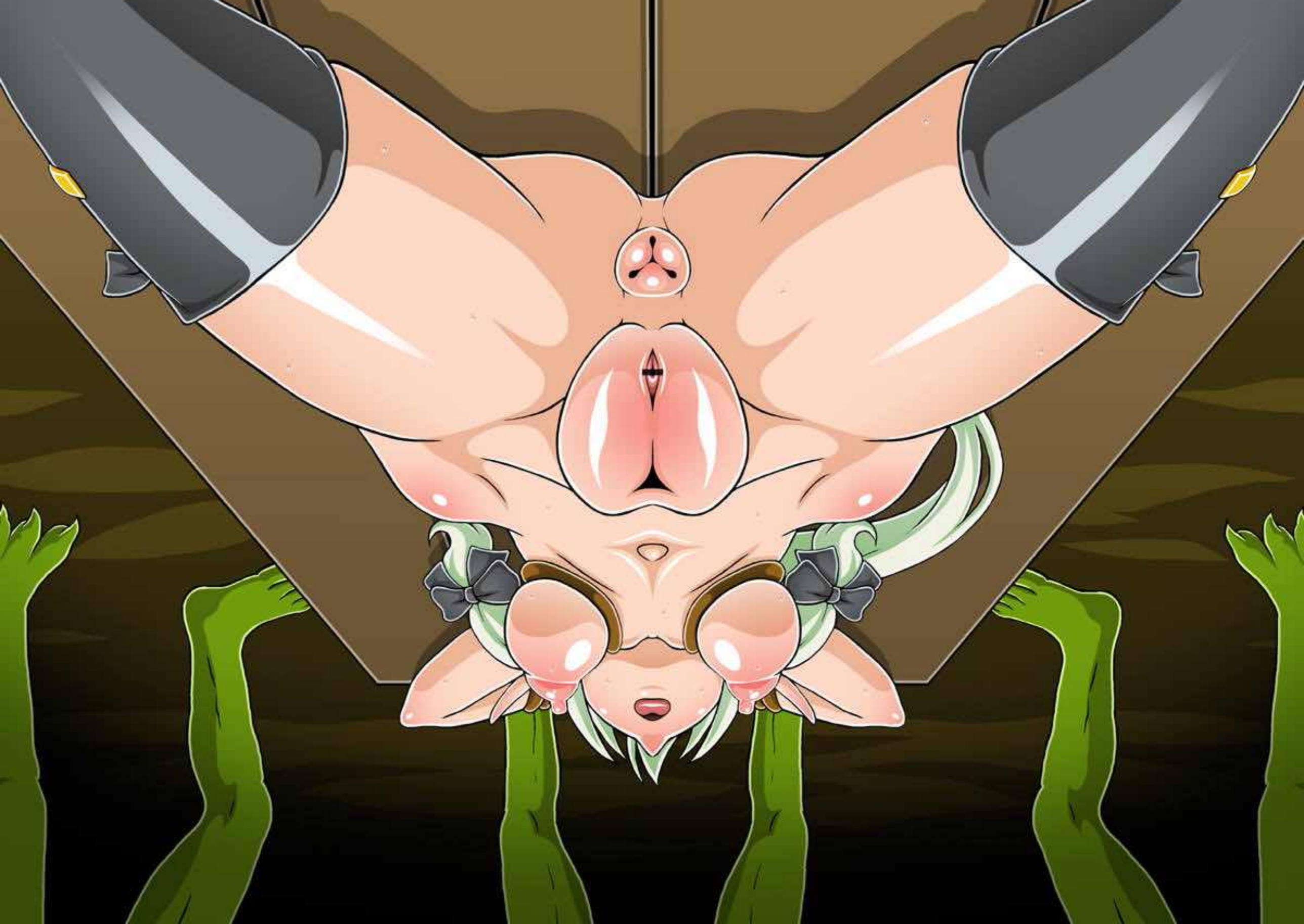
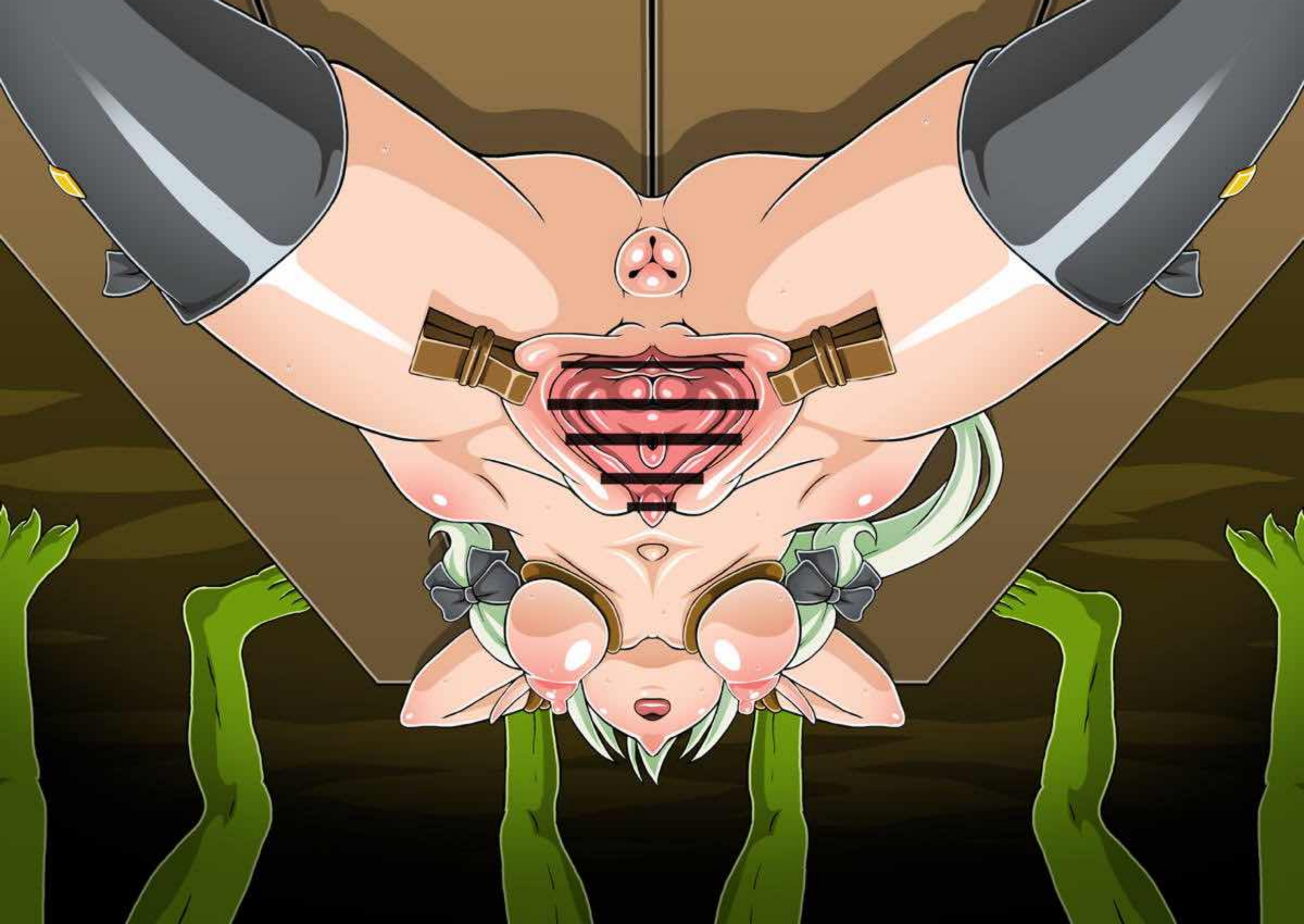
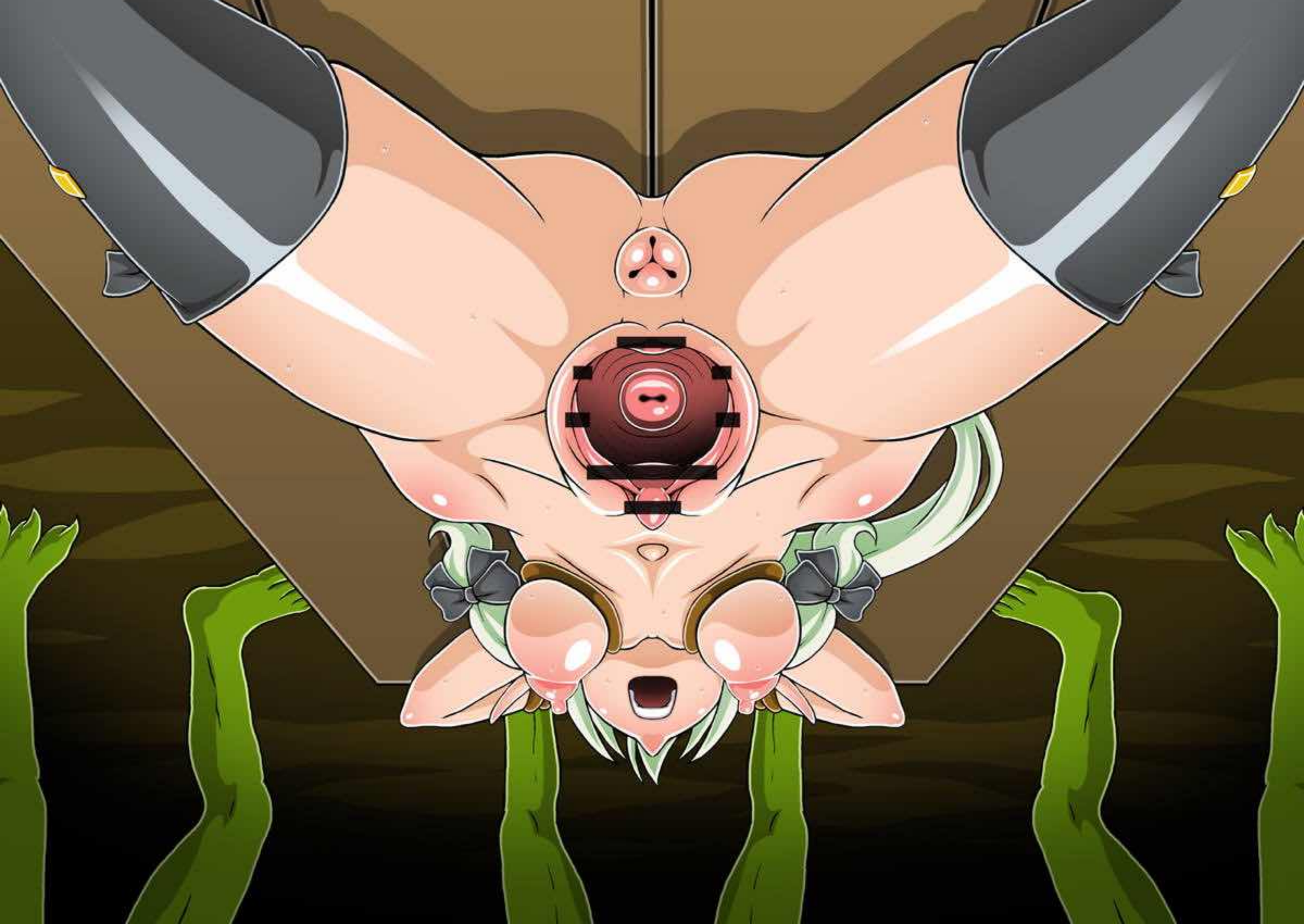
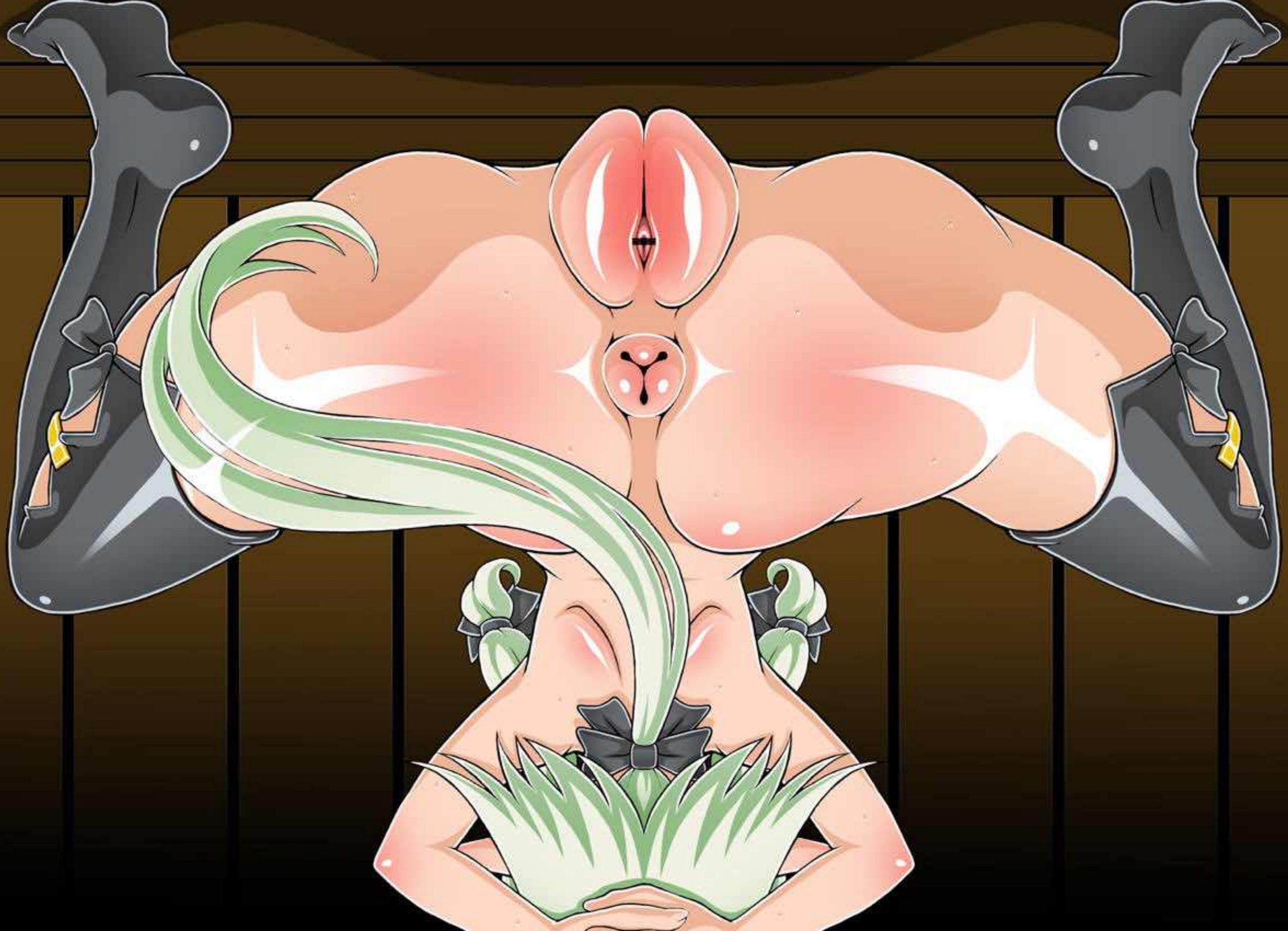
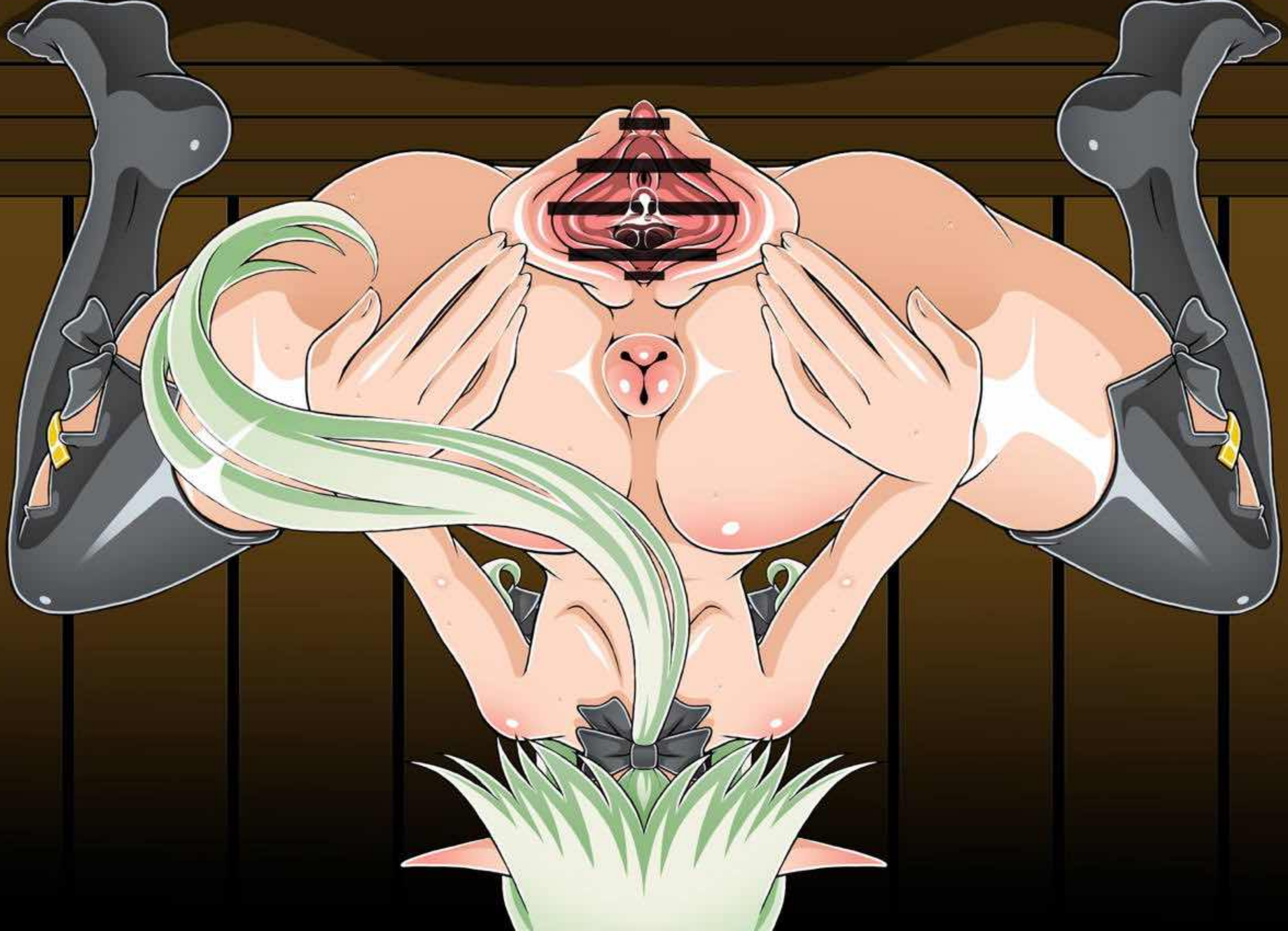
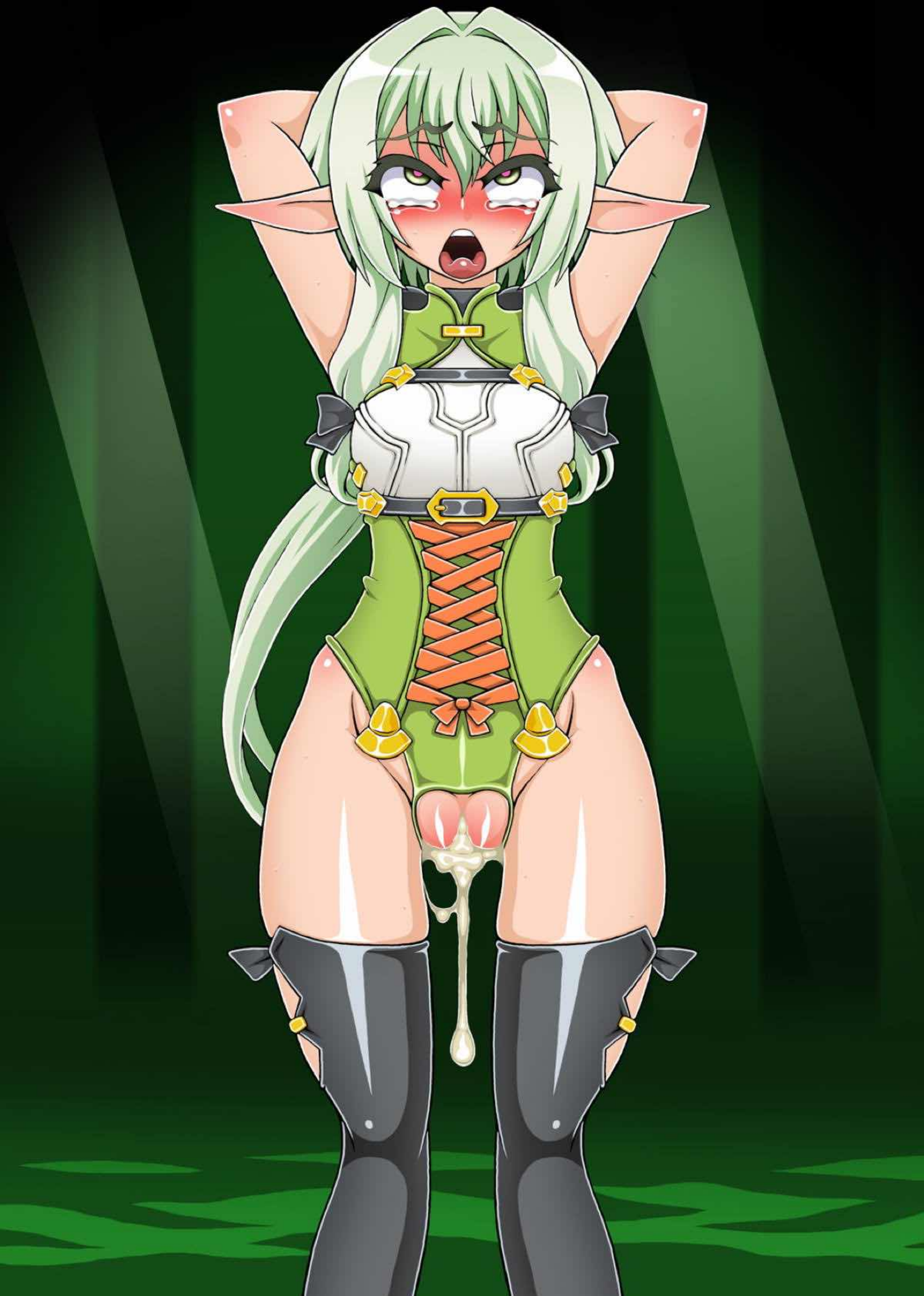
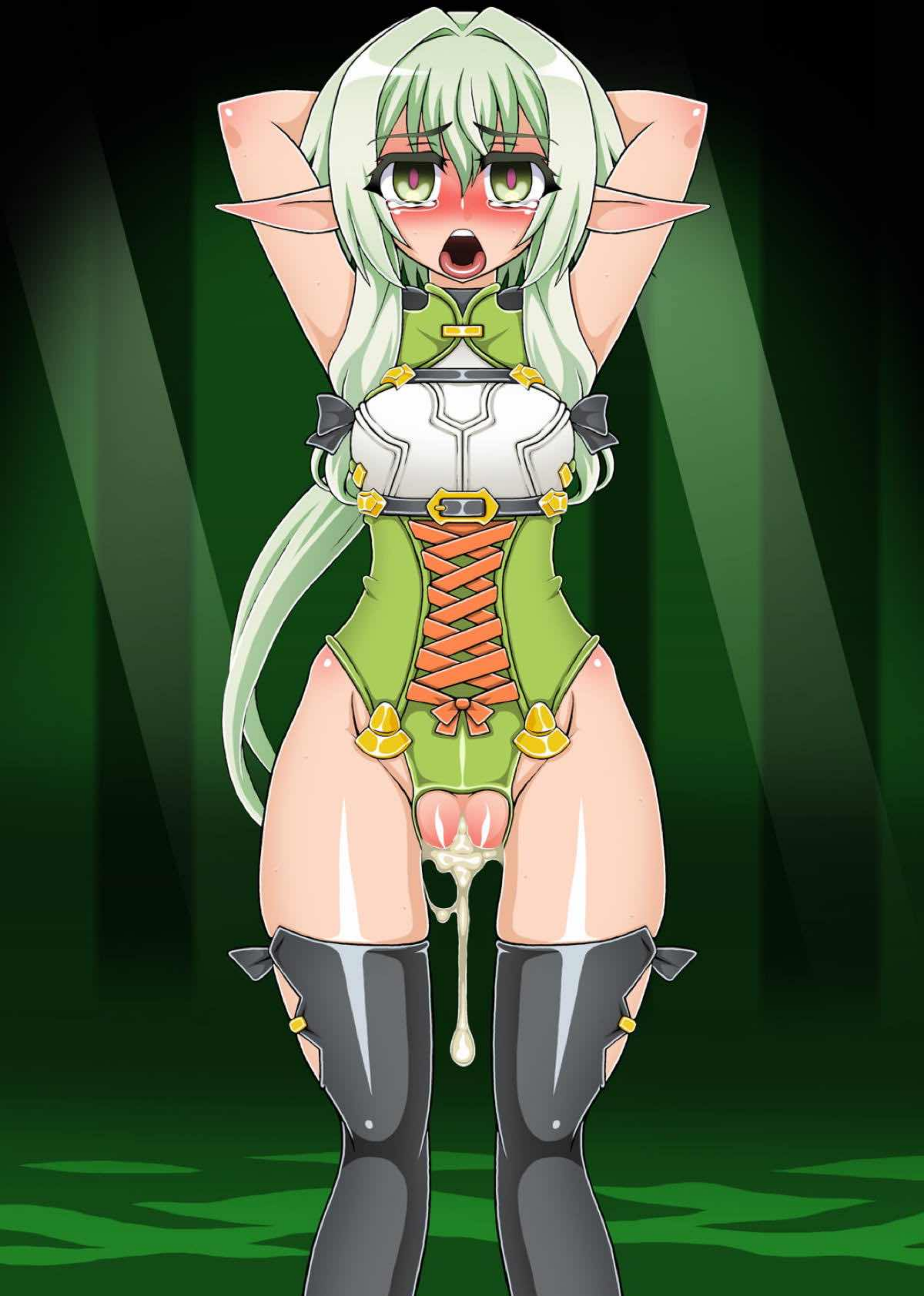
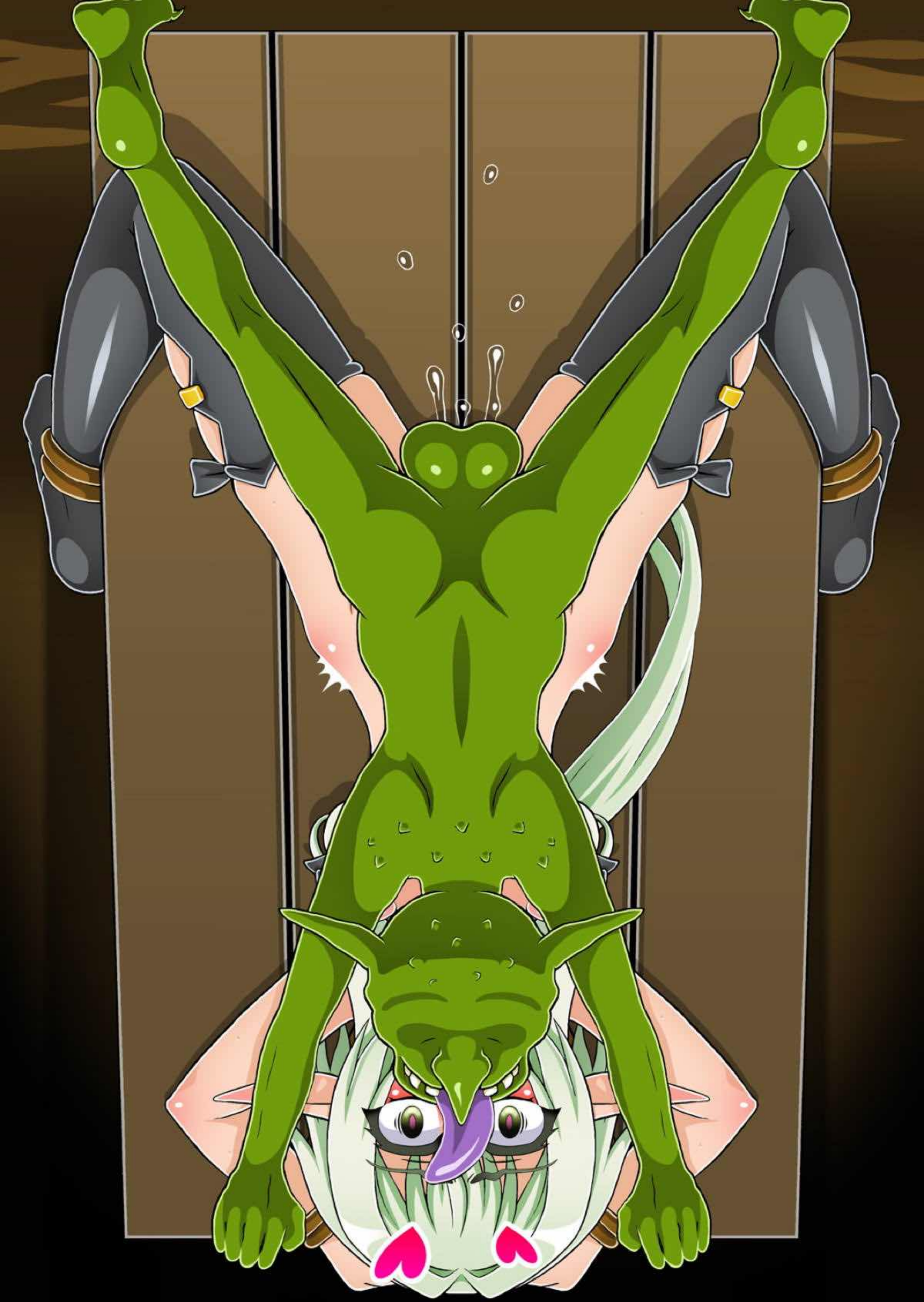
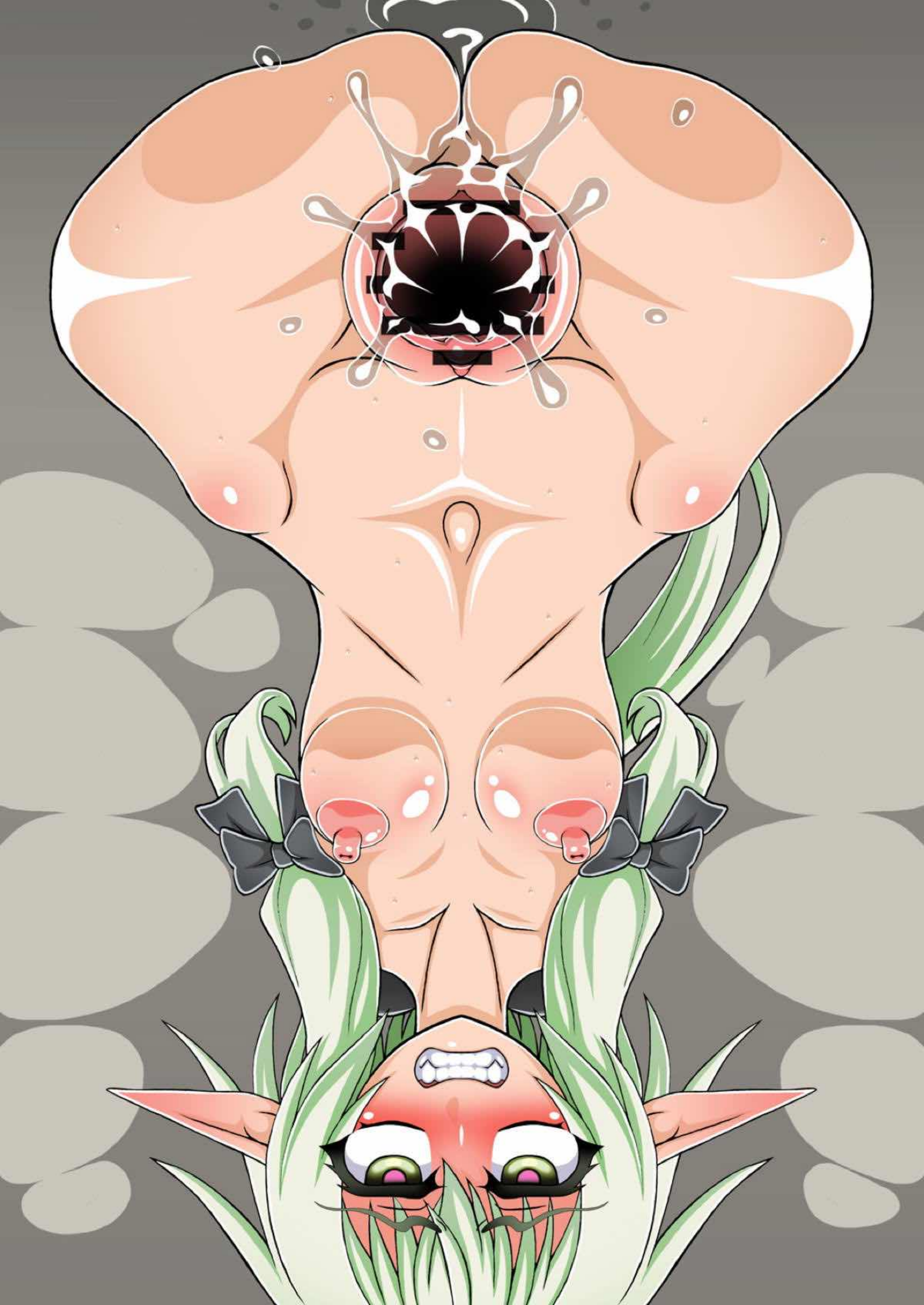
プル

女神官の懺悔コーナー
神よ…
あっ
ゴブリンのペニスが私の処女を破り奥へ…挿入っていきます…♥
ズッ
ブ4
ブ4
ヌヌヌ↑

ドキ
ドキ
キュン♥
ドキ
ドキ
キュン♥

ブヂュ〜〜
チュ〜チュ〜〜
んっんっ
んっんっ
レロレロ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ブヂュ〜〜
ムチュムチュ〜
チュッ
んぐんぐ〜っ
ん♥ん〜っ
ズコッ
ズコッ
ズコッ
ズコッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
ドピュッ
ドピュッ

プル
プル
あっ
あっ
キュン
キュン
ゴポ
ゴポ
プル
プル
プル
プル
あっ
あっ
キュン
キュン
ゴポポ
プル
プル

フゥ
フゥ
フゥ
フゥ